

# 長崎市こども計画策定に係るアンケート調査

【報告書】

令和6年10月

■ 調査概要	2
■ 調査結果詳細	4
① 長崎市在住の小学5・6年生、中学生、高校生	5
② 長崎市在住の18歳～29歳	25
③ 自由記述分類	59

# 調査概要

---

調査目的	こども基本法第10条に規定されている「市町村こども計画」策定にあたり、同法第11条に規定されている、こども施策に対するこどもや若者の意見反映を目的としてアンケート調査を行うもの。
調査課題	長崎市のこども・若者の意見を把握する
調査手法	Webアンケート
対象者条件	①長崎市在住の小学5・6年生、中学生、高校生 ②長崎市在住の18歳～29歳
回答数	①長崎市在住の小学5・6年生、中学生、高校生 本調査：6,909s（長崎県子どもアンケートによる回答数）※県よりデータ提供を受け、集計と分析は市で実施  ②長崎市在住の18歳～29歳 本調査：349s
割付	なし
調査期間	①令和6年7月10日（水）～令和6年7月31日（水） ②令和6年7月25日（木）～令和6年8月23日（金）

# 調査結果詳細

---

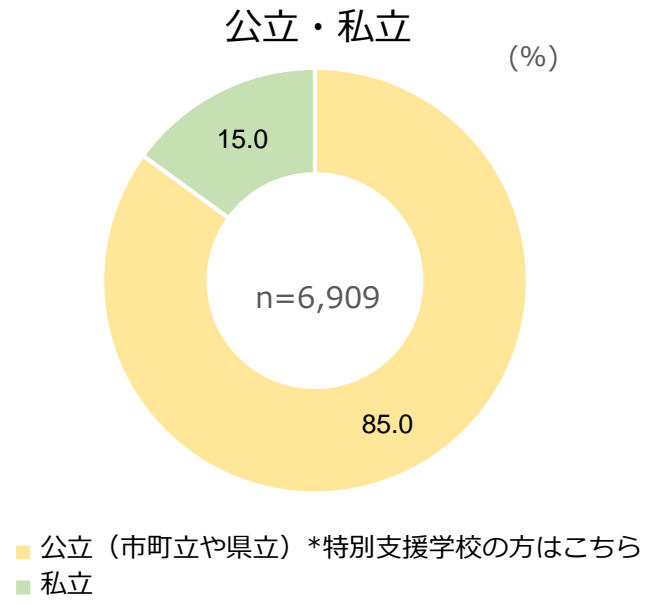
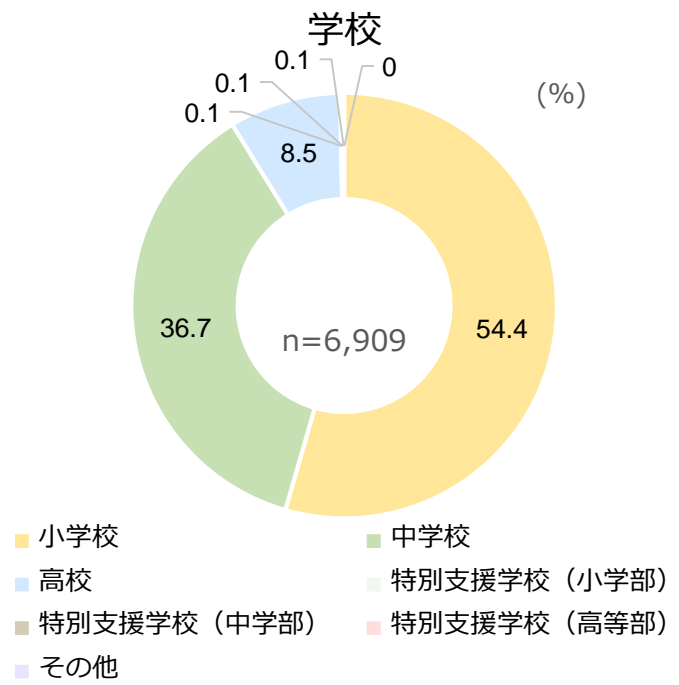
**※報告書上のスコア等の表記方法**

nが30未満は参考値として、グレーハッチングしています。

SA横帯グラフの数値（ラベル）は1%未満を非表示としております。

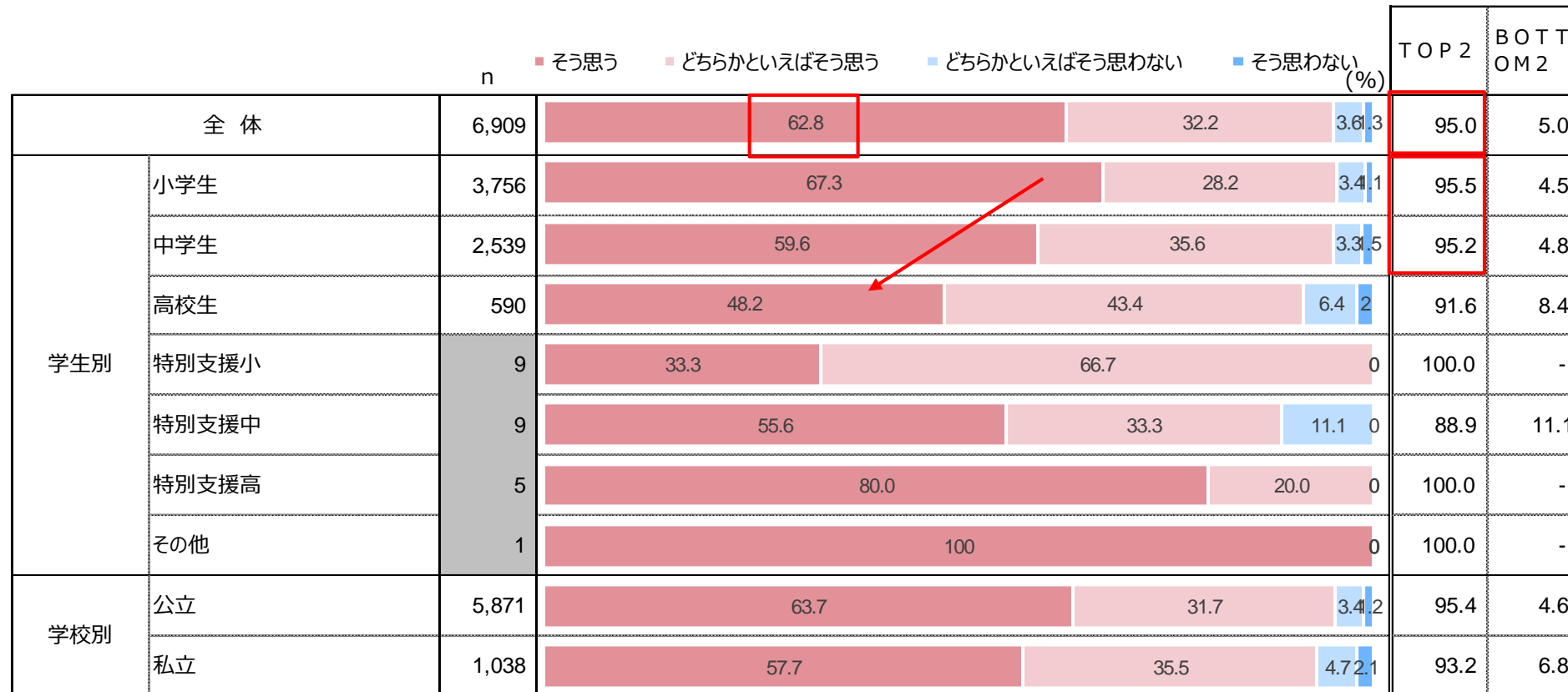
**①長崎市在住の小学5・6年生、  
中学生、高校生**

---



全体では「そう思う」が6割強、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせたTOP2は9割半ばとなっている。  
学生別では「そう思う」割合は小学生は7割弱、中学生は6割、高校生は5割弱と学齢が下がるごとに高くなっているが、TOP2では小学生と中学生の差は見られなかった。

Q4. 今、自分は幸せだと思いますか？ (1つ選択)



※nが30未満の時は参考値

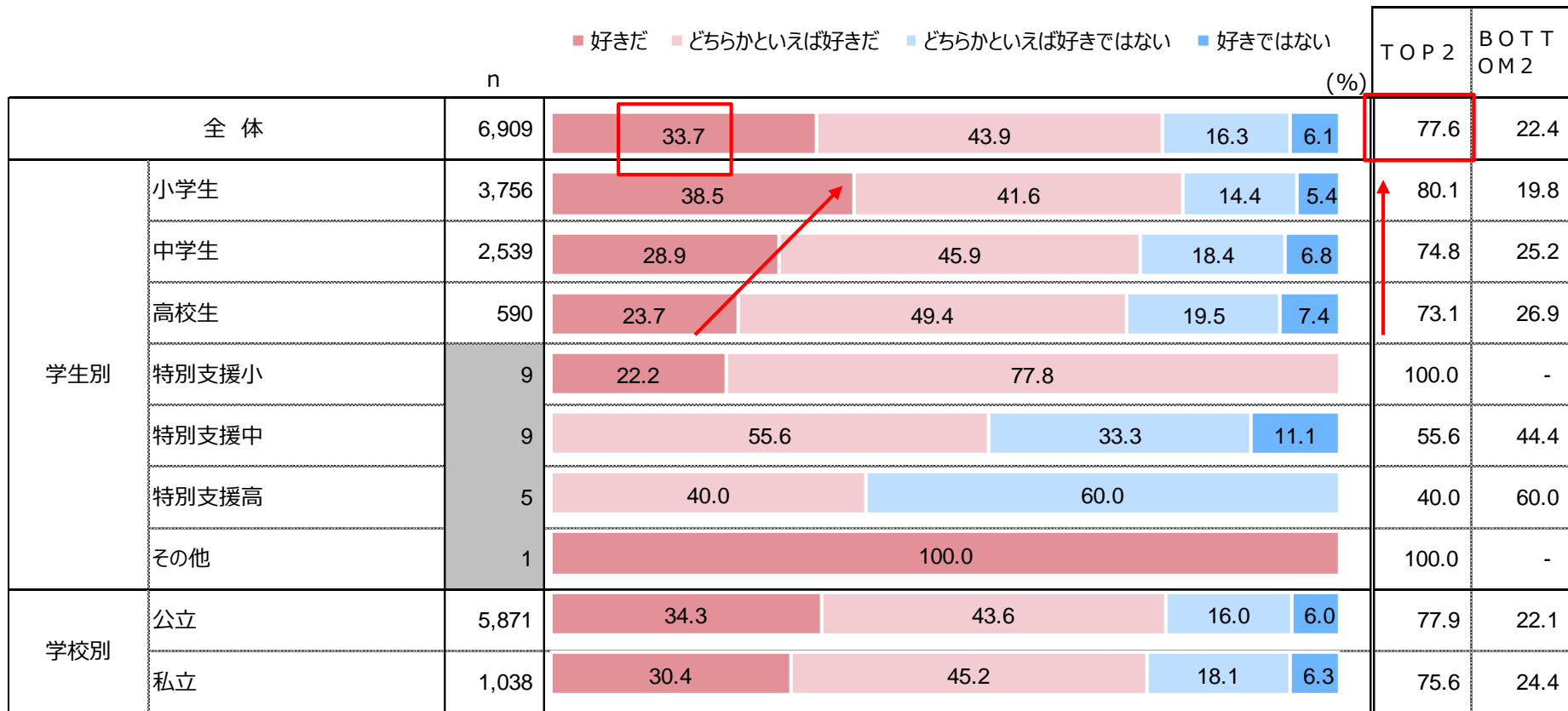
TOP2 = そう思う + どちらかといえばそう思う の合計  
BOTTOM 2 = どちらかといえばそう思わない + そう思わない の合計



# 今の自分が好きか

全体では「好きだ」は3割半ば、「好きだ」「どちらかといえば好きだ」合わせたTOP2は8割弱となった。  
 学生別では「好きだ」は小学生が4割弱、中学生が3割弱、高校生は2割半ば、  
 TOP2では小学生が8割、中学生が7割半ば、高校生が7割強と学齢が下がるほど高くなっている。

Q5. 今の自分が好きですか？ (1つ選択)



※nが30未満の時は参考値

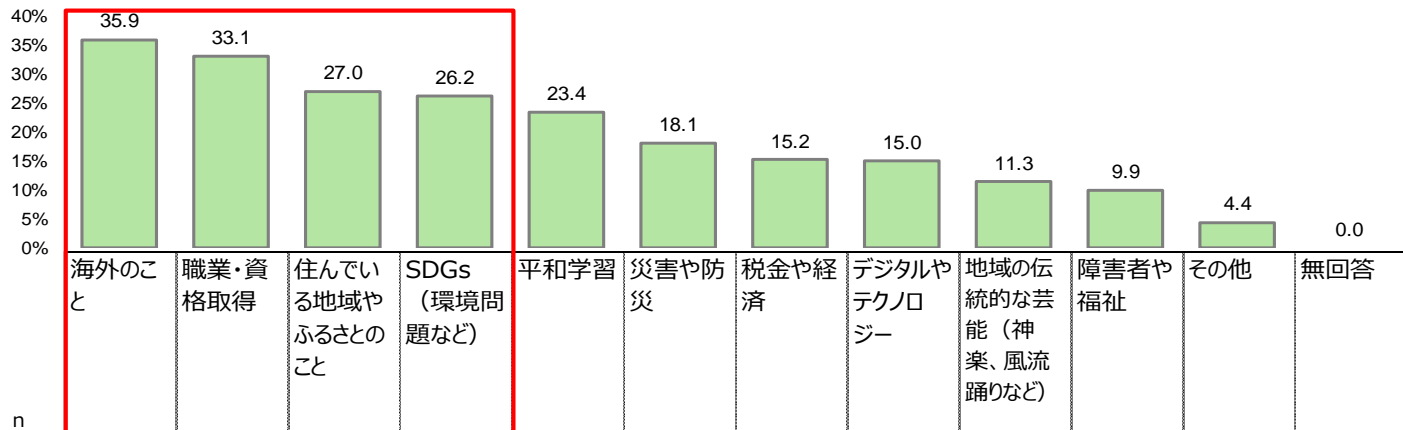
TOP2 = 好きだ + どちらかといえば好きだ の合計  
 BOTTOM 2 = どちらかといえば好きではない + 好きではない の合計

# 興味・関心がある学習分野

全体では「海外のこと」が3割半ばで最も高く、次いで「職業・資格取得」が3割強、「住んでいる地域やふるさとのこと」が3割弱、「SDGs」がそれぞれ2割半ばとなっている。

学生別では「職業・資格取得」は小学生が2割強に対して、中学生4割半ば、高校生5割と学齢が上がるほど高くなっており、「税金や経済」も同様の傾向がみられる。対照的に「平和学習」「災害や防災」は学齢が下がるほど高くなっている。

Q6. 興味・関心があり学びたいことはどんなことですか？ <総合的な学習（探究）で取り組みたいことなど> (3つまで選択可)



		n	海外のこと	職業・資格取得	住んでいる地域やふるさとのこと	SDGs (環境問題など)	平和学習	災害や防災	税金や経済	デジタルやテクノロジー	地域の伝統的な芸能 (神楽、風流踊りなど)	障害者や福祉	その他	無回答
全体		6,909	35.9	33.1	27.0	26.2	23.4	18.1	15.2	15.0	11.3	9.9	4.4	-
学生別	小学生	3,756	34.1	22.5	29.9	29.0	27.9	22.6	14.4	13.3	11.5	9.6	4.4	-
	中学生	2,539	38.5	44.7	23.6	22.7	19.0	13.4	14.8	18.1	11.6	9.3	4.2	-
	高校生	590	36.1	49.9	23.0	23.0	13.6	10.1	21.7	12.9	8.4	14.3	5.9	-
	特別支援小	9	44.4	22.2	22.2	11.1	44.4	-	22.2	11.1	-	-	-	-
	特別支援中	9	33.3	22.2	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	22.2	-	11.1	11.1	-
	特別支援高	5	-	20.0	20.0	-	20.0	20.0	40.0	-	-	-	-	-
	その他	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-
学校別	公立	5,871	35.8	32.3	27.5	26.8	24.0	18.3	15.2	15.1	11.8	9.9	4.3	-
	私立	1,038	36.5	37.5	24.0	22.4	19.8	17.1	15.2	14.7	8.3	10.0	5.1	-

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い... ■

※nが30未満の時は参考値

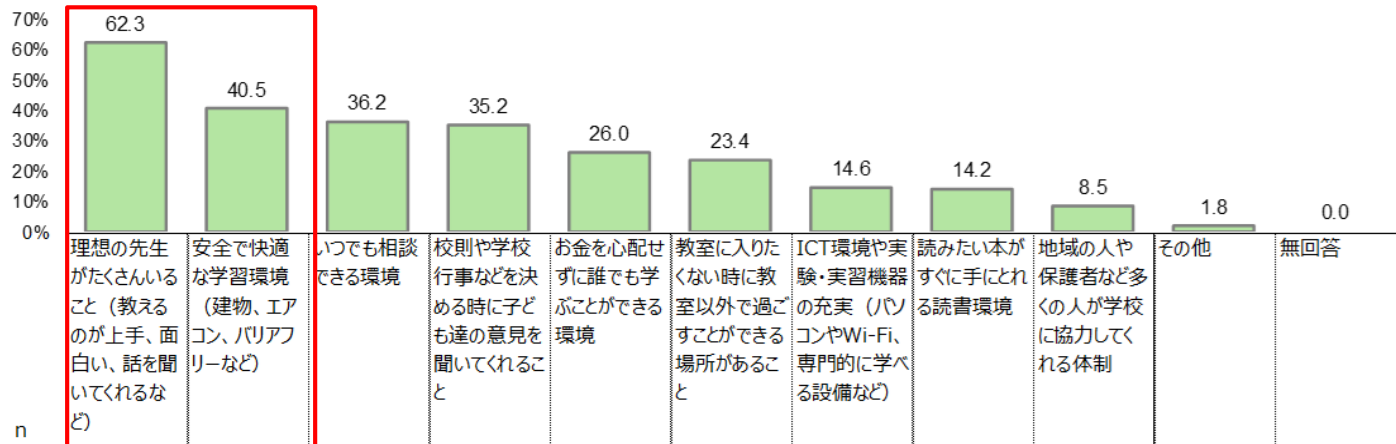
※全体順で降順ソート

# より良い学校・教育のために必要なこと

全体では「理想の先生がたくさんいること」が6割強と最も高く、次いで「安全で快適な学習環境」が4割強となっている。

学生別でみると「校則や学校行事などを決める時に子ども達の意見を聞いてくれること」「お金を心配せずに誰でも学ぶことができる環境」「ICT環境や実験・実習機器の充実」は学齢が上がるほど高く、「いつでも相談できる環境」「教室に入りたくない時に教室以外で過ごすことができる場所があること」「読みたい本がすぐに手にとれる読書環境」「地域の人や保護者など多くの人々が学校に協力してくれる体制」は学齢が下がるほど高くなる傾向がある。

Q7. より良い学校・教育のために何が必要だと思いますか？（3つまで選択可）



		n	理想の先生がたくさんいること (教えるのが上手、面白い、話を聞いてくれるなど)	安全で快適な学習環境 (建物、エアコン、バリアフリーなど)	いつでも相談できる環境	校則や学校行事などを決める時に子ども達の意見を聞いてくれること	お金を心配せずに誰でも学ぶことができる環境	教室に入りたくない時に教室以外で過ごすことができる場所があること	ICT環境や実験・実習機器の充実 (パソコンやWi-Fi、専門的に学べる設備など)	読みたい本がすぐに手にとれる読書環境	地域の人や保護者など多くの人々が学校に協力してくれる体制	その他	無回答
全体		6,909	62.3	40.5	36.2	35.2	26.0	23.4	14.6	14.2	8.5	1.8	-
学生別	小学生	3,756	59.8	36.4	40.7	29.3	24.9	24.9	11.8	16.5	10.2	1.9	-
	中学生	2,539	64.3	45.3	31.6	41.8	25.4	22.7	17.1	12.6	7.1	1.7	-
	高校生	590	69.4	46.4	27.7	44.9	35.3	17.3	21.8	6.1	3.4	1.3	-
	特別支援小	9	44.4	44.4	33.3	22.2	22.2	33.3	22.2	-	11.1	-	-
	特別支援中	9	66.7	55.6	33.3	33.3	11.1	11.1	-	-	11.1	-	-
	特別支援高	5	40.0	-	40.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-
	その他	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
学校別	公立	5,871	62.7	40.5	36.0	35.1	25.6	23.6	14.1	14.9	8.6	1.7	-
	私立	1,038	59.8	40.9	37.5	36.2	28.3	22.5	17.4	9.9	7.9	2.2	-

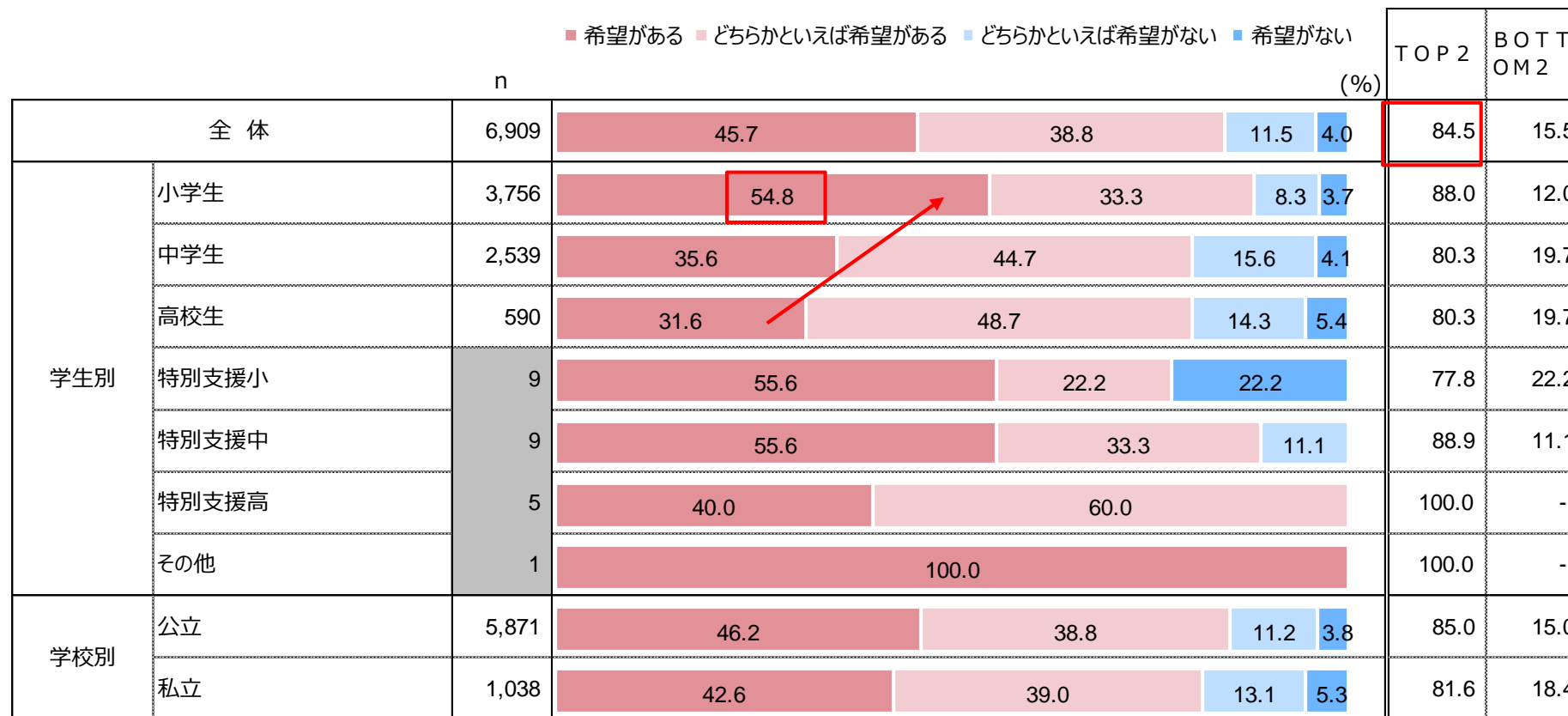
※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... /5pt以上高い... /5pt以上低い... /10pt以上低い...

※nが30未満の時は参考値

※全体順で降順ソート

全体では「希望がある」は4割半ば、「希望がある」「どちらかといえば希望がある」を合わせたTOP2は8割半ばとなっている。  
学生別では「希望がある」は小学生5割半ば、中学生3割半ば、高校生はそれぞれ3割強と学齢が下がるほど高くなっている。

Q8. 自分の将来について明るい希望を持っていますか？ (1つ選択)



※nが30未満の時は参考値

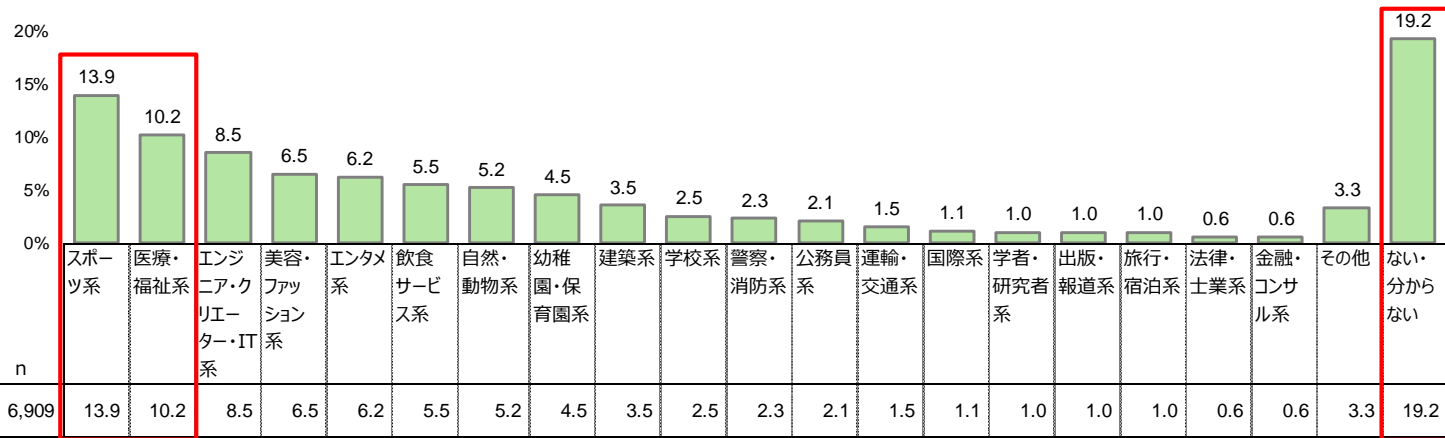
TOP2 = 希望がある + どちらかといえば希望がある の合計  
BOTTOM 2 = どちらかといえば希望がない + 希望がない の合計

# 将来就きたい職業

全体では「ない・わからない」が2割弱と最も高く、次いで「スポーツ系」が1割半ば、「医療・福祉系」が1割となっている。

学生別では「スポーツ系」は小学生2割弱に対し、中学生、高校生は1割に満たず年齢が下がるほど高くなっており、「医療・福祉系」は小学生1割弱、中学生1割強、高校生2割強と年齢が上がるほど高くなっている。「ない・わからない」は中学生が3割弱と小学生、高校生と比べ高くなっている。

Q9. 将来、就きたい職業は何ですか？ (1つ選択)



		n	スポーツ系	医療・福祉系	エンジニア・クリエイター・IT系	美容・ファッション系	エンタメ系	飲食サービス系	自然・動物系	幼稚園・保育園系	建築系	学校系	警察・消防系	公務員系	運輸・交通系	国際系	学者・研究者系	出版・報道系	旅行・宿泊系	法律・士業系	金融・コンサル系	その他	ない・わからない	
全体		6,909	13.9	10.2	8.5	6.5	6.2	5.5	5.2	4.5	3.5	2.5	2.3	2.1	1.5	1.1	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6	3.3	19.2	
学生別	小学生	3,756	18.9	7.9	8.8	6.9	7.6	6.5	6.0	4.9	3.3	2.1	2.4	1.1	1.5	0.7	1.4	0.8	0.6	0.6	0.2	3.0	14.7	
	中学生	2,539	9.7	11.0	8.2	5.8	4.6	3.9	4.2	4.3	4.0	2.6	2.1	2.7	1.5	1.1	0.5	1.1	1.0	0.6	0.7	3.8	26.5	
	高校生	590	1.0	21.5	7.4	6.7	3.5	5.9	3.7	3.0	2.4	4.2	1.8	5.7	1.5	3.4	1.2	1.5	2.7	0.5	3.0	3.0	16.3	
	特別支援小	9	-	-	22.2	-	11.1	-	-	-	22.2	-	11.1	11.1	11.1	-	-	-	-	11.1	-	-	-	-
	特別支援中	9	-	22.2	22.2	-	-	11.1	-	-	11.1	-	-	-	-	11.1	-	11.1	11.1	-	-	-	-	-
	特別支援高	5	-	20.0	-	-	-	-	20.0	20.0	20.0	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校別	公立	5,871	14.6	9.7	8.5	6.4	6.1	5.2	5.1	4.6	3.7	2.7	2.2	2.0	1.4	1.1	1.1	1.1	0.9	0.6	0.6	3.4	19.1	
	私立	1,038	10.4	13.2	8.4	7.0	6.4	6.9	5.4	4.3	2.2	1.3	2.7	2.5	2.1	1.0	0.7	0.6	1.4	0.8	0.6	2.9	19.3	

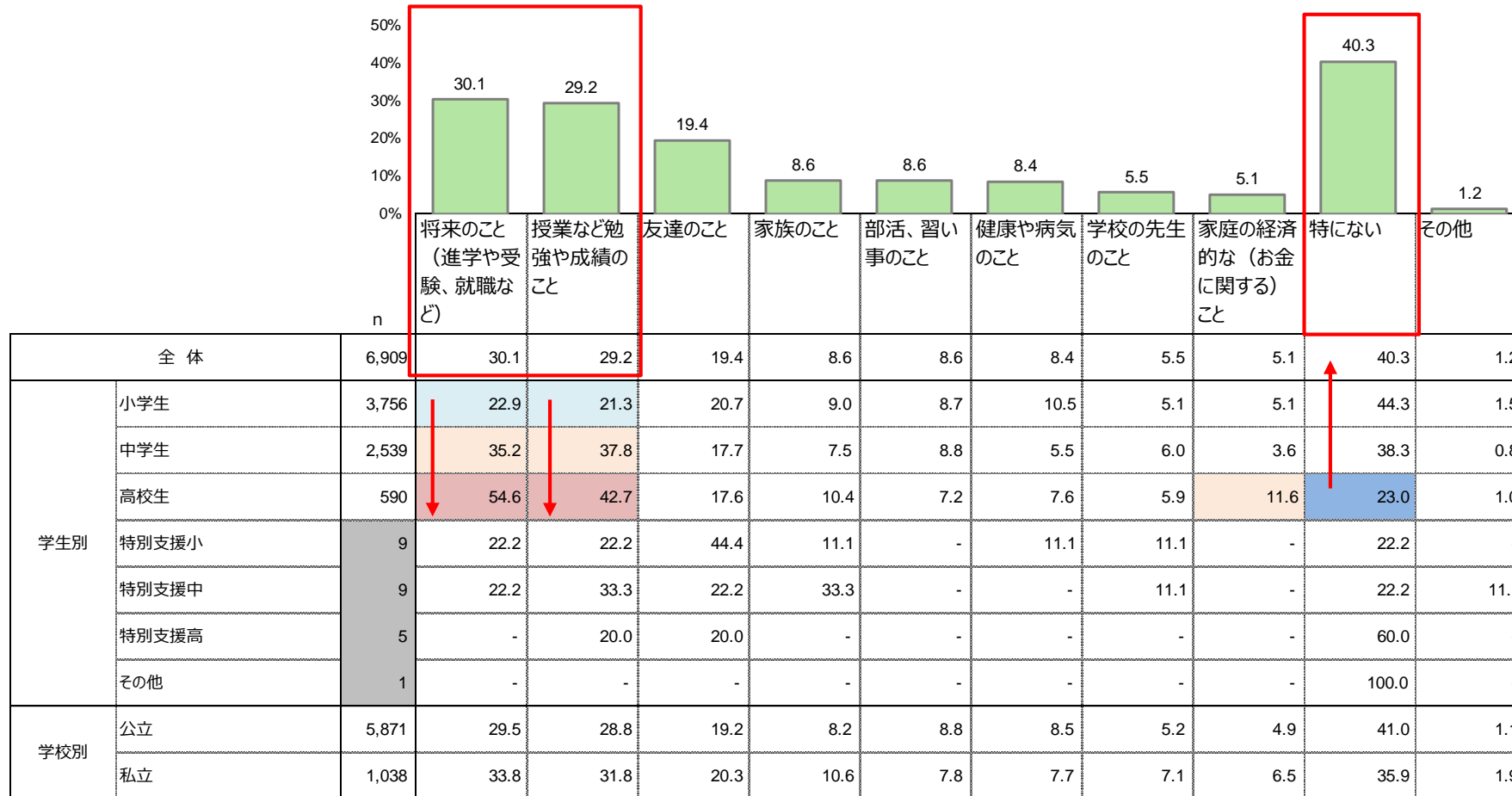
※n≧30で、全体よりも10pt以上高い... /5pt以上高い... /5pt以上低い... /10pt以上低い...  
 ※nが30未満の時は参考値

※全体順で降順ソート

# 生活の中での困りごと、心配事

全体では「特にない」が4割で最も高く、次いで「将来のこと」が3割、「授業など勉強や成績のこと」が3割弱となっている。  
 学生別では「将来のこと」は小学生2割強、中学生3割半ば、高校生5割半ばと年齢が上がるほど高くなっており、「授業など勉強や成績のこと」でも小学生が2割強に対し中学生4割弱、高校生4割強と同様の傾向がみられる。  
 「特にない」は年齢が下がるほど高くなっていく。

Q10. 生活の中で困っていること、心配に感じる事はどんなことですか？ (複数選択可)



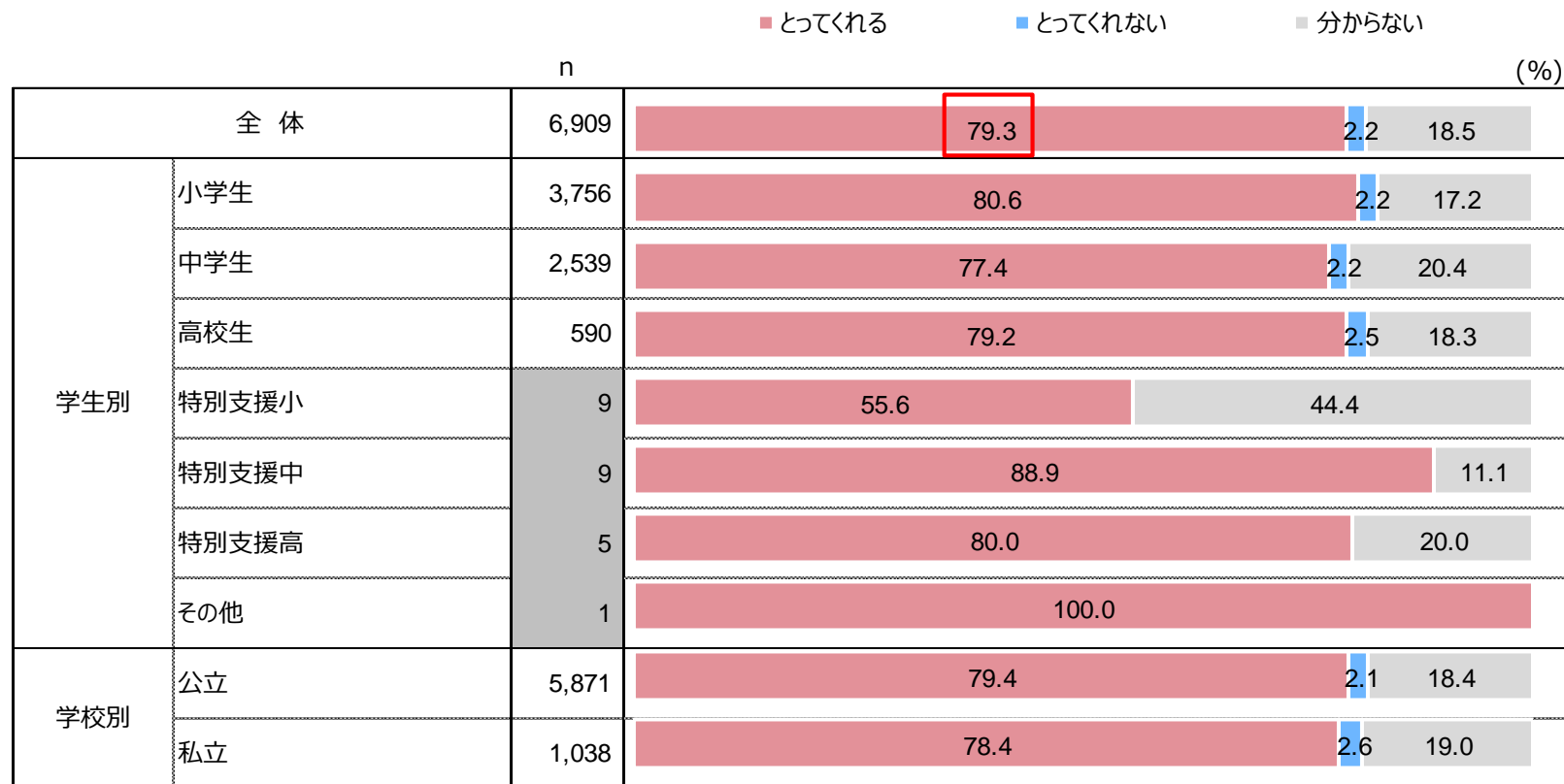
※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

※nが30未満の時は参考値

※全体順で降順ソート

全体では「とってくれる」が8割弱となっており、学生別・学校別でもそれぞれ8割前後となっており大きな差は見られなかった。

Q11. あなたの家族は、あなたと向き合う時間を十分にとってくれますか？（1つ選択）



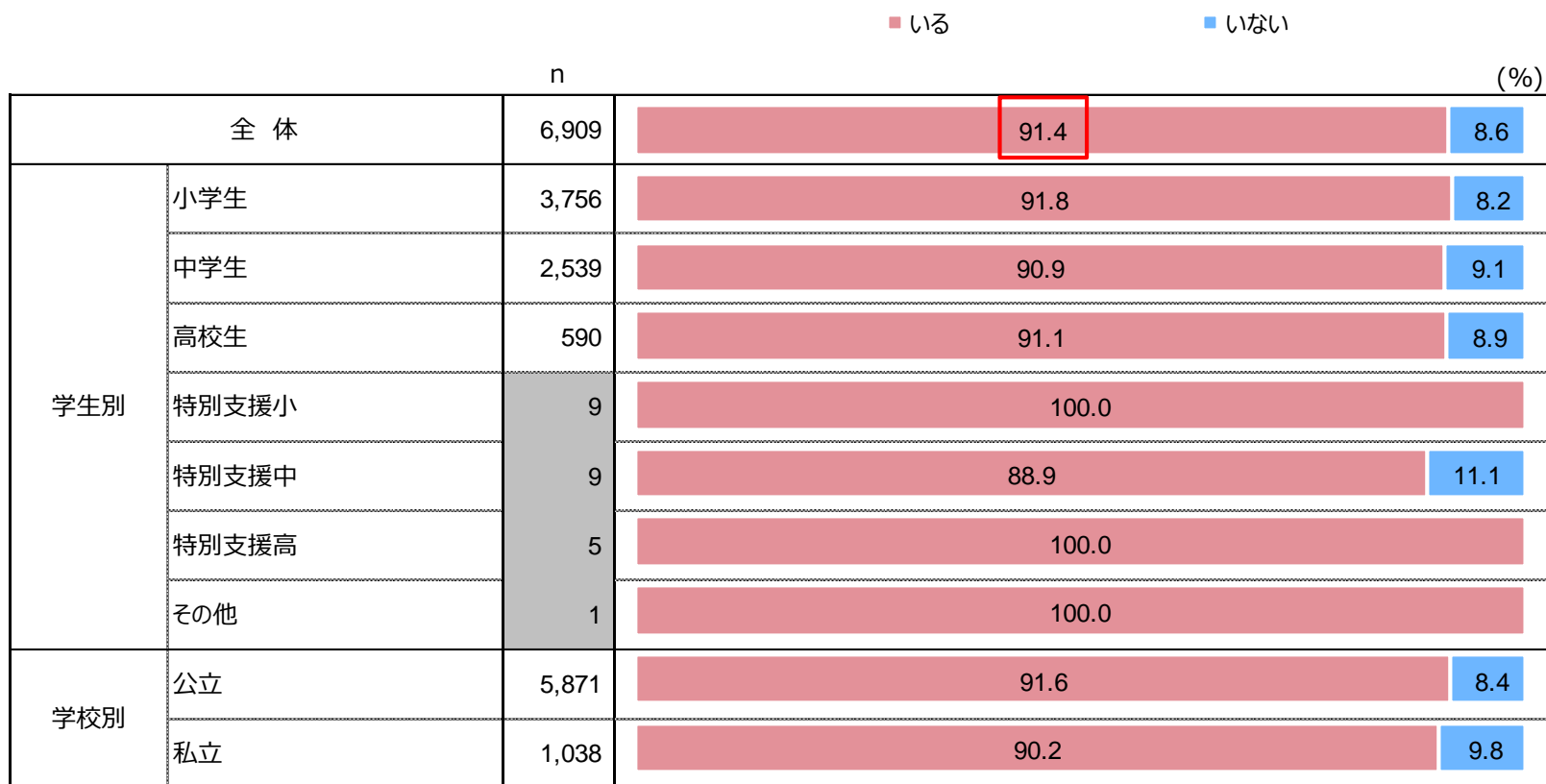
※nが30未満の時は参考値

# 困ったときに相談できる人がいるか

単位 (%)  
本調査回答者全員 (n=6,909)

全体では「いる」が9割強となっており、学生別・学校別でもそれぞれ9割を超えていて大きな差は見られなかった。

Q12. 困ったときに相談できる人がいますか？（1つ選択）



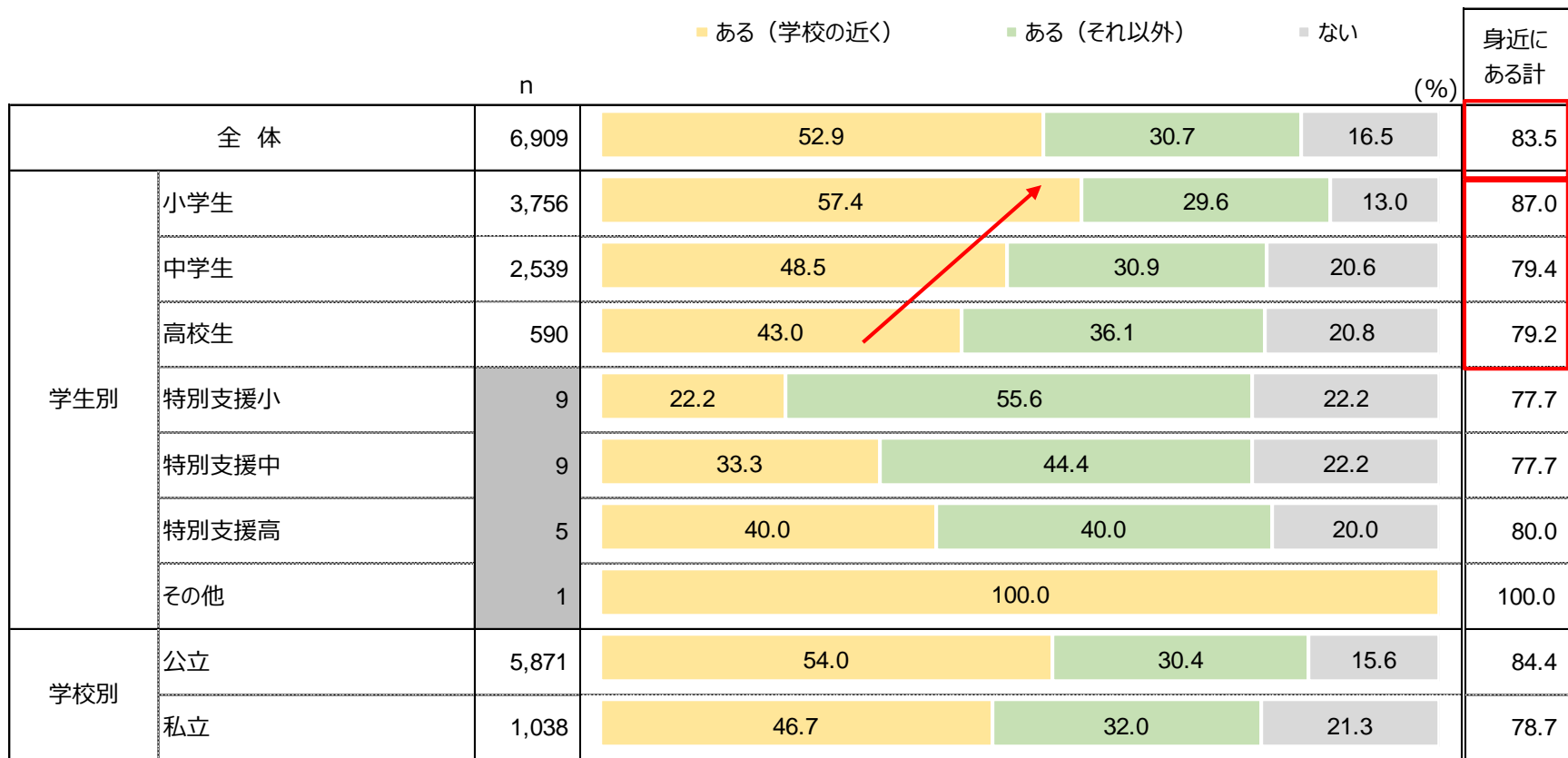
※nが30未満の時は参考値



# 放課後に自宅や学校以外で居場所が身近にあるか

全体では「ある(学校の近く)」が5割強、「ある(それ以外)」が3割強で「ある」を合わせた身近にある計は8割半ばとなった。  
 学生別では身近にある計は小学生が9割弱、中学生、高校生がそれぞれ8割弱と小学生と中高生で差が見られた。「ある(学校の近く)」は学齢が下がるほど高くなっている。

Q13. 自宅や学校（授業や部活、クラブ活動）以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所が身近にありますか。（1つ選択）



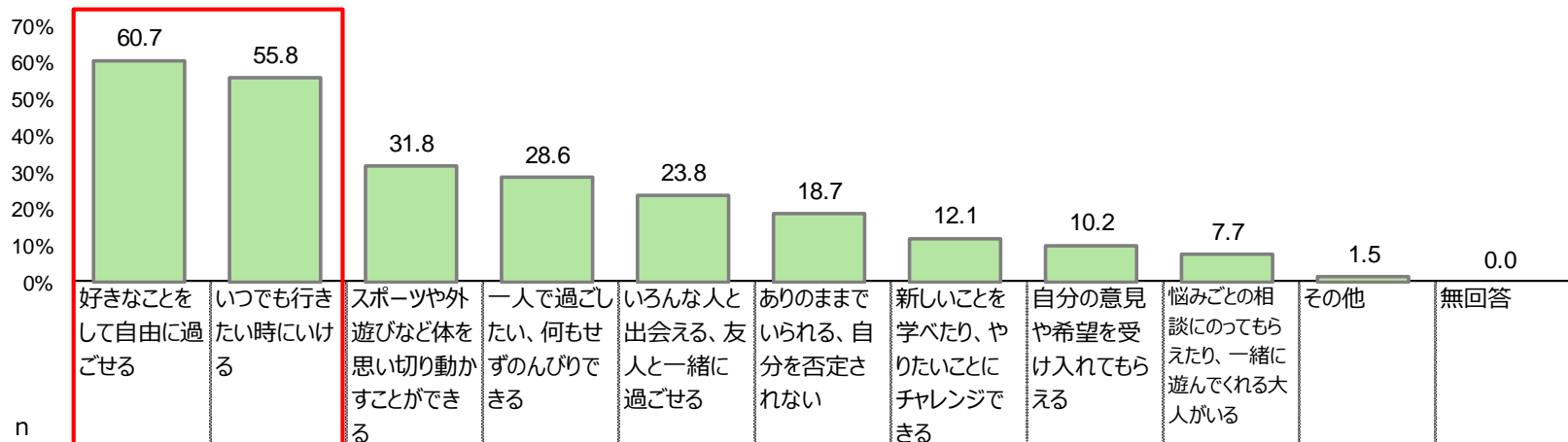
※nが30未満の時は参考値

身近にある計 = ある（学校の近く） + ある（それ以外）の合計

# 放課後に自宅や学校以外で利用したい居場所

全体では「好きなことをして自由に過ごせる」が最も高く6割強、次いで「いつでも行きたい時にいける」が5割半ばとなっている。  
 学生別で見ると、「スポーツや外遊びなど体を思い切り動かすことができる」が学齢が下がるほど高くなっており、「いつでも行きたい時にいける」「一人で過ごしたい、何もせずのんびりできる」は学齢が上がるほど高くなっている。

Q14. 自宅や学校（授業や部活、クラブ活動）以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所として、あれば利用したいと思うのはどんなところですか。（3つまで選択可）



		n	好きなことをして自由に過ごせる	いつでも行きたい時にいける	スポーツや外遊びなど体を思い切り動かすことができる	一人で過ごしたい、何もせずのんびりできる	いろんな人と出会える、友人と一緒に過ごせる	ありのままにいられる、自分を否定されない	新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる	自分の意見や希望を受け入れてもらえる	悩みごとの相談にのってもらえたり、一緒に遊んでくれる大人がいる	その他	無回答
全体		6,909	60.7	55.8	31.8	28.6	23.8	18.7	12.1	10.2	7.7	1.5	-
学生別	小学生	3,765	58.2	53.2	35.1	23.3	23.7	17.1	13.7	12.4	9.6	1.6	-
	中学生	2,548	64.2	57.8	29.7	32.8	25.4	20.7	10.2	7.9	4.9	1.3	-
	高校生	595	61.5	64.0	20.3	43.5	17.5	20.5	10.3	6.1	7.2	1.5	-
	その他	1	100.0	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-
学校別	公立	5,871	60.8	55.7	32.3	28.2	24.2	18.6	12.5	10.3	7.6	1.4	-
	私立	1,038	60.0	56.8	29.4	30.7	21.4	19.5	10.2	9.9	7.7	1.7	-

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

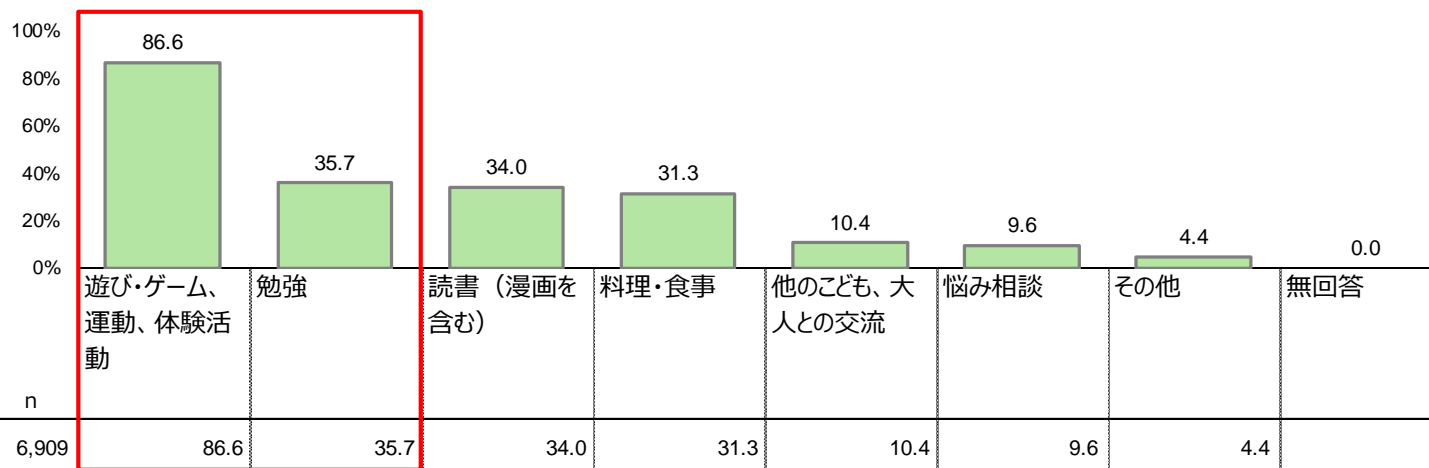
※nが30未満の時は参考値

# 放課後に自宅や学校以外の居場所でできるとうれしい事

単位 (%)  
本調査回答者全員 (n=6,909)

全体では「遊び・ゲーム、運動、体験活動」が9割弱で最も高く、次いで「勉強」が3割半ば、「読書」「料理・食事」が3割強となっている。学生別で見ると「遊び・ゲーム、運動、体験活動」は学齢が下がるほど高くなっており、「勉強」は学齢が上がるほど高くなっている。

Q15. 自宅や学校（授業や部活、クラブ活動）以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所で、あなたは何かできるとうれしいですか？（3つまで選択可）



n		遊び・ゲーム、運動、体験活動	勉強	読書（漫画を含む）	料理・食事	他のこども、大人との交流	悩み相談	その他	無回答	
全体	6,909	86.6	35.7	34.0	31.3	10.4	9.6	4.4	-	
学生別	小学生	3,756	87.8	30.9	33.6	32.6	9.8	10.5	4.1	-
	中学生	2,539	87.2	38.9	35.6	29.9	10.9	8.1	5.0	-
	高校生	590	76.1	51.6	29.9	28.9	12.3	10.8	3.4	-
	特別支援小	9	66.7	33.3	33.3	33.3	11.1	-	11.1	-
	特別支援中	9	66.7	55.6	44.4	11.1	11.1	11.1	-	-
	特別支援高	5	80.0	20.0	-	-	-	-	-	-
	その他	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-
学校別	公立	5,871	87.0	36.0	34.7	31.1	10.2	9.2	4.3	-
	私立	1,038	84.4	33.5	30.3	32.3	11.7	12.3	4.5	-

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

※nが30未満の時は参考値

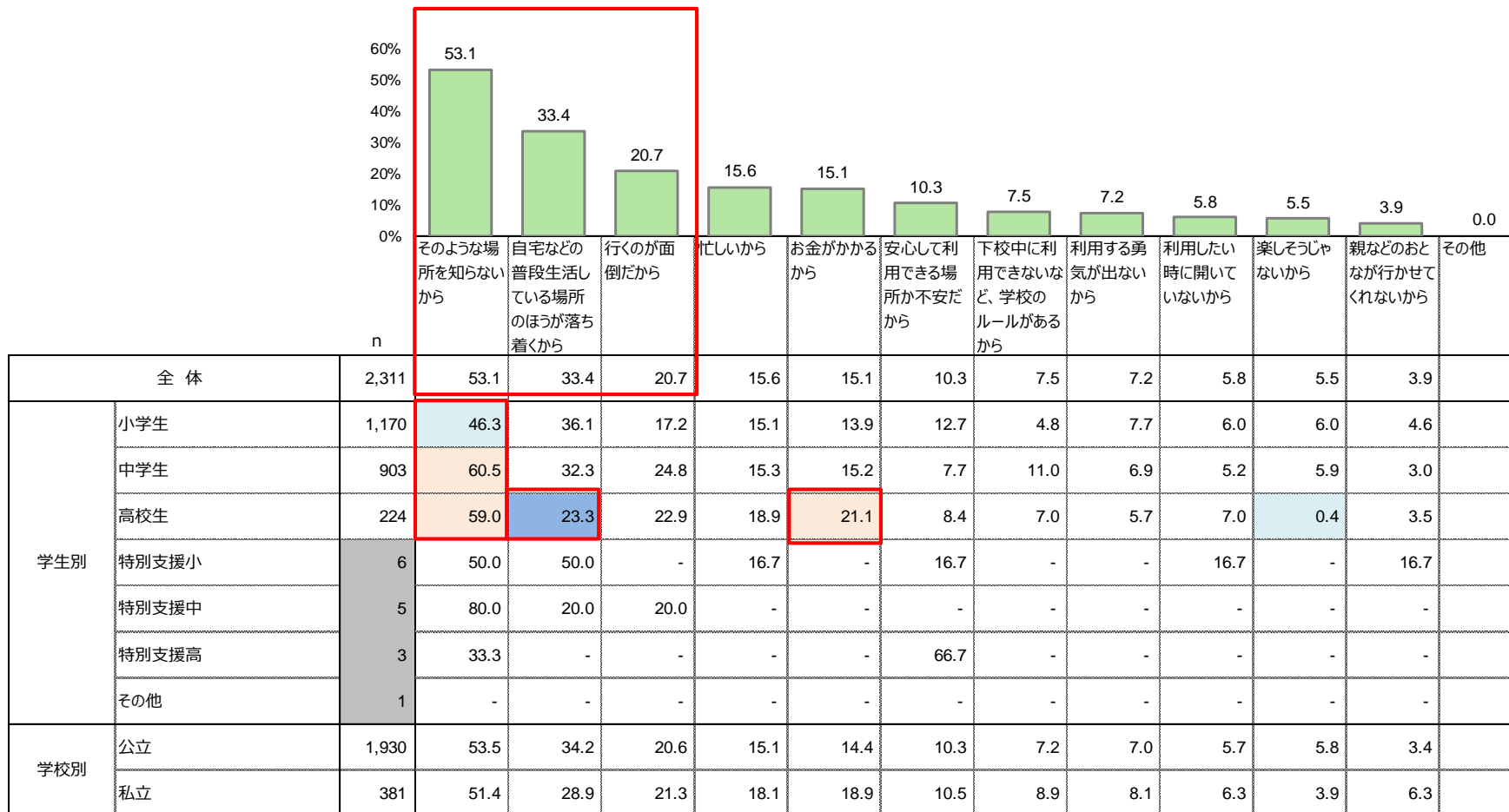
※全体順で降順ソート

# 放課後に自宅や学校以外の居場所を利用しない理由

全体では「そのような場所を知らないから」が5割強で最も高く、次いで「自宅などの普段生活している場所のほうが落ち着くから」が3割強、「行くのが面倒だから」が2割強となっている。

学生別では、「そのような場所を知らないから」は小学生が5割弱に対し中学生・高校生はそれぞれ6割台と差が見られ、「自宅などの普段生活している場所のほうが落ち着くから」は高校生が2割半ばと他より低く、「お金がかかるから」は高校生が2割強と他より高くなっている。

Q16. 自宅や学校（授業や部活、クラブ活動）以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所を利用したことがないという方にお聞きます。そのような場所を利用したことがない理由は何ですか。（複数選択可）

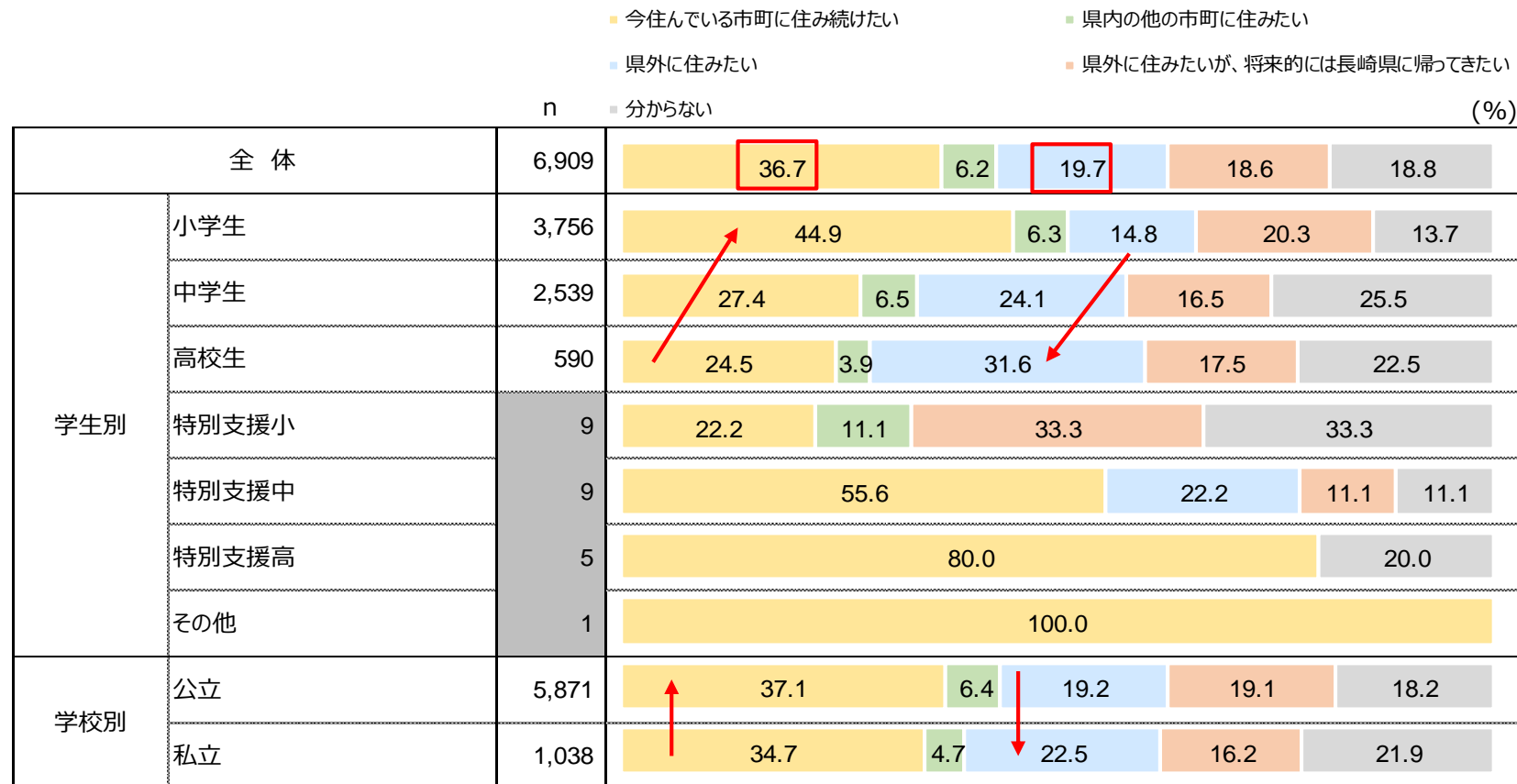


※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

※nが30未満の時は参考値

全体では「今住んでいる市町に住み続けたい」が4割弱、「県外に住みたい」が2割となっている。  
 学生別・学校別では「今住んでいる市町に住み続けたい」は学齢が下がるほど高く、私立より公立が高くなっており、「県外に住みたい」は学齢が上がるほど高く、公立より私立が高くなってきている。

Q17. これからも長崎県に住み続けたいと思いますか？（1つ選択）

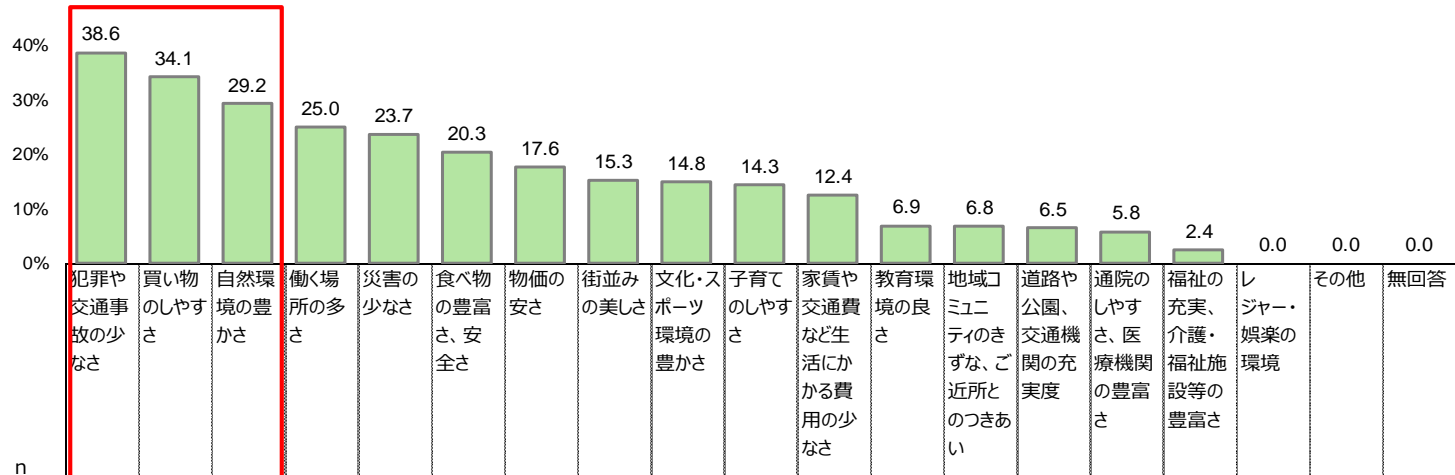


※nが30未満の時は参考値

# 住む場所を選ぶ上で重要視する点

全体では「犯罪や交通事故の少なさ」が4割弱と最も多く、次いで「買物のしやすさ」が3割半ば「自然環境の豊かさ」が3割弱となっている。  
 学生別では「犯罪や交通事故の少なさ」「自然環境の豊かさ」「災害の少なさ」「食べ物の豊富さ、安全さ」「文化・スポーツ環境の豊かさ」は学齢が下がるほど高くなっており、「買い物のしやすさ」「働く場所の多さ」「家賃や交通費など生活にかかる費用の少なさ」「道路や公園、交通機関の充実度」が学齢が上がるほど高くなっている。

Q18. 将来、住む場所を選ぶ上で、特に大事にしたいことは何ですか？（3つまで選択可）



		n	犯罪や交通事故の少なさ	買い物のしやすさ	自然環境の豊かさ	働く場所の多さ	災害の少なさ	食べ物の豊富さ、安全さ	物価の安さ	街並みの美しさ	文化・スポーツ環境の豊かさ	子育てのしやすさ	家賃や交通費など生活にかかる費用の少なさ	教育環境の良さ	地域コミュニティのきずな、ご近所とのつきあい	道路や公園、交通機関の充実度	通院のしやすさ、医療機関の豊富さ	福祉の充実、介護・福祉施設等の豊富さ	レジャー・娯楽環境	その他	無回答	
全体		6,909	38.6	34.1	29.2	25.0	23.7	20.3	17.6	15.3	14.8	14.3	12.4	6.9	6.8	6.5	5.8	2.4	-	-	-	
学生別	小学生	3,756	41.6	28.7	34.4	21.3	26.2	22.0	15.5	13.2	17.1	16.3	8.7	7.6	7.3	4.8	4.1	2.4	-	-	-	
	中学生	2,539	36.3	38.4	24.6	29.1	22.1	19.0	20.8	17.9	13.1	11.8	15.7	6.1	6.3	7.5	7.6	2.1	-	-	-	
	高校生	590	29.9	49.9	15.3	30.9	15.3	15.1	16.8	17.5	7.9	12.8	22.4	6.2	6.4	12.9	9.1	3.5	-	-	-	
	特別支援小	9	44.4	66.7	33.3	11.1	33.3	22.2	11.1	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特別支援中	9	22.2	44.4	44.4	33.3	55.6	11.1	11.1	33.3	-	11.1	-	-	-	-	-	-	11.1	-	-	-
	特別支援高	5	20.0	40.0	-	60.0	-	-	-	-	-	-	-	40.0	20.0	-	-	-	20.0	-	-	-
	その他	1	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
学校別	公立	5,871	39.0	33.5	29.7	24.6	23.8	20.4	17.6	15.3	15.4	14.4	12.0	7.0	7.0	6.4	5.7	2.3	-	-	-	
	私立	1,038	36.2	37.7	26.3	27.1	23.0	19.9	17.2	15.4	11.4	13.7	14.8	6.6	5.9	7.3	6.3	2.5	-	-	-	

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

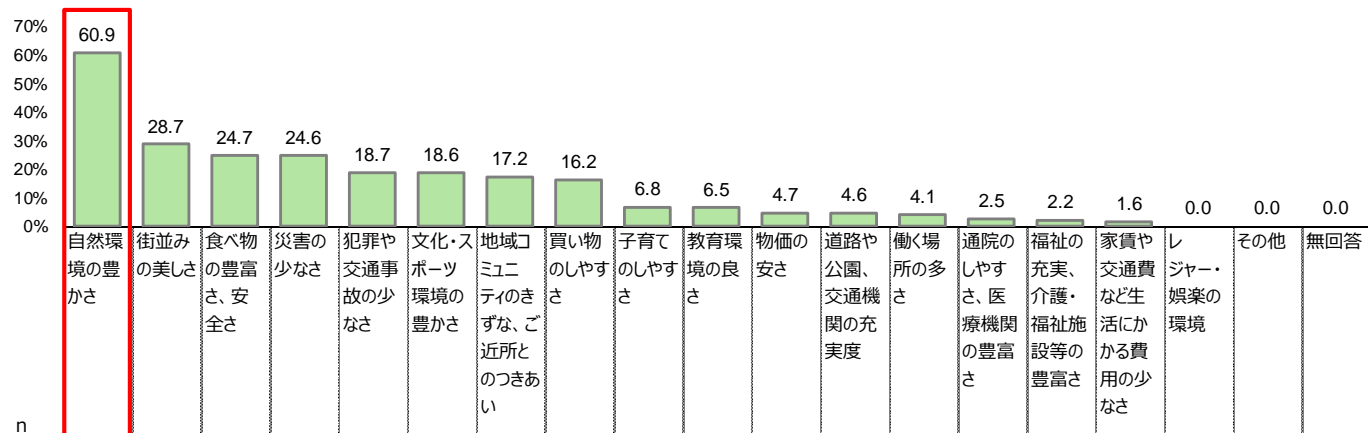
※nが30未満の時は参考値

# 長崎県の良い点

全体では「自然環境の豊かさ」が6割半ばと最も高く、他と比べても顕著に高い。

学生別では「街並み美しさ」「食べ物の豊富さ、安全さ」は学齢があがるほど高くなっており、「文化・スポーツ環境の豊かさ」「買い物のしやすさ」「教育環境の良さ」は学齢が下がるごとに高くなっている。

Q19. あなたは長崎県の良さはどんなところだと思いますか？（3つまで選択可）



		n	自然環境の豊かさ	街並みの美しさ	食べ物の豊富さ、安全さ	災害の少なさ	犯罪や交通事故の少なさ	文化・スポーツ環境の豊かさ	地域コミュニティのきずな、ご近所とのつきあい	買い物のしやすさ	子育てのしやすさ	教育環境の良さ	物価の安さ	道路や公園、交通機関の充実度	働く場所の多さ	通院のしやすさ、医療機関の豊富さ	福祉の充実、介護・福祉施設等の豊富さ	家賃や交通費など生活にかかる費用の少なさ	レジャー・娯楽の環境	その他	無回答	
全体		6,909	60.9	28.7	24.7	24.6	18.7	18.6	17.2	16.2	6.8	6.5	4.7	4.6	4.1	2.5	2.2	1.6	-	-	-	
学生別	小学生	3,756	59.1	25.2	22.9	24.5	19.3	20.8	16.5	18.2	8.4	8.1	5.1	5.4	5.4	2.3	2.5	1.5	-	-	-	
	中学生	2,539	63.7	32.6	26.5	23.7	17.9	16.9	19.6	14.2	4.8	5.1	4.1	3.9	2.7	2.7	1.6	1.5	-	-	-	
	高校生	590	60.7	34.5	28.4	28.7	18.8	12.3	11.6	12.3	5.4	1.5	4.9	2.5	2.0	3.2	2.4	2.4	-	-	-	
	特別支援小	9	66.7	22.2	33.3	44.4	22.2	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特別支援中	9	55.6	11.1	33.3	22.2	-	11.1	-	44.4	-	22.2	-	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-
	特別支援高	5	20.0	-	40.0	20.0	20.0	-	-	80.0	-	-	-	-	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-
	その他	1	100.0	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校別	公立	5,871	61.4	28.8	24.6	24.4	18.5	19.0	17.5	16.4	6.6	6.7	4.7	4.8	4.1	2.6	2.2	1.5	-	-	-	
	私立	1,038	58.1	28.4	25.4	26.0	20.0	16.4	15.4	15.0	7.8	5.1	4.8	3.8	3.9	2.3	2.2	1.6	-	-	-	

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

※nが30未満の時は参考値

Q20. 県が目指す「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「こどもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。（自由記述）

## ■ 公共施設に関すること

- ・遊具がいっぱいある公園や大きなお店ができたり、色んな人と交流できたりするところなどがあると私は理想の長崎県（市）になるとも思います！（小学校）
- ・高齢者が過ごしやすいく所もあるけど、こどもの過ごしやすいく所もほしいから高齢者と子供が交流したり一緒にすごせたりする公園があったらいいと思う。（小学校）
- ・放課後や休みの日に、みんなが勉強や遊んだり好きなことができるスペースみたいなのを公民館などで、開設したらいいと思います。なぜなら、休みの日など遊ぶときに雨のときとかは特に、外で遊べないから遊ぶところがあまりないからあったらいいなと思います。（中学校）
- ・貸し切ることの出来るダンススタジオ、いろんな学校の子との交流出来るところ 小さい子供も遊べそうな公園や、障害を持っている人も楽に行ける場所（中学校）
- ・小学生の時、通行人や車の関係で、公園での水遊びやボール遊びが一部制限されて窮屈だったので、それらの遊びが迷惑がかからないようにできる環境があるといいと思う。特に近年は夏が暑いので、屋内の公園施設や、小川や噴水のあり、手軽に水遊びができる公園があると良いと思う。（高校）
- ・長崎市に色んな運動ができる場所が少ないのでそういった施設を増やして欲しいです。お金下さい。（高校）
- ・公園などを増やす（高校）

## ■ 商業施設に関すること

- ・福岡県にあるキザニアのように子どもたちだけが利用できる施設を作りこれが実現したらこれを起点に子供を中心とした施設をさらに増やしていけいいと思う。（小学校）
- ・長崎県は、小中学生は、校区外には行けないというルールがあるから小学生が自由な買い物などができないから、買い物ができる場所がほしい（小学校）
- ・アニメのなどがコラボしたカフェなどができてほしい。いろいろなスポーツ観戦ができるところを作ってほしい（中学校）
- ・東京、福岡などにある有名なショップが、長崎にもっとあるといい {ポケモンセンター・お宝市場・まんだらけ・ベビタピ・タワーレコード・油そば・一蘭・シロのホテル・IKEA・クリスピー・}（中学校）
- ・地方公共団体と企業で取り組み、地方や、中央街に安価なレジャー施設や、遊園地等の家族や、子供同士で遊びに行ける場所を作ること。学生の体験学習の一環として、企業や、公務員さんの職場見学や、職業体験を行うこと。学生の様々なものへの割引を充実させること。(公共交通機関や、施設の入場料など)（高校）
- ・テスト期間の時期など勉強スペースが少なく混んでいて、せっかく行っても勉強できなかったり、いざどこかに集まって相談に乗る・作業することがあるときに場所がどこかからの飲食店に入らなければいけないので、あまりお金をかけずに落ち着けるような場所があると過ごしやすくなると思います。（高校）

## ■ 遊べる場所に関すること

- ・遊べるところ（お金がかからない）身近に友達と行ける場所がほしい（小学校）
- ・小さい子から、大人まで遊べる広い施設 いろいろなことが体験できる場所が近くにほしい（小学校）
- ・公園や遊べるところを増やしたほうがいいと思います。あと自由に過ごせるところも増やしたほうがいいと思います。（小学校）
- ・遊べる場所が少ないと思う。子どもの会議のようなものを増やすと子どもが主役になれていいと思う。（中学校）
- ・僕の子どものイメージは「いっぱい遊ぶ」だとも思います。なので、公園には遊具などの追加また、子供が簡単に遊べる場所、地域の友達と集まる場所などが必要だと思う（中学校）
- ・子供が遊べる場所が少ない。小さい子供が遊べる場所は結構あると思うけど中学生ぐらいが遊べる場所は限られていると思う。（中学校）
- ・一人一人が安心して勉強できる環境や、自由に遊べる場所があると思う。（中学校）
- ・中高生の遊び場を作ってほしいです。小さい子の公園や施設はあるけれど、中高生の遊ぶところがなくて、結局家でゲームをするしかなくなってしまいます。体を動かして遊べる施設を作って欲しいです。（高校）
- ・子供が遊べる施設を増やすことができればいいと思う。これからも子供が安全安心に暮らせる地域を目指してほしい。（高校）
- ・もっと学生が遊べる場所を増やすべきだと思う。（高校）
- ・子供が主体的に遊べる環境を計画していったら、子供にとって遊べるし、いろいろ学ぶこともできるし、先生方も楽だと思うのでいいと思います。（高校）



Q19. 県が目指す「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「こどもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。（自由記述）

## ■ 子供の意見に関すること

- ・大人はできるだけ子供（他人の子供にも、自分の子供）に、できるだけ子どもの意見を尊重する。子供が軸として何かを考え、大人がそれについて考え、（考案）実行に移すことが大事だと思うです。（小学校）
- ・子供関係のことは、大人が勝手に決めるのではなく子どもの意見なども聞いてから決める（小学校）
- ・子供の意見をしっかり受け止めてくれる大人なども必要だと思います。子供に体験をさせたりすることも、子供が大人になって仕事の範囲を広めることにもなります。あと、AIに頼りすぎないことも大切だと思います。人の手で作られたものを継続するには、AIに頼りすぎないことと、子供に、将来について安心させることが、大切なのではないのでしょうか。（小学校）
- ・子供の意見も聞いてあげること。言いたくても言えない（言う勇気が出ない。）とか、たとえ言っても耳を傾けてもらえないことを避けるために。意見を言ってくれたら、その意見を流さずに、しっかり向き合ってほしい。たぶん、その事を言うためにすごく勇気がある子もいるかもしれないから。（小学校）
- ・理想の姿としては、子どもの意見を積極的に受け入れて、様々な場所で活用できるといいのではないかなと思います。「子どもだから・・」などの偏見をやめ、子どもだからこそある無限の可能性を信じてみてはどうかと思います。（中学校）
- ・大人ばかりの意見ではなく、子どもの意見を取り入れて実施することでより楽しくユニークな長崎県になり子供も大人も満足できる。（中学校）
- ・大人がいつからこうなる。ではなく子供が主役の社会にしたいのなら子どもの意見も聞くべきではあるとおもいます。政治の世界でも若い人が活躍するするようになれば良いと思います。長崎の魅力はまだあると思うのでそれ話最大限に活かすことがよい社会への一歩だと思います。（中学校）
- ・子供が活発な意見を発するためには教師の人口を増加させたり、質の良い教育をさせることが一番だと思います。質の良い教育とは、例えば生徒が自主的に取り組む授業（調べ学習）を取り入れるとか、ITを多用した授業など、生徒が楽しく、学校に行きたくなるような授業をすると子どもの意見が活発になり不登校者数も減ると考えています。（中学校）
- ・定期的に子供の意見をどんなに考えが甘いものでもローカルメディアでとりあげて市民に認知してもらおう機会を設ける。（高校）
- ・子供の意見を反映させた行政を行える機会を作ればいいと思う（高校）
- ・子どもの意見をしっかり聞いてくれる場所（いろんな人に意見を求めても良い所）（高校）
- ・娯楽施設。イベント。子供の意見が議会に通る。（高校）

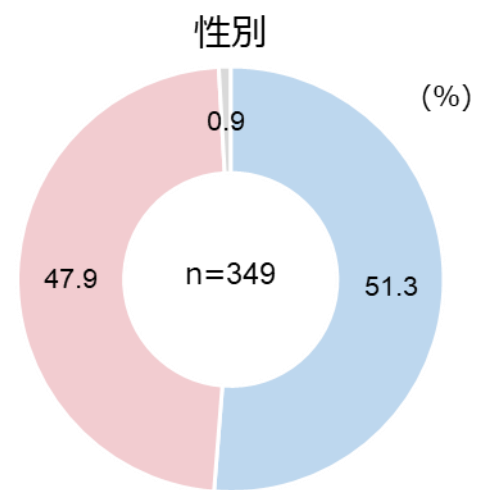
## ■ 治安・安全に関すること

- ・誘拐がないかを大人の人が見たりみんな周りをよく見て行動すると良いと思います（小学校）
- ・犯罪を無くしてほしいです。みんなが優しく思いやれる人が増えてほしいです。知らないおばあさんやおじいさんが横断歩道じゃないところを歩いているのを最近よく見かけます。車が来るかもしれないのにあぶないなあと思います。それを子供の前でしないでほしいです。事故になりかねないので横断歩道じゃないところを歩くのをやめてほしいです。（小学校）
- ・犯罪や交通事故の少ない町・災害の少ない町・福祉の充実、介護・福祉施設等の豊富さ（小学校）
- ・事件がなく、環境豊かで、お店がいっぱいあってみんなが安心安全で過ごせる街にしてほしい（中学校）
- ・子供が自由に暮らせるほど安全で快適な姿が理想の姿だと思います。（中学校）
- ・子供が災害のとき安全に避難できるようにそゆう参加できる体験を作ったほうが良いと思います。（中学校）
- ・身近に感じる危険や日常生活の中で感じた不満や不安を、相談もしくはその解決案をこどもが直接自治体に提言できる場を設けてもらおうと、こどもは気軽に自分たちの意見を主張できるかもしれない。そうすれば、自分の住む地域社会に日頃から関心を持つこどもが増え、より良い社会の姿を考え続けて政治に身を置く児童が増えていく、「こどもが主役」の長崎県が作られると感じる。（高校）

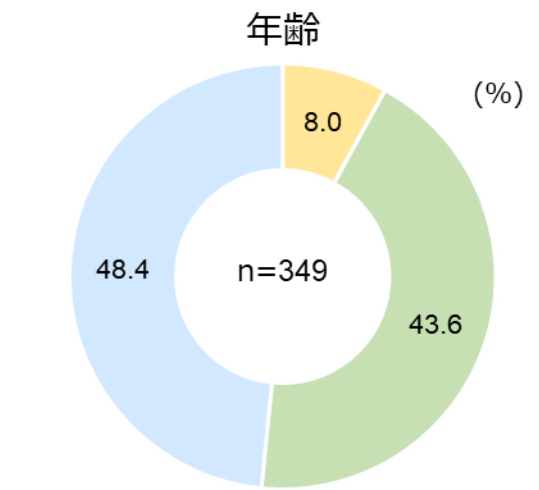
## **②長崎市在住の18歳～29歳**

---

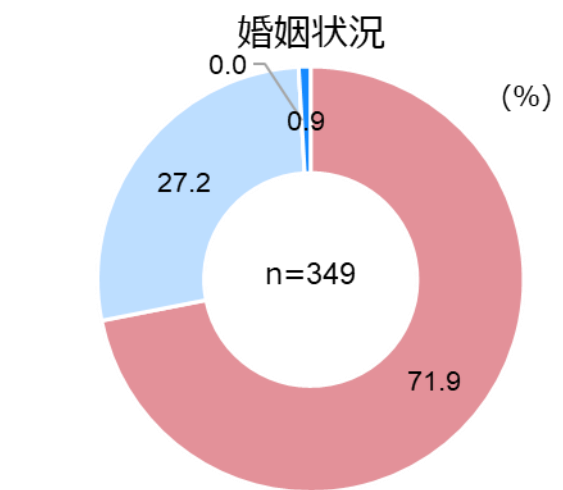
# 回答者プロフィール (18歳～29歳)



■ 男性 ■ 女性 ■ その他 (どちらともいえない・わからない・答えたくない)

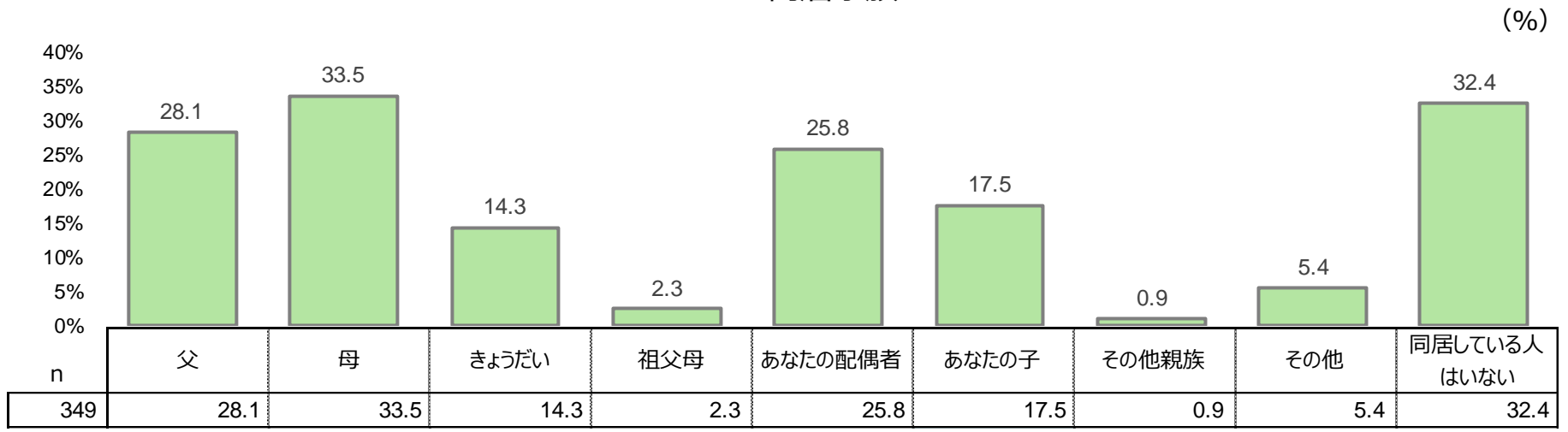


■ 18～20歳 ■ 21～25歳 ■ 26～29歳



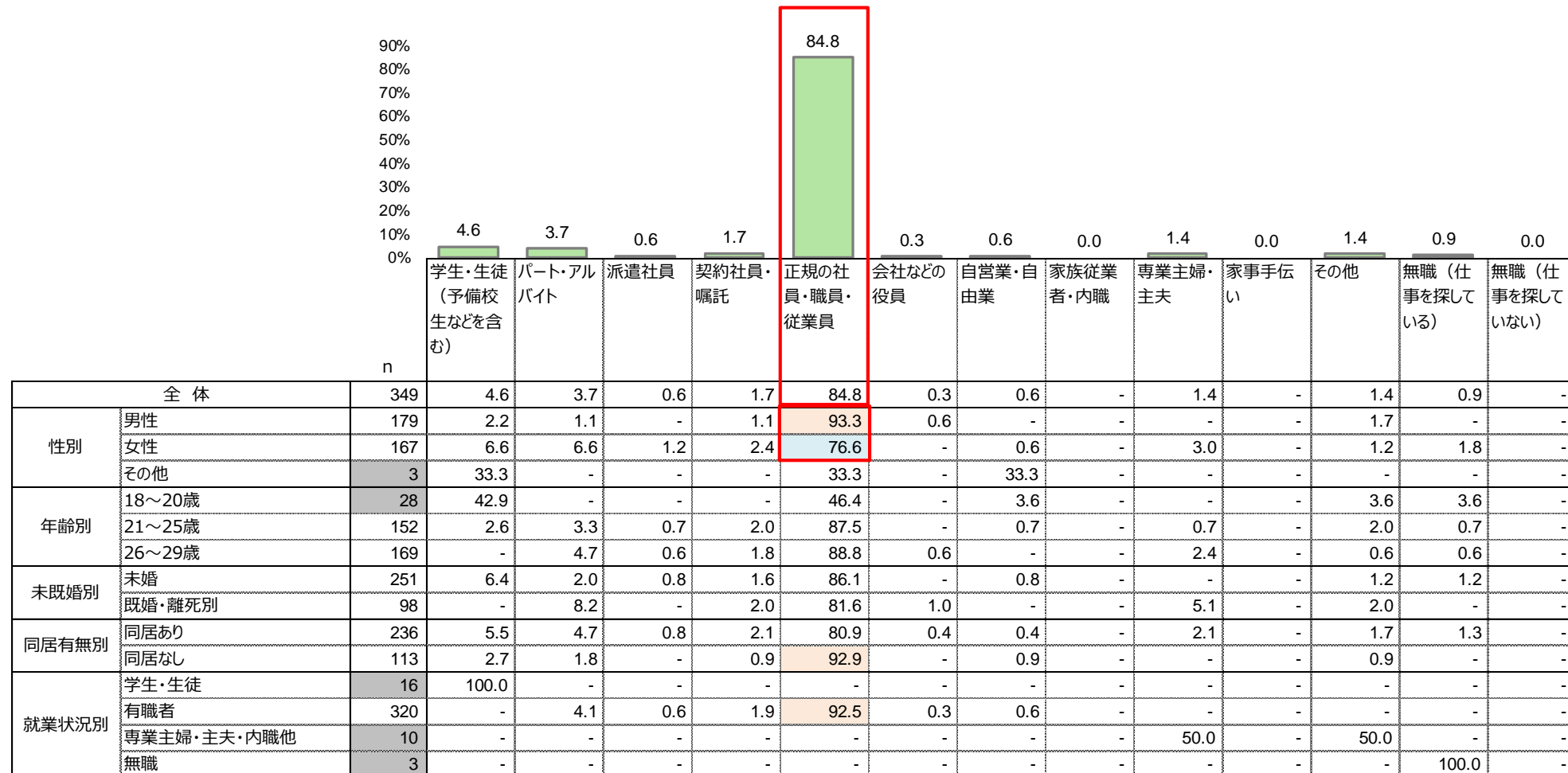
■ 未婚 ■ 配偶者あり ■ 配偶者と死別 ■ 配偶者と離別 (離婚)

## 同居家族



全体では「正規の社員・職員・従業員が」が8割半ばとなっている。  
性別では「正規の社員・職員・従業員が」は男性は9割強に対して、女性は8割弱と男女差が見られる。

問1. あなたの現在の就業状況について、あてはまるものを選んでください。(1つ選択)



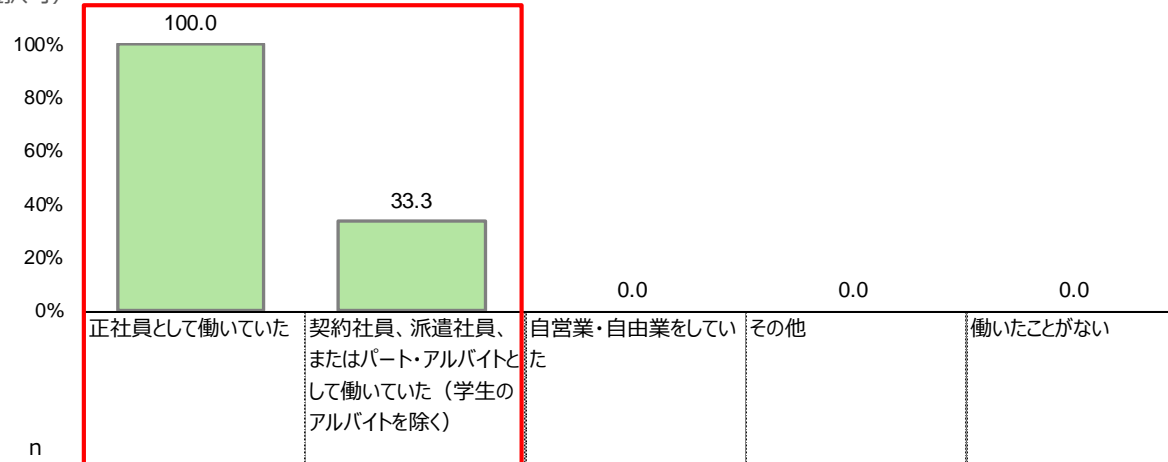
※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い... ■

※nが30未満の時は参考値

全体では全数が「正社員として働いていた」、3割強が「契約社員、派遣社員またはパート・アルバイトとして働いていた」。

問2. 【問1】で「無職（仕事を探している）」または「無職（仕事を探していない）」を選んだ方は、あてはまるものを選んでください。

問2-1. ア 今まで働いたことがありますか。あてはまるものを選んでください。（複数選択可）



全体		n	正社員として働いていた	契約社員、派遣社員、またはパート・アルバイトとして働いていた (学生のアルバイトを除く)	自営業・自由業をしていた	その他	働いたことがない
性別	男性	-	-	-	-	-	-
	女性	3	100.0	33.3	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-
年齢別	18~20歳	1	100.0	-	-	-	-
	21~25歳	1	100.0	100.0	-	-	-
	26~29歳	1	100.0	-	-	-	-
未婚別	未婚	3	100.0	33.3	-	-	-
	既婚・離死別	-	-	-	-	-	-
同居有無別	同居あり	3	100.0	33.3	-	-	-
	同居なし	-	-	-	-	-	-
就業状況別	学生・生徒	-	-	-	-	-	-
	有職者	-	-	-	-	-	-
	専業主婦・主夫・内職他	-	-	-	-	-	-
	無職	3	100.0	33.3	-	-	-

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

※nが30未満の時は参考値

全体では全数が就職希望であった。

問2. 【問1】で「無職（仕事を探している）」または「無職（仕事を探していない）」を選んだ方は、あてはまるものを選んでください。

問2-2. イ 就職または進学を希望していますか。あてはまるものを選んでください。（1つ選択）

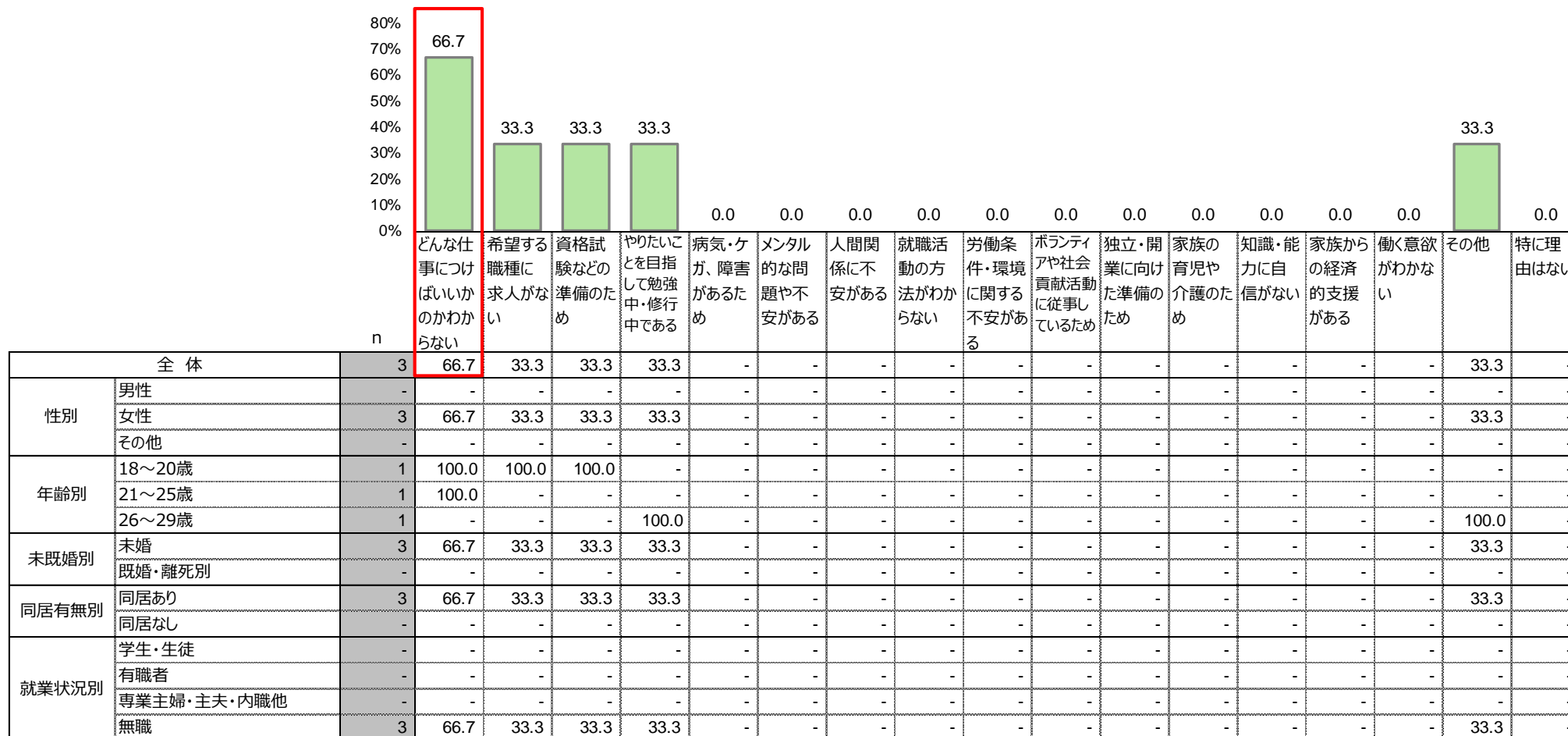
		n	就職希望	進学希望	どちらも希望していない	(%)
全体		3	100.0			
性別	男性	-				
	女性	3	100.0			
	その他	-				
年齢別	18～20歳	1	100.0			
	21～25歳	1	100.0			
	26～29歳	1	100.0			
未既婚別	未婚	3	100.0			
	既婚・離死別	-				
同居有無別	同居あり	3	100.0			
	同居なし	-				
就業状況別	学生・生徒	-				
	有職者	-				
	専業主婦・主夫・内職他	-				
	無職	3	100.0			

※nが30未満の時は参考値

全体では「どんな仕事につけばいいのかわからない」が7割弱となった。

問2. 【問1】で「無職（仕事を探している）」または「無職（仕事を探していない）」を選んだ方は、あてはまるものを選んでください。

問2-3. ウ あなたが現在、働いていない（または働けない）理由は何ですか。あてはまるものを選んでください。（複数選択可）



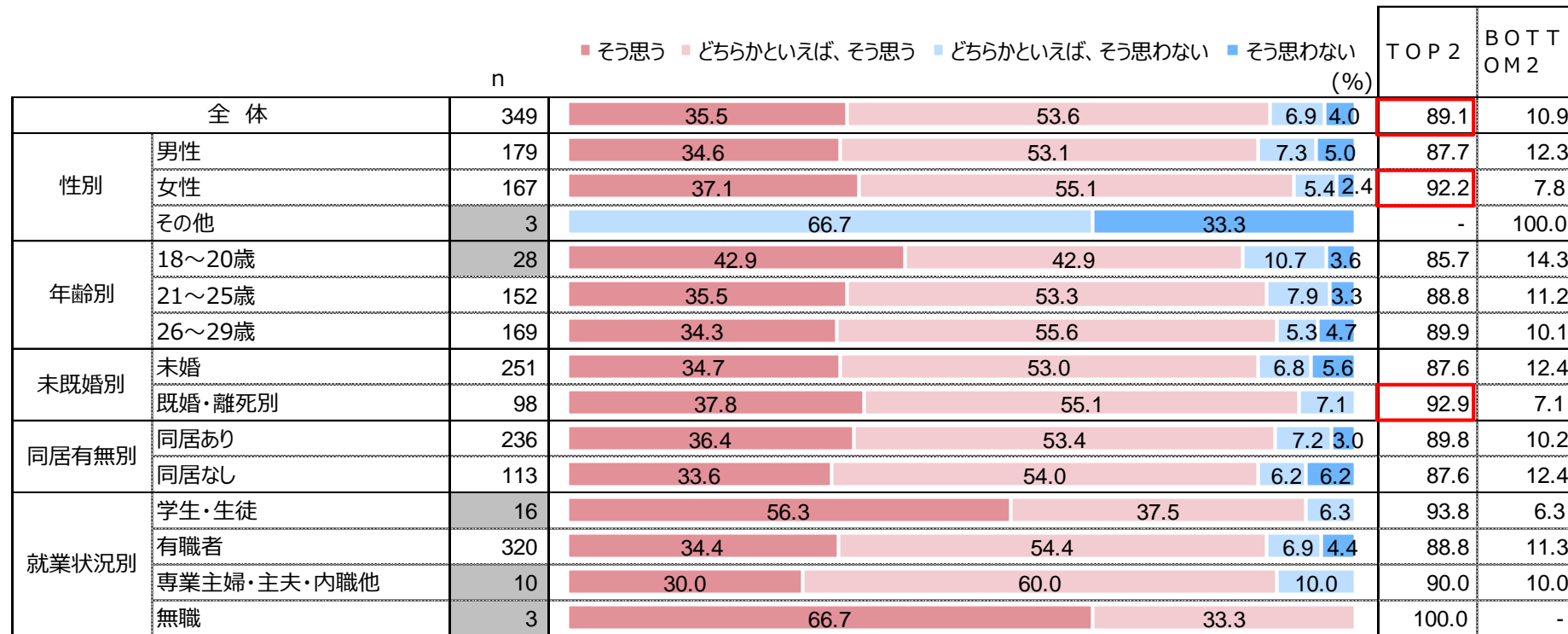
※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

※nが30未満の時は参考値

※全体順で降順ソート

全体では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせたTOP2は9割弱となっており、「女性」、「既婚・離死別」は9割強となっている。

問3. あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感を選んでください。(1つ選択)



※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

※nが30未満の時は参考値

TOP2 = そう思う + どちらかといえば、そう思う の合計  
BOTTOM 2 = どちらかといえば、そう思わない + そう思わない の合計



【自分には人との付き合いがないと感じることがある】のは「いつも感じる」「時々感じる」を合わせたTOP2で4割半ば、【自分は取り残されていると感じる事がある】のTOP2は3割強、【自分は他の人達から孤立していると感じることがある】のTOP2は3割となった。

問4. 以下のア～ウの項目について、あなたはどれくらいの頻度で感じていますか。あてはまるものを選んでください。（それぞれ1つずつ選択）

	n	頻度 (%)				TOP 2	BOTTOM 2
		■ いつも感じる	■ 時々感じる	■ あまり感じない	■ ほとんど感じない		
問4-1. ア 自分には人との付き合いがないと感じることがある	349	8.9	35.5	31.8	23.8	44.4	55.6
問4-2. イ 自分は取り残されていると感じることがある	349	6.0	27.2	37.5	29.2	33.2	66.8
問4-3. ウ 自分は他の人達から孤立していると感じることがある	349	7.2	22.3	39.5	30.9	29.5	70.5

TOP2 = いつも感じる + 時々感じる の合計  
BOTTOM 2 = あまり感じない + ほとんど感じない の合計

# 人との付き合いがないと感じる頻度

単位 (%)  
本調査回答者全員 (n=349)

全体では「いつも感じる」「時々感じる」を合わせたTOP2では4割半ばとなっている。  
性別では女性、年齢別では26～29歳、未既婚別では未婚のTOP 2が高くなっている。

問4. 以下のア～ウの項目について、あなたはどれくらいの頻度で感じていますか。あてはまるものを選んでください。(それぞれ1つずつ選択)

問4-1. ア 自分には人との付き合いがないと感じることがある

		n	頻度 (%)				TOP 2	BOTTOM 2
			いつも感じる	時々感じる	あまり感じない	ほとんど感じない		
全体		349	8.9	35.5	31.8	23.8	44.4	55.6
性別	男性	179	5.0	35.8	36.3	22.9	40.8	59.2
	女性	167	13.2	34.7	27.5	24.6	47.9	52.1
	その他	3		66.7		33.3	66.7	33.3
年齢別	18～20歳	28	7.1	35.7	21.4	35.7	42.9	57.1
	21～25歳	152	11.2	31.6	34.2	23.0	42.8	57.2
	26～29歳	169	7.1	39.1	31.4	22.5	46.2	53.8
未既婚別	未婚	251	9.6	36.3	32.3	21.9	45.8	54.2
	既婚・離死別	98	7.1	33.7	30.6	28.6	40.8	59.2
同居有無別	同居あり	236	9.3	36.0	29.2	25.4	45.3	54.7
	同居なし	113	8.0	34.5	37.2	20.4	42.5	57.5
就業状況別	学生・生徒	16	18.8	31.3	6.3	43.8	50.0	50.0
	有職者	320	7.8	35.0	34.1	23.1	42.8	57.2
	専業主婦・主夫・内職他	10	20.0	50.0	10.0	20.0	70.0	30.0
	無職	3	33.3	66.7			100.0	-

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い・・・ / 5pt以上高い・・・ / 5pt以上低い・・・ / 10pt以上低い・・・

※nが30未満の時は参考値

TOP2 = いつも感じる + 時々感じる の合計  
BOTTOM 2 = あまり感じない + ほとんど感じない の合計

# 自身が取り残されていると感じる頻度

全体では「いつも感じる」「時々感じる」を合わせたTOP2では全体で3割強となっている。

年齢別では26～29歳、性別では女性がそれぞれ4割弱、未既婚別では未婚、同居有無別では同居ありがそれぞれ3割半ばとTOP 2が高くなっている。

問4. 以下のア～ウの項目について、あなたはどれくらいの頻度で感じていますか。あてはまるものを選んでください。(それぞれ1つずつ選択)

問4-2. イ 自分は取り残されていると感じることがある

		n	頻度 (%)				TOP 2	BOTTOM 2
			いつも感じる	時々感じる	あまり感じない	ほとんど感じない		
全体		349	6.0	27.2	37.5	29.2	33.2	66.8
性別	男性	179	3.9	25.1	38.5	32.4	29.1	70.9
	女性	167	7.8	28.7	37.1	26.3	36.5	63.5
	その他	3	33.3	66.7			100.0	-
年齢別	18～20歳	28	7.1	28.6	32.1	32.1	35.7	64.3
	21～25歳	152	5.9	20.4	40.1	33.6	26.3	73.7
	26～29歳	169	5.9	33.1	36.1	24.9	39.1	60.9
未既婚別	未婚	251	5.6	28.7	37.5	28.3	34.3	65.7
	既婚・離死別	98	7.1	23.5	37.8	31.6	30.6	69.4
同居有無別	同居あり	236	6.8	28.4	37.3	27.5	35.2	64.8
	同居なし	113	4.4	24.8	38.1	32.7	29.2	70.8
就業状況別	学生・生徒	16	6.3	25.0	31.3	37.5	31.3	68.8
	有職者	320	5.3	27.2	38.1	29.4	32.5	67.5
	専業主婦・主夫・内職他	10	30.0	10.0	40.0	20.0	40.0	60.0
	無職	3	100.0				100.0	-

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い・・・ / 5pt以上高い・・・ / 5pt以上低い・・・ / 10pt以上低い・・・

※nが30未満の時は参考値

TOP2 = いつも感じる + 時々感じる の合計  
 BOTTOM 2 = あまり感じない + ほとんど感じない の合計

# 自身が孤立していると感じる頻度

全体では「いつも感じる」「時々感じる」を合わせたTOP2では全体で3割となっている。

性別では女性が男性より約9ポイント、同居有無別では同居ありが同居なしより7ポイントと、それぞれのTOP2が高くなっている。

問4. 以下のア～ウの項目について、あなたはどれくらいの頻度で感じていますか。あてはまるものを選んでください。(それぞれ1つずつ選択)

問4-3. ウ 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある

		n	頻度 (%)				TOP 2	BOTTOM 2
			いつも感じる	時々感じる	あまり感じない	ほとんど感じない		
全体		349	7.2	22.3	39.5	30.9	29.5	70.5
性別	男性	179	4.5	20.1	41.9	33.5	24.6	75.4
	女性	167	9.6	24.0	37.7	28.7	33.5	66.5
	その他	3	33.3	66.7			100.0	-
年齢別	18~20歳	28	10.7	21.4	32.1	35.7	32.1	67.9
	21~25歳	152	8.6	17.8	40.8	32.9	26.3	73.7
	26~29歳	169	5.3	26.6	39.6	28.4	32.0	68.0
未婚別	未婚	251	7.2	23.1	40.2	29.5	30.3	69.7
	既婚・離死別	98	7.1	20.4	37.8	34.7	27.6	72.4
同居有無別	同居あり	236	8.1	23.7	37.3	30.9	31.8	68.2
	同居なし	113	5.3	19.5	44.2	31.0	24.8	75.2
就業状況別	学生・生徒	16	6.3	31.3	25.0	37.5	37.5	62.5
	有職者	320	6.3	21.9	40.6	31.3	28.1	71.9
	専業主婦・主夫・内職他	10	30.0	10.0	40.0	20.0	40.0	60.0
	無職	3	33.3	66.7			100.0	-

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い・・・ / 5pt以上高い・・・ / 5pt以上低い・・・ / 10pt以上低い・・・

※nが30未満の時は参考値

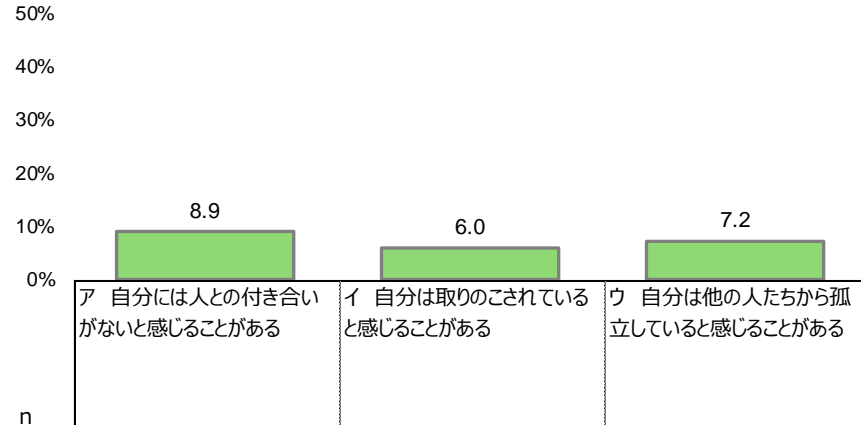
TOP2 = いつも感じる + 時々感じる の合計  
 BOTTOM 2 = あまり感じない + ほとんど感じない の合計

# 自身の事柄について感じる頻度 (各項目TOP1・TOP2)

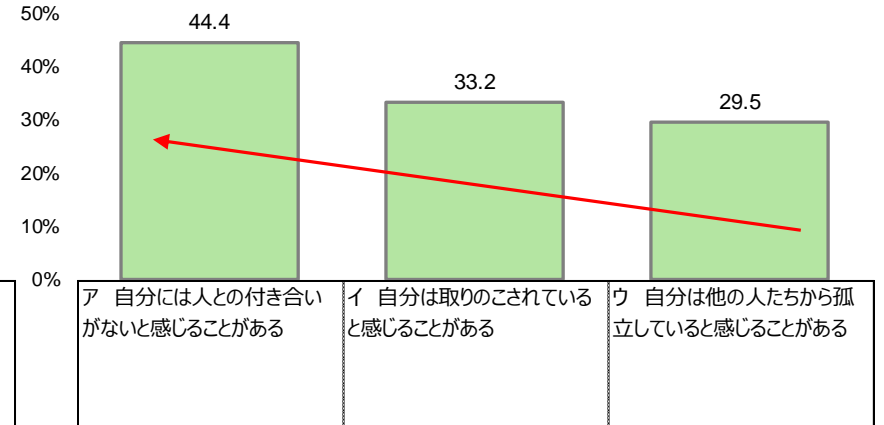
自身の事柄について感じる頻度を各項目のTOP1・TOP2をそれぞれ比較すると、TOP1はどの項目も1割未満と項目間で大きな差は見られないが、TOP2では「自分には人との付き合いがないと感じることがある」は4割半ば、「自分は取りのこされていると感じることがある」は3割強、「自分は他の人たちから孤立していると感じることがある」は3割と差が見られた。

問4. 以下のア～ウの項目について、あなたはどれくらいの頻度で感じていますか。あてはまるものを選んでください。

<TOP1>



<TOP2>



n		ア 自分には人との付き合いがないと感じることがある	イ 自分は取りのこされていると感じることがある	ウ 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	
全体		349	8.9	6.0	7.2
性別	男性	179	5.0	3.9	4.5
	女性	167	13.2	7.8	9.6
	その他	3	-	33.3	33.3
年齢別	18~20歳	28	7.1	7.1	10.7
	21~25歳	152	11.2	5.9	8.6
	26~29歳	169	7.1	5.9	5.3
未既婚別	未婚	251	9.6	5.6	7.2
	既婚・離死別	98	7.1	7.1	7.1
同居有無別	同居あり	236	9.3	6.8	8.1
	同居なし	113	8.0	4.4	5.3
就業状況別	学生・生徒	16	18.8	6.3	6.3
	有職者	320	7.8	5.3	6.3
	専業主婦・主夫・内職他	10	20.0	30.0	30.0
	無職	3	33.3	-	33.3

n		ア 自分には人との付き合いがないと感じることがある	イ 自分は取りのこされていると感じることがある	ウ 自分は他の人たちから孤立していると感じることがある	
全体		349	44.4	33.2	29.5
性別	男性	179	40.8	29.1	24.6
	女性	167	47.9	36.5	33.5
	その他	3	66.7	100.0	100.0
年齢別	18~20歳	28	42.9	35.7	32.1
	21~25歳	152	42.8	26.3	26.3
	26~29歳	169	46.2	39.1	32.0
未既婚別	未婚	251	45.8	34.3	30.3
	既婚・離死別	98	40.8	30.6	27.6
同居有無別	同居あり	236	45.3	35.2	31.8
	同居なし	113	42.5	29.2	24.8
就業状況別	学生・生徒	16	50.0	31.3	37.5
	有職者	320	42.8	32.5	28.1
	専業主婦・主夫・内職他	10	70.0	40.0	40.0
	無職	3	100.0	100.0	100.0

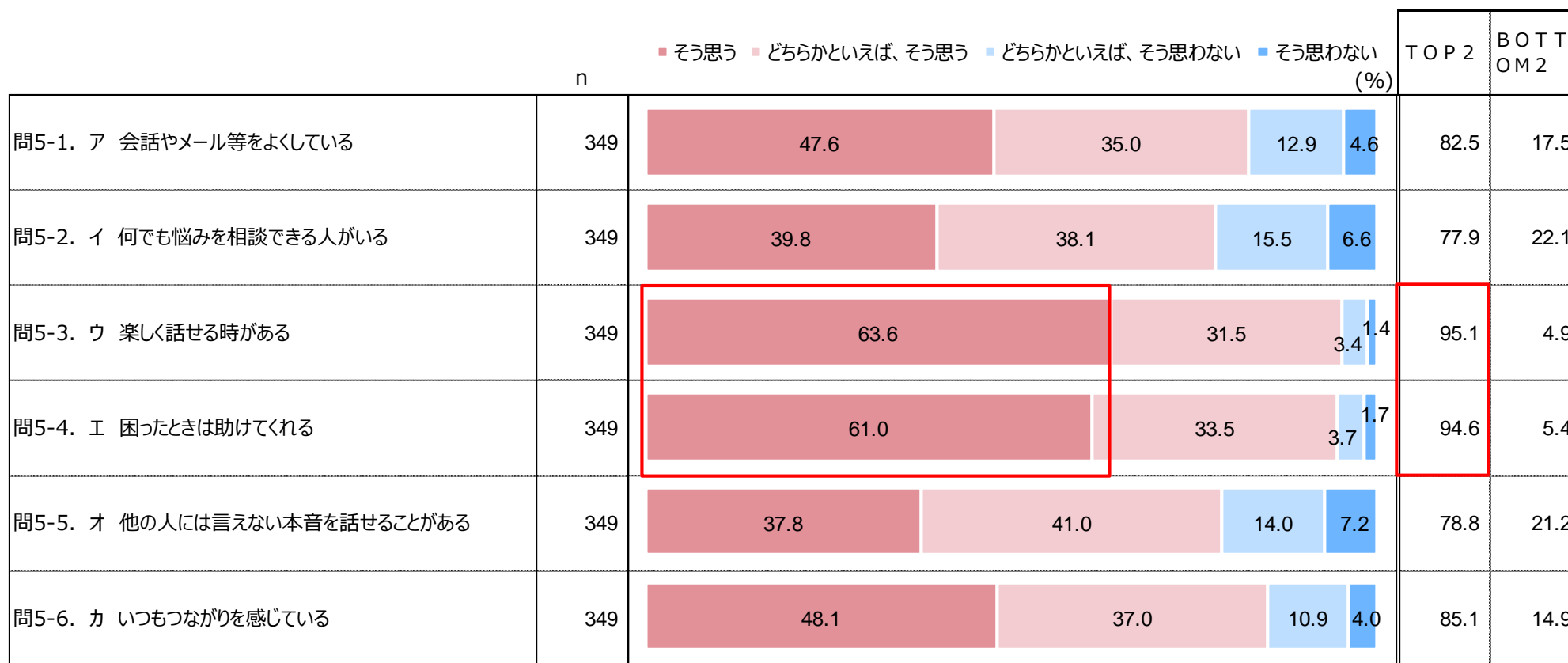
※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

※nが30未満の時は参考値

TOP1=いつも感じる TOP2 =いつも感じる+時々感じるの合計

家族や親戚との関わりについて、「楽しく話せる時がある」は「そう思う」が6割半ば、「困ったときは助けてくれる」は「そう思う」が6割強、TOP 2 ではそれぞれ9割半ばと他の項目と比べて高くなっている。

問5. 家族・親戚とあなたのかかわりは、どのようなものですか。あてはまるものを選んでください。(それぞれ1つずつ選択)



TOP2 = そう思う + どちらかといえば、そう思う の合計  
BOTTOM 2 = どちらかといえば、そう思わない + そう思わない の合計

全体では、「そう思う」は5割弱、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせたTOP2は8割強となっている。  
性別で見ると「そう思う」は男性4割弱に対して女性6割弱、TOP2は男性8割弱に対して女性9割弱と女性が男性より高くなっている。

問5. 家族・親戚とあなたのかかわりは、どのようなものですか。あてはまるものを選んでください。(それぞれ1つずつ選択)

問5-1. ア 会話やメール等をよくしている

		n	■ そう思う	■ どちらかといえば、そう思う	■ どちらかといえば、そう思わない	■ そう思わない	TOP 2 (%)	BOTTOM 2 (%)
全体		349	47.6	35.0	12.9	4.6	82.5	17.5
性別	男性	179	37.4	39.7	16.2	6.7	77.1	22.9
	女性	167	58.7	29.9	9.6	1.8	88.6	11.4
	その他	3	33.3	33.3	33.3		66.7	33.3
年齢別	18～20歳	28	53.6	35.7	7.1	3.6	89.3	10.7
	21～25歳	152	48.0	33.6	15.1	3.3	81.6	18.4
	26～29歳	169	46.2	36.1	11.8	5.9	82.2	17.8
未既婚別	未婚	251	45.4	37.5	12.4	4.8	82.9	17.1
	既婚・離死別	98	53.1	28.6	14.3	4.1	81.6	18.4
同居有無別	同居あり	236	50.0	33.5	11.9	4.7	83.5	16.5
	同居なし	113	42.5	38.1	15.0	4.4	80.5	19.5
就業状況別	学生・生徒	16	56.3	31.3	12.5		87.5	12.5
	有職者	320	47.2	35.3	12.8	4.7	82.5	17.5
	専業主婦・主夫・内職他	10	50.0	20.0	20.0	10.0	70.0	30.0
	無職	3	33.3	66.7			100.0	-

※nが30未満の時は参考値

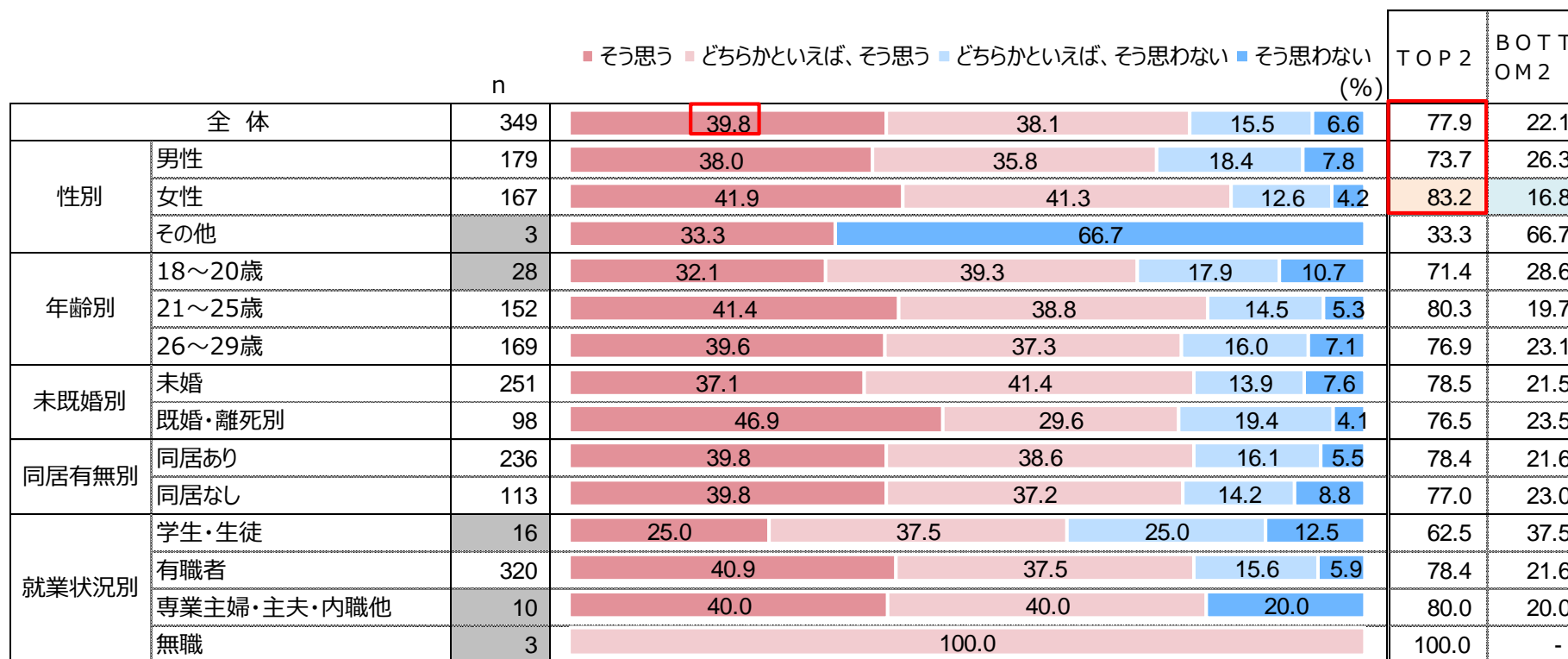
TOP2 = そう思う + どちらかといえば、そう思う の合計  
BOTTOM 2 = どちらかといえば、そう思わない + そう思わない の合計

# 家族・親戚に何でも悩みを相談できる人がある

単位 (%)  
本調査回答者全員 (n=349)

全体では、「そう思う」は4割、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせたTOP2は8割弱となっている。  
性別で見るとTOP2は男性7割半ばに対して女性8割強と女性が男性より高くなっている。

問5. 家族・親戚とあなたのかかわりは、どのようなものですか。あてはまるものを選んでください。(それぞれ1つずつ選択)  
問5-2. イ 何でも悩みを相談できる人がある



※nが30未満の時は参考値

TOP2 = そう思う + どちらかといえば、そう思う の合計  
BOTTOM2 = どちらかといえば、そう思わない + そう思わない の合計



全体では、「そう思う」は6割半ば、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせたTOP2は9割半ばとなっている。  
性別で見ると「そう思う」は男性6割弱に対して女性7割強と女性が男性より高くなっている。

問5. 家族・親戚とあなたのかかわりは、どのようなものですか。あてはまるものを選んでください。(それぞれ1つずつ選択)

問5-3. ウ 楽しく話せる時がある

		n	■ そう思う	■ どちらかといえば、そう思う	■ どちらかといえば、そう思わない	■ そう思わない	TOP 2 (%)	BOTTOM 2 (%)
全体		349	63.6	31.5	3.4	1.4	95.1	4.9
性別	男性	179	57.0	35.8	5.6	1.7	92.7	7.3
	女性	167	71.3	26.3	1.2		97.6	2.4
	その他	3	33.3	66.7			100.0	-
年齢別	18~20歳	28	67.9	25.0	3.6	3.6	92.9	7.1
	21~25歳	152	64.5	32.9	2.0		97.4	2.6
	26~29歳	169	62.1	31.4	4.7	1.8	93.5	6.5
未婚既婚別	未婚	251	61.0	34.7	2.8	1.6	95.6	4.4
	既婚・離死別	98	70.4	23.5	5.1	1.0	93.9	6.1
同居有無別	同居あり	236	63.6	31.4	4.2		94.9	5.1
	同居なし	113	63.7	31.9	1.8	2.7	95.6	4.4
就業状況別	学生・生徒	16	62.5	37.5			100.0	-
	有職者	320	63.8	31.3	3.8	1.3	95.0	5.0
	専業主婦・主夫・内職他	10	60.0	30.0	10.0		90.0	10.0
	無職	3	66.7	33.3			100.0	-

※nが30未満の時は参考値

TOP2 = そう思う + どちらかといえば、そう思う の合計  
BOTTOM 2 = どちらかといえば、そう思わない + そう思わない の合計

# 家族・親戚が困ったときには助けてくれる

単位 (%)  
本調査回答者全員 (n=349)

全体では、「そう思う」は6割強、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせたTOP2は9割半ばとなっている。未既婚別で見ると「そう思う」は未婚6割弱に対して既婚・離死別が7割弱と既婚・離死別が未婚より高くなっている。

問5. 家族・親戚とあなたのかかわりは、どのようなものですか。あてはまるものを選んでください。(それぞれ1つずつ選択)

問5-4. I 困ったときは助けてくれる

		n	<span style="color: #c00000;">■</span> そう思う <span style="color: #e06666;">■</span> どちらかといえば、そう思う <span style="color: #99ccff;">■</span> どちらかといえば、そう思わない <span style="color: #0000ff;">■</span> そう思わない				TOP 2	BOTTOM 2
			(%)					
全体		349	61.0	33.5	3.7	1.7	94.6	5.4
性別	男性	179	57.0	36.9	4.5	1.7	93.9	6.1
	女性	167	65.9	29.9	2.4	1.8	95.8	4.2
	その他	3	33.3	33.3	33.3		66.7	33.3
年齢別	18~20歳	28	53.6	35.7	3.6	7.1	89.3	10.7
	21~25歳	152	64.5	32.9	2.0		97.4	2.6
	26~29歳	169	59.2	33.7	5.3	1.8	92.9	7.1
未既婚別	未婚	251	58.2	37.1	2.8	2.0	95.2	4.8
	既婚・離死別	98	68.4	24.5	6.1	1.0	92.9	7.1
同居有無別	同居あり	236	60.2	32.6	5.5	1.7	92.8	7.2
	同居なし	113	62.8	35.4	1.8		98.2	1.8
就業状況別	学生・生徒	16	50.0	43.8	6.3		93.8	6.3
	有職者	320	61.6	33.1	3.8	1.6	94.7	5.3
	専業主婦・主夫・内職他	10	60.0	30.0	10.0		90.0	10.0
	無職	3	66.7	33.3			100.0	-

※nが30未満の時は参考値

TOP2 = そう思う + どちらかといえば、そう思う の合計  
BOTTOM 2 = どちらかといえば、そう思わない + そう思わない の合計

# 家族・親戚には他の人には言えない本音を話せることがある

単位 (%)  
本調査回答者全員 (n=349)

全体では、「そう思う」は4割弱、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせたTOP2は8割弱となっている。  
同居有無別で見るとTOP 2 は同居あり8割強に対して同居なしが7割強と同居ありが同居なしより高くなっている。

問5. 家族・親戚とあなたのかかわりは、どのようなものですか。あてはまるものを選んでください。(それぞれ1つずつ選択)  
問5-5. オ 他の人には言えない本音を話せることがある

		n	<span style="color: #c00000;">■</span> そう思う <span style="color: #e06666;">■</span> どちらかといえば、そう思う <span style="color: #66b3ff;">■</span> どちらかといえば、そう思わない <span style="color: #0070c0;">■</span> そう思わない				TOP 2	BOTTOM 2
			n (%)					
全体		349	37.8	41.0	14.0	7.2	78.8	21.2
性別	男性	179	36.9	39.7	15.6	7.8	76.5	23.5
	女性	167	38.9	42.5	12.6	6.0	81.4	18.6
	その他	3	33.3	33.3	33.3		66.7	33.3
年齢別	18～20歳	28	32.1	39.3	7.1	21.4	71.4	28.6
	21～25歳	152	38.2	42.1	14.5	5.3	80.3	19.7
	26～29歳	169	38.5	40.2	14.8	6.5	78.7	21.3
未婚別	未婚	251	35.5	41.8	14.3	8.4	77.3	22.7
	既婚・離死別	98	43.9	38.8	13.3	4.1	82.7	17.3
同居有無別	同居あり	236	39.0	43.2	11.9	5.9	82.2	17.8
	同居なし	113	35.4	36.3	18.6	9.7	71.7	28.3
就業状況別	学生・生徒	16	18.8	43.8	12.5	25.0	62.5	37.5
	有職者	320	38.4	40.9	14.4	6.3	79.4	20.6
	専業主婦・主夫・内職他	10	50.0	30.0	10.0	10.0	80.0	20.0
	無職	3	33.3	66.7			100.0	-

※nが30未満の時は参考値

TOP2 = そう思う + どちらかといえば、そう思う の合計  
BOTTOM 2 = どちらかといえば、そう思わない + そう思わない の合計

# 家族・親戚とはいつもつながりを感じている

全体では、「そう思う」は5割弱、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせたTOP2は8割半ばとなっている。  
 未既婚別で見ると「そう思う」は未婚が4割半ばに対して既婚・離死別が5割半ばと既婚・離死別が未婚より高くなっている。

問5. 家族・親戚とあなたのかかわりは、どのようなものですか。あてはまるものを選んでください。(それぞれ1つずつ選択)  
 問5-6. カ いつもつながりを感じている

		n	<span style="color: #c00000;">■</span> そう思う <span style="color: #e06666;">■</span> どちらかといえば、そう思う <span style="color: #99ccff;">■</span> どちらかといえば、そう思わない <span style="color: #0099cc;">■</span> そう思わない				TOP 2 (%)	BOTTOM 2 (%)
全体		349	48.1	37.0	10.9	4.0	85.1	14.9
性別	男性	179	48.6	34.6	12.8	3.9	83.2	16.8
	女性	167	47.9	40.1	8.4	3.6	88.0	12.0
	その他	3	33.3	33.3	33.3		33.3	66.7
年齢別	18～20歳	28	53.6	32.1	3.6	10.7	85.7	14.3
	21～25歳	152	50.7	36.2	11.8	1.3	86.8	13.2
	26～29歳	169	45.0	38.5	11.2	5.3	83.4	16.6
未既婚別	未婚	251	45.4	39.8	10.4	4.4	85.3	14.7
	既婚・離死別	98	55.1	29.6	12.2	3.1	84.7	15.3
同居有無別	同居あり	236	48.7	37.7	10.6	3.0	86.4	13.6
	同居なし	113	46.9	35.4	11.5	6.2	82.3	17.7
就業状況別	学生・生徒	16	56.3	31.3	12.5		87.5	12.5
	有職者	320	47.2	38.1	11.3	3.4	85.3	14.7
	専業主婦・主夫・内職他	10	60.0	10.0	20.0	10.0	70.0	30.0
	無職	3	66.7	33.3			100.0	-

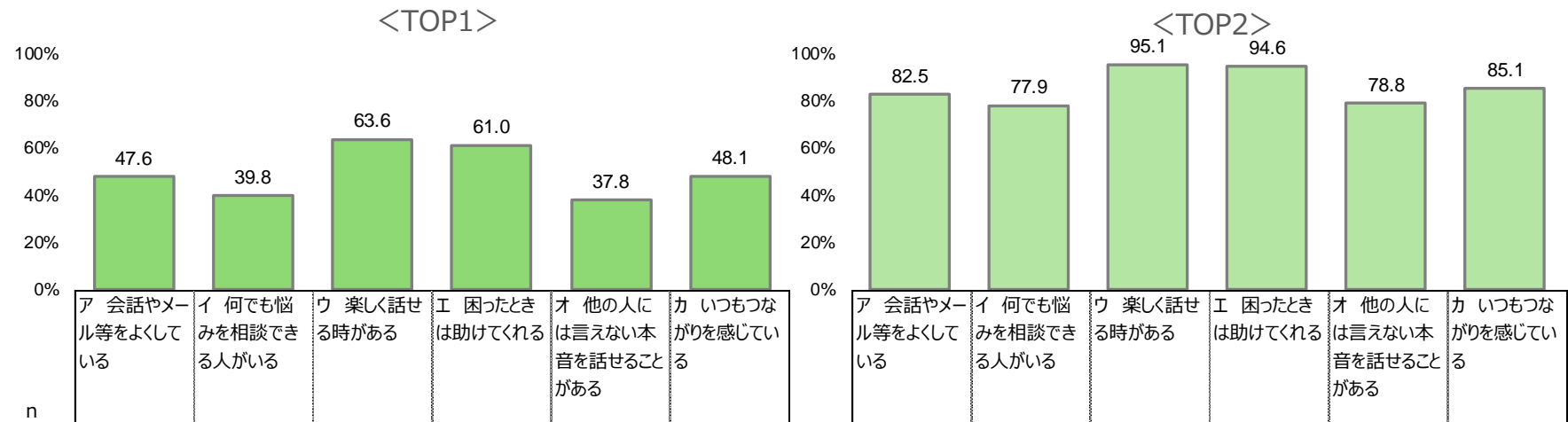
※nが30未満の時は参考値

TOP2 = そう思う + どちらかといえば、そう思う の合計  
 BOTTOM 2 = どちらかといえば、そう思わない + そう思わない の合計

# 家族・親戚とのかかわり (TOP1・TOP2)

家族・親戚とのかかわりを各項目のTOP1・TOP2をそれぞれ比較すると、TOP1はどの項目も未既婚別では未婚より既婚・離死別が10ポイント前後高くなって  
いるが、TOP2では未既婚別では各項目大きな差は見られなかった。

問5. 家族・親戚とあなたのかかわりは、どのようなものですか。あてはまるものを選んでください。



n		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	
全体		349	47.6	39.8	63.6	61.0	37.8	48.1
性別	男性	179	37.4	38.0	57.0	57.0	36.9	48.6
	女性	167	58.7	41.9	71.3	65.9	38.9	47.9
	その他	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
年齢別	18~20歳	28	53.6	32.1	67.9	53.6	32.1	53.6
	21~25歳	152	48.0	41.4	64.5	64.5	38.2	50.7
	26~29歳	169	46.2	39.6	62.1	59.2	38.5	45.0
未既婚別	未婚	251	45.4	37.1	61.0	58.2	35.5	45.4
	既婚・離死別	98	53.1	46.9	70.4	68.4	43.9	55.1
同居有無別	同居あり	236	50.0	39.8	63.6	60.2	39.0	48.7
	同居なし	113	42.5	39.8	63.7	62.8	35.4	46.9
就業状況別	学生・生徒	16	56.3	25.0	62.5	50.0	18.8	56.3
	有職者	320	47.2	40.9	63.8	61.6	38.4	47.2
	専業主婦・主夫・内職他	10	50.0	40.0	60.0	60.0	50.0	60.0
	無職	3	33.3	-	66.7	66.7	33.3	66.7

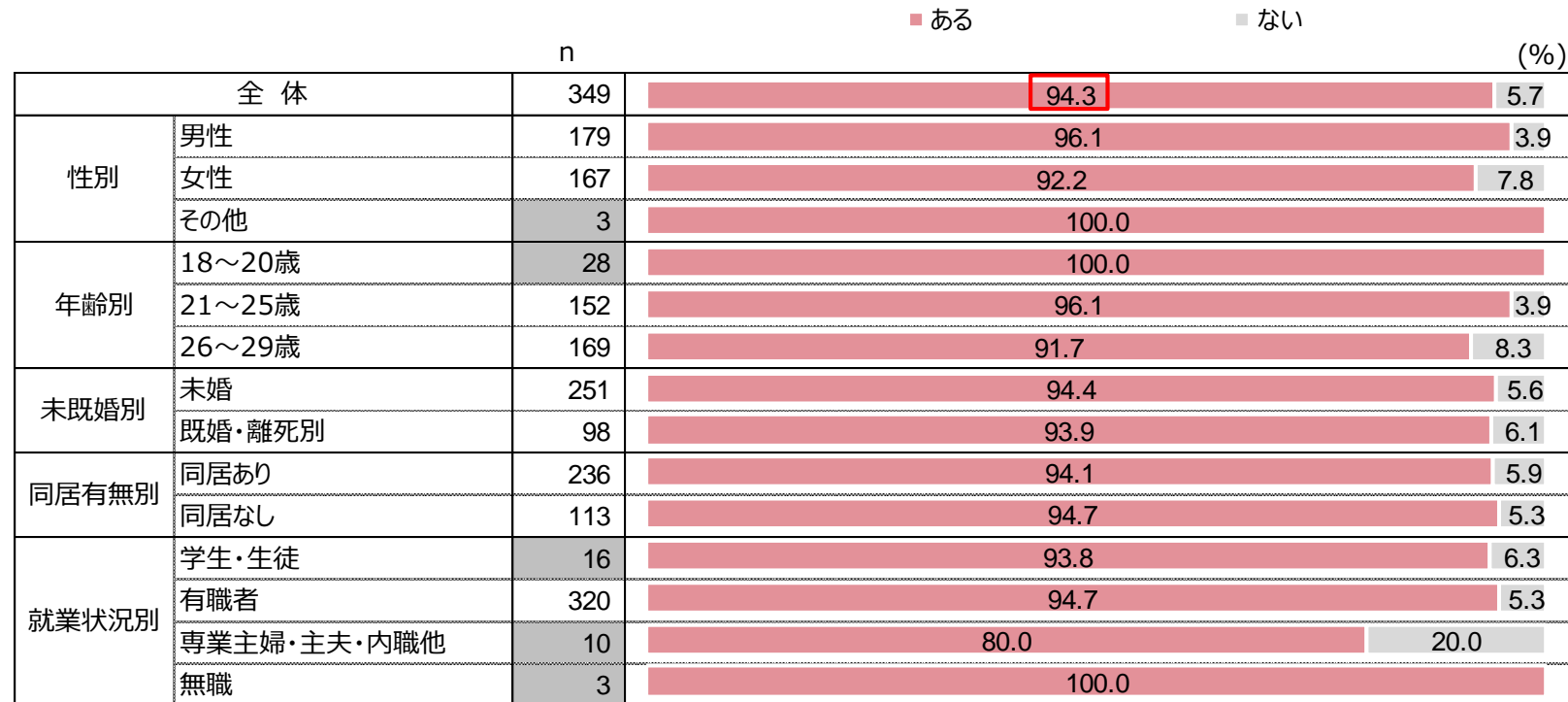
※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

※nが30未満の時は参考値

TOP1 = そう思う TOP2 = そう思う + どちらかといえば、そう思う の合計

全体では「ある」は9割半ばとなり、属性間で大きな差は見られなかった。

問6. 現在、あなたにとって安心できる居場所（いばしょ）はありますか。あてはまるものを選んでください。（1つ選択）



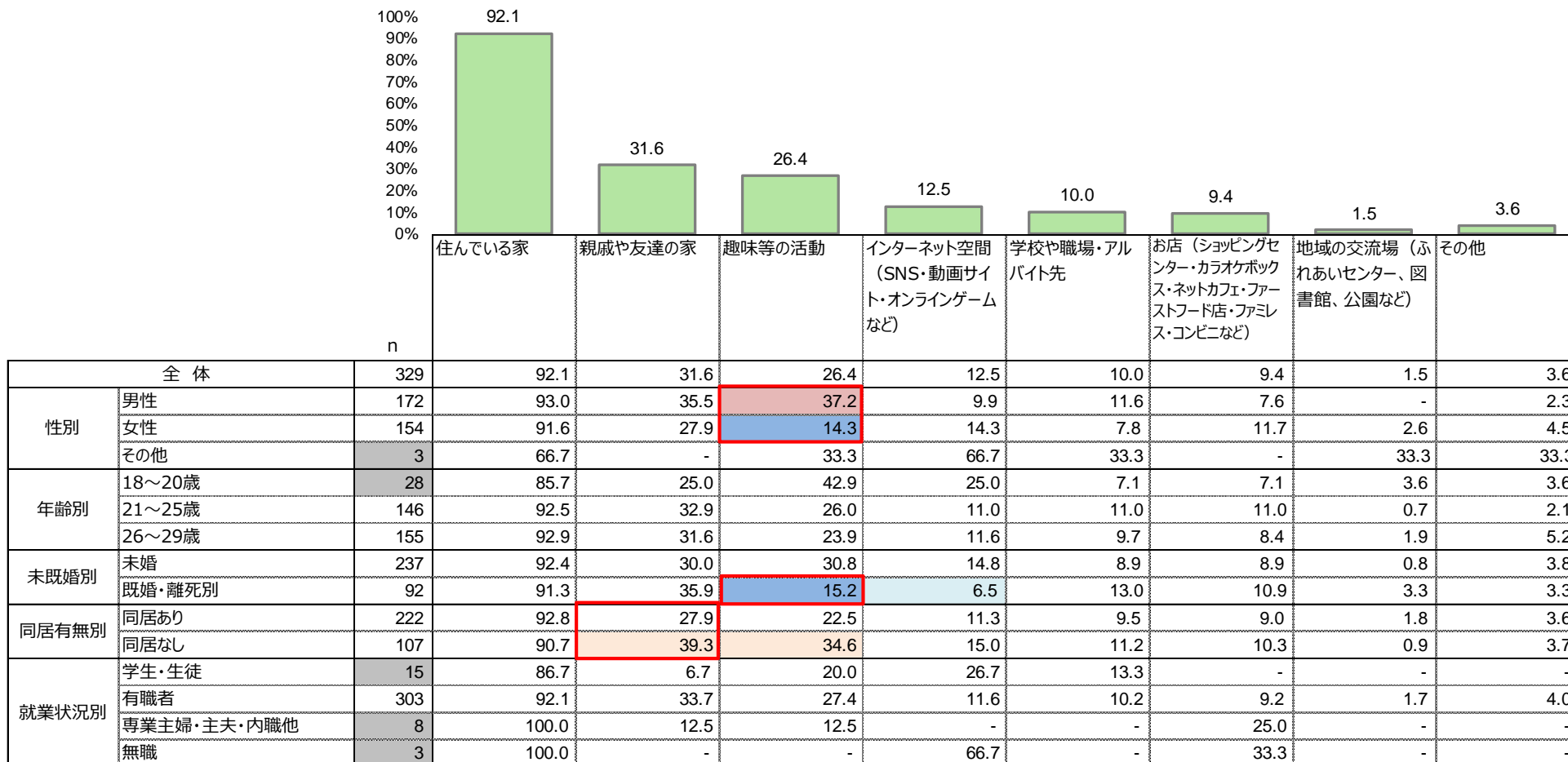
※nが30未満の時は参考値

# 安心してすごせる居場所

単位 (%)  
居場所がある (n=329)

全体では「住んでいる家」が9割強で最も高く、次いで「親戚や友達の家」が3割強、「趣味等の活動」が2割半ばとなっている。  
属性別で見ると「親戚や友達の家」は同居なしが4割弱と最も高く、同居ありの3割弱に対し10ポイント以上高くなっており、「趣味等の活動」は男性が4割弱と最も高く、女性や既婚・離死別の1割半ばに対し20ポイント以上高くなっている。

問7. あなたにとって安心してすごせる居場所（いばしょ）はどこですか。あてはまるものをすべて選んでください。（複数選択可）



※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... /5pt以上高い... /5pt以上低い... /10pt以上低い...

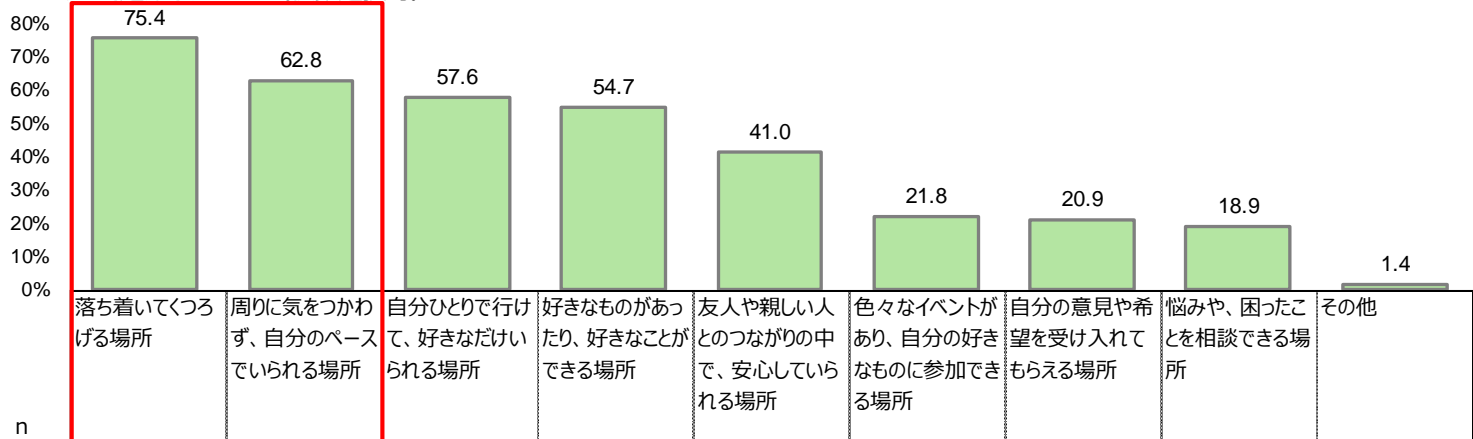
※全体順で降順ソート

※nが30未満の時は参考値

# ほしい居場所

全体では「落ち着いてくつろげる場所」が7割半ばで最も高く、次いで「周りに気をつかわず、自分のペースでいられる場所」が6割強となっている。属性別で見ると「周りに気をつかわず、自分のペースでいられる場所」、「悩みや、困ったことを相談できる場所」は、それぞれ女性が男性よりも10ポイント以上高くなっている。「好きなものがあつたり、好きなことができる場所」「友人や親しい人とのつながりの中で安心していられる場所」は、それぞれ21～25歳が26～29歳より、未婚が既婚・離死別より10ポイント以上高くなっている。

問8. あなたは、どんな「居場所（いばしょ）」がほしいですか。あてはまるものをすべて選んでください。（複数選択可）



		n	落ち着いてくつろげる場所	周りに気をつかわず、自分のペースでいられる場所	自分ひとりでいける場所	好きなものがあつたり、好きなことができる場所	友人や親しい人とのつながりの中で、安心していられる場所	色々なイベントがあり、自分の好きなものに参加できる場所	自分の意見や希望を受け入れてもらえる場所	悩みや、困ったことを相談できる場所	その他
全体		349	75.4	62.8	57.6	54.7	41.0	21.8	20.9	18.9	1.4
性別	男性	179	71.5	53.6	55.3	57.0	38.5	18.4	17.9	13.4	1.7
	女性	167	79.0	71.9	59.3	51.5	43.1	25.1	23.4	24.0	0.6
	その他	3	100.0	100.0	100.0	100.0	66.7	33.3	66.7	66.7	33.3
年齢別	18～20歳	28	71.4	64.3	71.4	67.9	35.7	25.0	35.7	32.1	3.6
	21～25歳	152	76.3	63.2	54.6	61.2	48.0	18.4	18.4	19.1	0.7
	26～29歳	169	75.1	62.1	58.0	46.7	35.5	24.3	20.7	16.6	1.8
未婚別	未婚	251	76.1	63.7	58.2	57.8	43.8	20.7	22.3	20.3	1.6
	既婚・離死別	98	73.5	60.2	56.1	46.9	33.7	24.5	17.3	15.3	1.0
同居有無別	同居あり	236	78.4	64.4	59.7	54.2	37.3	22.9	20.8	20.3	0.8
	同居なし	113	69.0	59.3	53.1	55.8	48.7	19.5	21.2	15.9	2.7
就業状況別	学生・生徒	16	68.8	81.3	62.5	62.5	25.0	25.0	37.5	31.3	-
	有職者	320	75.6	62.8	56.6	55.0	41.9	21.3	20.0	18.1	1.6
	専業主婦・主夫・内職他	10	70.0	30.0	70.0	20.0	30.0	30.0	10.0	10.0	-
	無職	3	100.0	66.7	100.0	100.0	66.7	33.3	66.7	66.7	-

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

※nが30未満の時は参考値

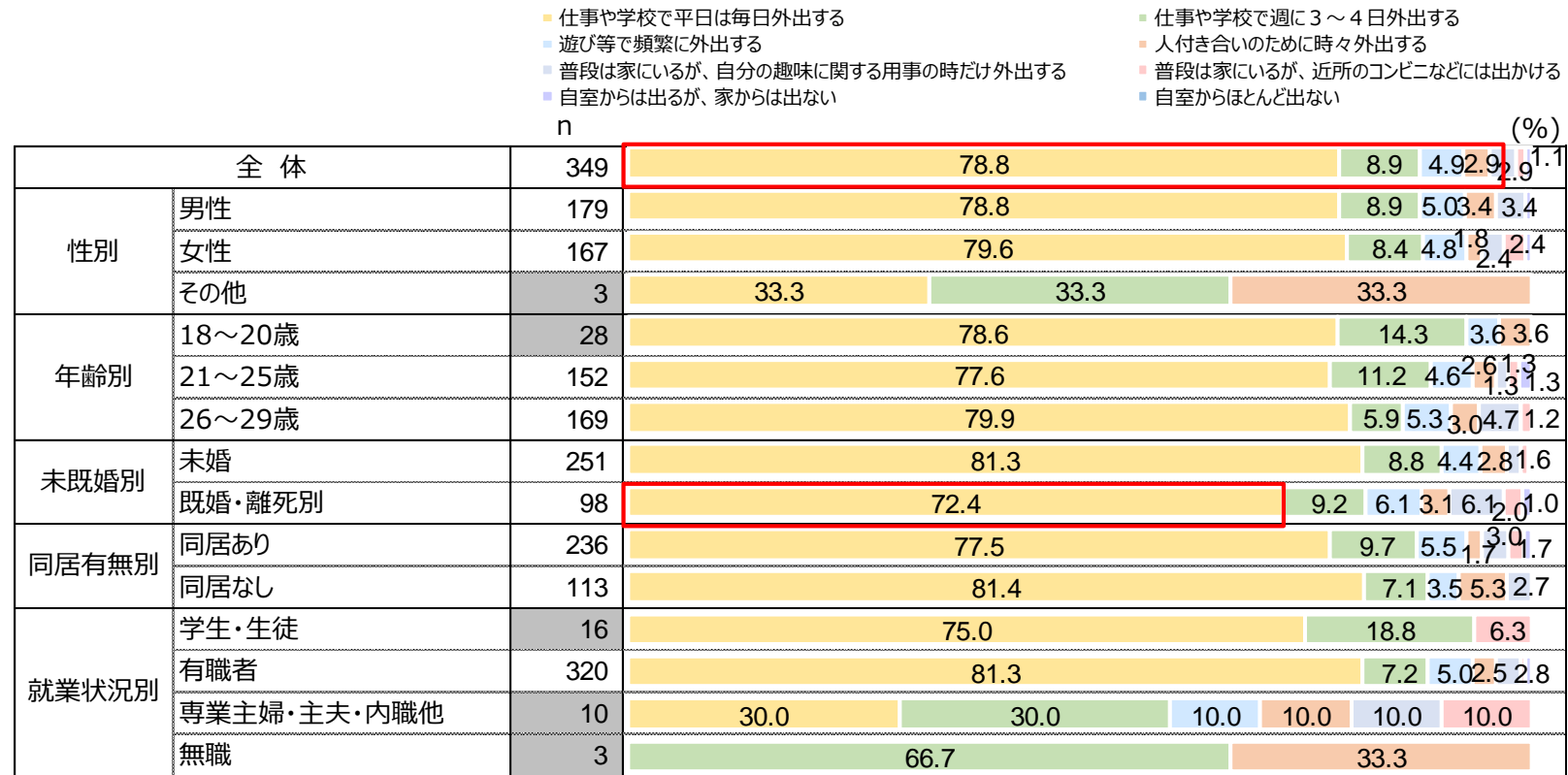
※全体順で降順ソート



全体では「仕事や学校で平日は毎日外出する」は8割弱で、「仕事や学校で週に3～4日外出する」「遊び等で頻繁に外出する」「人付き合いのために時々外出する」も合わせた9割半ばが普段外出している。

属性別でみると、既婚・離死別は「学校や仕事で平日は毎日外出する」が7割強にとどまるなど、外出頻度が低くなっている。

問9. あなたは普段どのくらい外出しますか。あてはまるものを選んでください。(1つ選択)



※nが30未満の時は参考値

全体では3か月未満が4割弱、3か月～6か月未満が2割弱となっている。

問10. あなたの外出頻度が現在の状態となって、どれくらい経ちますか。あてはまるものを選んでください。(1つ選択)

		n	3か月未満										半年未満計	1年未満計	1年以上計							
			3か月～6か月未満										(%)									
			6か月～1年未満																			
			1年～2年未満																			
			2年～3年未満																			
			3年～5年未満																			
			5年～7年未満																			
			7年～10年未満																			
			10年～15年未満																			
			15年～20年未満																			
			20年以上																			
全体		16	37.5										18.8	6.3	6.3	6.3	6.3	6.3	12.5	56.3	62.5	37.5
性別	男性	7	42.9										14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	57.1	71.4	28.6	
	女性	9	33.3										22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	55.6	55.6	44.4	
	その他	-																	-	-	-	
年齢別	18～20歳	-																	-	-	-	
	21～25歳	6	16.7										33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	50.0	66.7	33.3		
	26～29歳	10	50.0										10.0	10.0	10.0	20.0	60.0	60.0	40.0			
未既婚別	未婚	7	28.6										28.6	14.3	14.3	14.3	57.1	71.4	28.6			
	既婚・離死別	9	44.4										11.1	11.1	11.1	22.2	55.6	55.6	44.4			
同居有無別	同居あり	13	46.2										15.4	7.7	7.7	7.7	15.4	61.5	61.5	38.5		
	同居なし	3	33.3										33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3			
就業状況別	学生・生徒	1	100.0										100.0	100.0	-	100.0	100.0	-				
	有職者	13	38.5										15.4	7.7	7.7	7.7	7.7	15.4	53.8	61.5	38.5	
	専業主婦・主夫・内職他	2	50.0										50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0				
	無職	-																-	-	-		

※nが30未満の時は参考値

半年未満計 = 3か月未満+3か月～6か月未満  
 1年未満計 = 3か月未満+3か月～6か月未満+6か月～1年未満  
 1年以上計 = 1年～2年未満以降の選択肢

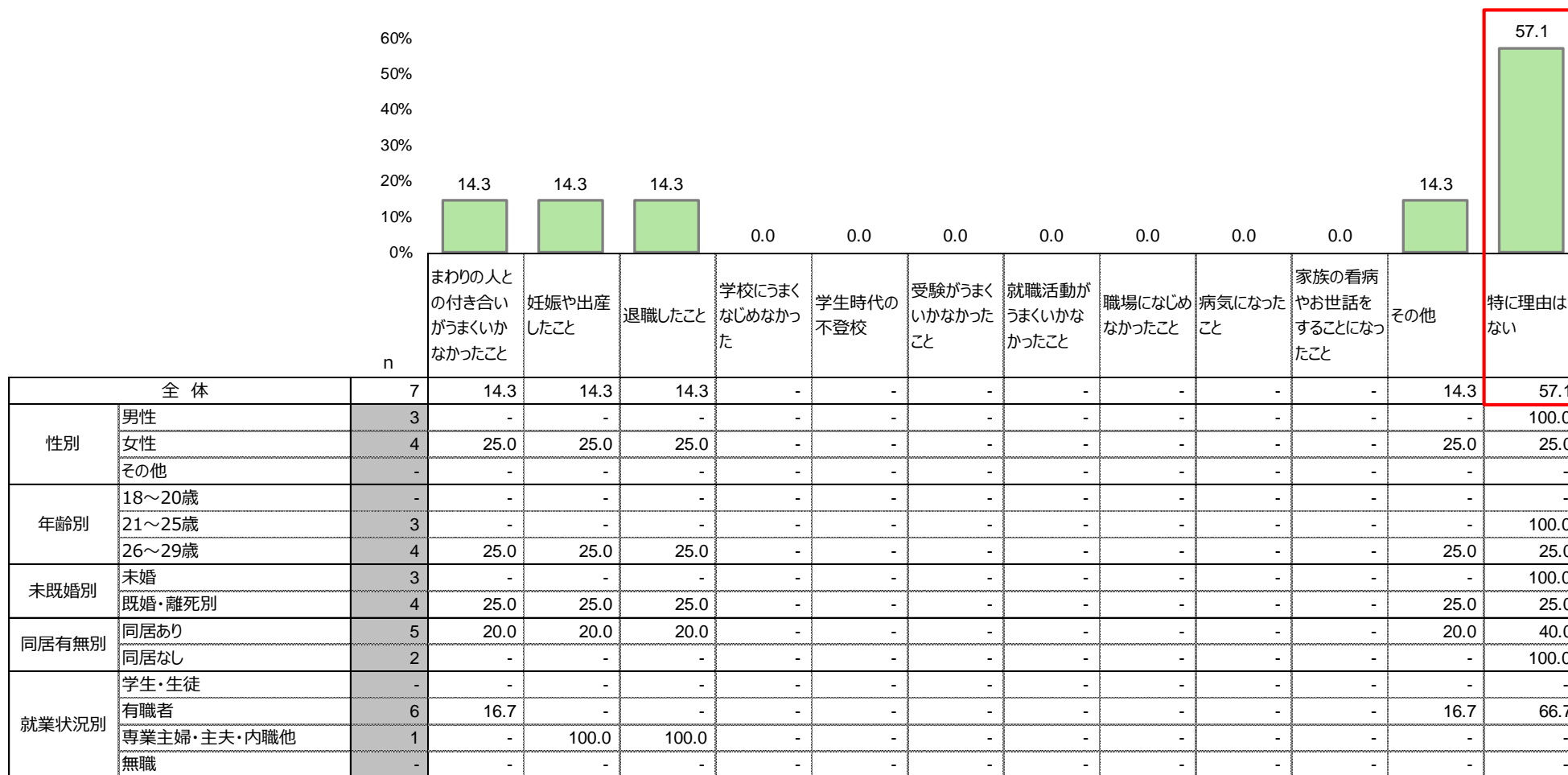
の合計  
 の合計  
 の合計

# 現在外出していない理由

単位 (%)  
外出しなくなって6か月以上 (n=7)

全体では「特に理由がない」が6割弱となっている。

問11. あなたの外出状況が今ようになった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数選択可)



※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

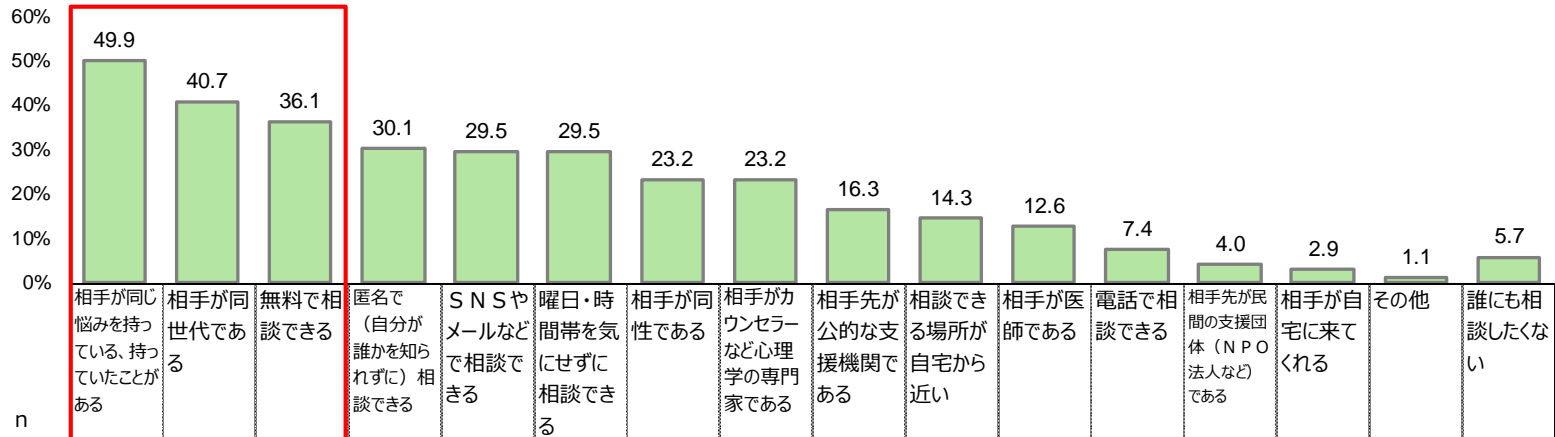
※nが30未満の時は参考値

※全体順で降順ソート

# 家族や知り合い以外に利用したい相談先

全体では「相手が同じ悩みを持っている、持っていたことがある」が5割で最も高く、次いで「相手が同世代である」が4割強、「無料で相談できる」が3割半ばとなっている。男女別に見ると、「相手が同性である」が男性が1割強に対して女性が3割半ばと高くなっているのをはじめ、「無料で相談できる」「匿名で相談できる」「SNSやメールなどで相談できる」「曜日・時間帯を気にせず相談できる」の項目では女性が男性より高く、男女差も大きくなっている。

問12. あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数選択可)



		n	相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある	相手が同世代である	無料で相談できる	匿名で(自分が誰かを知られずに)相談できる	SNSやメールなどで相談できる	曜日・時間帯を気にせず相談できる	相手が同性である	相手がカウンセラーなど心理学の専門家である	相手先が公的な支援機関である	相談できる場所が自宅から近い	相手が医師である	電話で相談できる	相手先が民間の支援団体(NPO法人など)である	相手が自宅に来られる	その他	誰にも相談したくない
全体		349	49.9	40.7	36.1	30.1	29.5	29.5	23.2	23.2	16.3	14.3	12.6	7.4	4.0	2.9	1.1	5.7
性別	男性	179	48.0	43.0	29.6	21.8	22.9	22.3	11.7	20.1	16.8	15.6	11.7	7.8	3.9	2.2	1.1	6.1
	女性	167	52.1	37.7	43.1	38.9	35.3	36.5	35.9	26.3	15.6	12.6	13.2	7.2	3.6	3.6	1.2	5.4
	その他	3	33.3	66.7	33.3	33.3	100.0	66.7	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-
年齢別	18~20歳	28	53.6	57.1	39.3	32.1	39.3	50.0	32.1	14.3	17.9	14.3	17.9	21.4	10.7	3.6	-	-
	21~25歳	152	52.0	41.4	34.9	28.3	24.3	26.3	21.7	24.3	12.5	10.5	9.9	7.9	2.0	2.6	1.3	5.3
	26~29歳	169	47.3	37.3	36.7	31.4	32.5	29.0	23.1	23.7	19.5	17.8	14.2	4.7	4.7	3.0	1.2	7.1
未婚別	未婚	251	50.6	43.4	35.1	30.3	28.3	29.5	23.5	22.7	12.7	13.5	13.1	8.4	4.0	2.0	0.8	6.0
	既婚・離死別	98	48.0	33.7	38.8	29.6	32.7	29.6	22.4	24.5	25.5	16.3	11.2	5.1	4.1	5.1	2.0	5.1
同居有無別	同居あり	236	52.1	43.6	32.2	29.7	28.4	29.2	25.0	22.5	15.7	15.3	11.4	8.1	3.4	3.0	1.7	3.8
	同居なし	113	45.1	34.5	44.2	31.0	31.9	30.1	19.5	24.8	17.7	12.4	15.0	6.2	5.3	2.7	-	9.7
就業状況別	学生・生徒	16	56.3	56.3	50.0	43.8	43.8	56.3	43.8	18.8	31.3	18.8	18.8	18.8	12.5	6.3	-	-
	有職者	320	49.4	40.6	35.6	29.1	28.1	28.8	22.5	23.4	15.9	14.4	12.5	6.6	3.8	2.8	1.3	6.3
	専業主婦・主夫・内職他	10	50.0	20.0	30.0	30.0	30.0	10.0	10.0	30.0	10.0	-	10.0	10.0	-	-	-	-
	無職	3	66.7	33.3	33.3	66.7	100.0	33.3	33.3	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

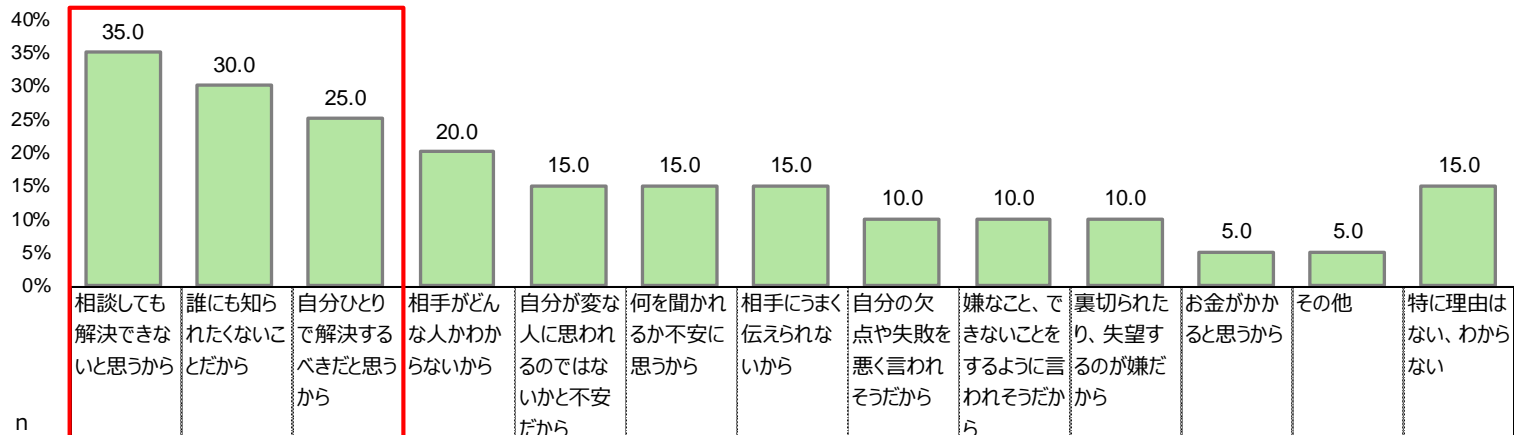
※nが30未満の時は参考値

※全体順で降順ソート

# 相談したくない理由

全体では「相談しても解決できないと思うから」が3割半ばで最も高く、次いで「誰にも知られたくないことだから」が3割、「自分ひとりで解決するべきと思うから」が2割半ばとなっている。

問13. 問12で「誰にも相談したくない」を選んだ方のみ、お答えください。相談したくないと思う理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数選択可)



		n	相談しても解決できないと思うから	誰にも知られたくないことだから	自分ひとりで解決するべきだと思うから	相手がどんな人かわからないから	自分が変な人に思われるのではないかと不安だから	何を聞かれるか不安に思うから	相手にうまく伝えられないから	自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから	嫌なこと、できないことを言うように言われそうだから	裏切られたり、失望するのが嫌だから	お金がかかると思うから	その他	特に理由はな、わからない
全体		20	35.0	30.0	25.0	20.0	15.0	15.0	15.0	10.0	10.0	10.0	5.0	5.0	15.0
性別	男性	11	45.5	18.2	36.4	9.1	9.1	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	-	9.1	18.2
	女性	9	22.2	44.4	11.1	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	-	11.1
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	18~20歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	21~25歳	8	25.0	12.5	12.5	-	-	-	12.5	-	-	-	-	12.5	25.0
	26~29歳	12	41.7	41.7	33.3	33.3	25.0	25.0	16.7	16.7	16.7	16.7	8.3	-	8.3
未既婚別	未婚	15	33.3	26.7	26.7	20.0	13.3	13.3	20.0	13.3	13.3	6.7	6.7	6.7	13.3
	既婚・離死別	5	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	20.0	-	-	20.0
同居有無別	同居あり	9	22.2	33.3	33.3	22.2	22.2	22.2	22.2	11.1	11.1	11.1	-	11.1	11.1
	同居なし	11	45.5	27.3	18.2	18.2	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	-	18.2
就業状況別	学生・生徒	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	有職者	20	35.0	30.0	25.0	20.0	15.0	15.0	15.0	10.0	10.0	10.0	5.0	5.0	15.0
	専業主婦・主夫・内職他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無職	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

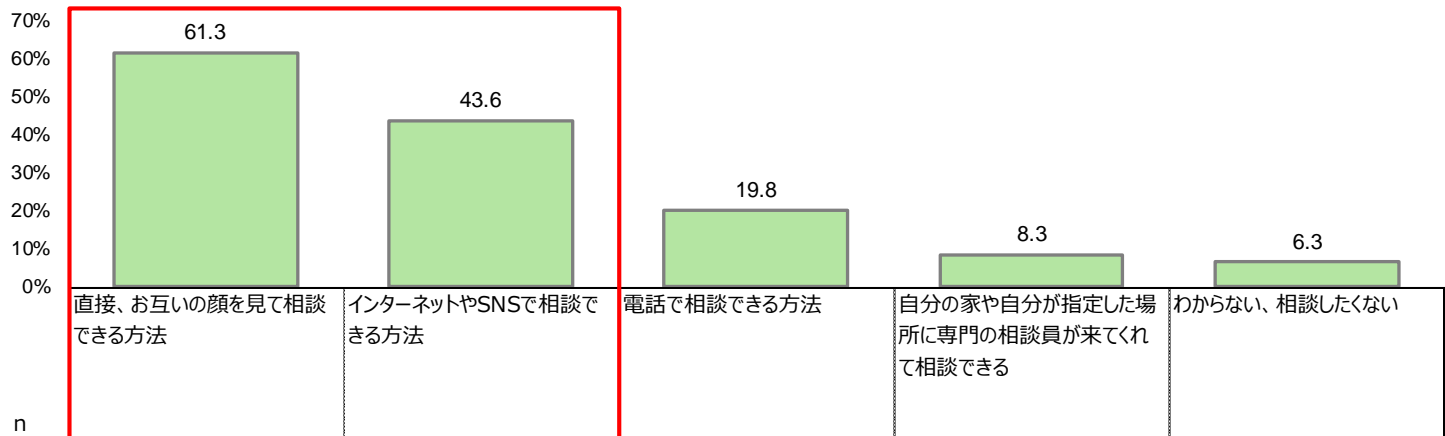
※全体順で降順ソート

※nが30未満の時は参考値

# 相談しやすい方法

全体では「直接、お互いの顔を見て相談できる方法」が6割強で最も高く、次いで「インターネットやSNSで相談できる方法」が4割半ばとなっている。  
 属性別で見ると「インターネットやSNSで相談できる方法」は男性が3割強に対し女性が5割半ばで20ポイント以上高く、21～25歳が3割半ばに対し26～29歳が5割強で約20ポイント高くなっている。

問14. あなた自身に困っていることや悩みごとがあるとき、どんな方法であれば相談しやすいですか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数選択可)



		n	直接、お互いの顔を見て相談できる方法	インターネットやSNSで相談できる方法	電話で相談できる方法	自分の家や自分が指定した場所に専門の相談員が来てくれて相談できる	わからない、相談したくない
全体		349	61.3	43.6	19.8	8.3	6.3
性別	男性	179	66.5	33.0	20.7	8.4	6.7
	女性	167	56.3	53.9	18.6	7.8	6.0
	その他	3	33.3	100.0	33.3	33.3	-
年齢別	18～20歳	28	50.0	46.4	21.4	10.7	14.3
	21～25歳	152	68.4	34.2	19.1	5.9	4.6
	26～29歳	169	56.8	51.5	20.1	10.1	6.5
未既婚別	未婚	251	61.4	43.4	18.7	6.0	6.4
	既婚・離死別	98	61.2	43.9	22.4	14.3	6.1
同居有無別	同居あり	236	61.4	44.9	19.9	11.0	5.5
	同居なし	113	61.1	40.7	19.5	2.7	8.0
就業状況別	学生・生徒	16	50.0	56.3	6.3	6.3	6.3
	有職者	320	61.3	42.8	20.0	8.1	6.6
	専業主婦・主夫・内職他	10	80.0	30.0	20.0	10.0	-
	無職	3	66.7	100.0	66.7	33.3	-

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い... ■

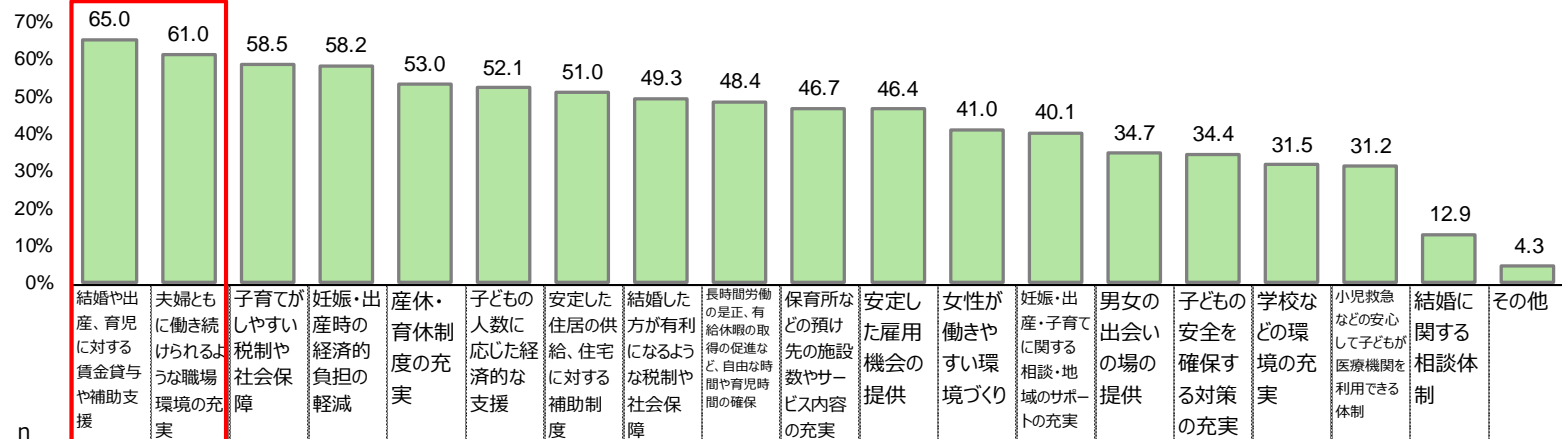
※nが30未満の時は参考値

※全体順で降順ソート

# 結婚や出産、子育てしやすい環境を作るために必要なサポート

全体では「結婚や出産、育児に対する貸金貸与や補助支援」が6割半ばで最も高く、次いで「夫婦ともに働き続けられるような職場環境の充実」が6割強となっている。属性別で見ると男性は結婚することに関する支援、女性は「女性の労働環境に関する支援」「既婚・離死別は出産や育児に関する支援」が他の属性より高い傾向がある。

問15. 結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるには、どのようなサポートがあればよいと考えますか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数選択可)



属性		n	結婚や出産、育児に対する貸金貸与や補助支援	夫婦ともに働き続けられるような職場環境の充実	子育てがしやすい税制や社会保障	妊娠・出産時の経済的負担の軽減	産休・育休制度の充実	子どもの人数に応じた経済的な支援	安定した住居の供給、住宅に対する補助制度	結婚した方が有利になるような税制や社会保障	長時間労働の是正、有給休暇の取得の促進など、自由な時間や育児時間の確保	保育所などの預け先の施設数やサービス内容の充実	安定した雇用機会の提供	女性が働きやすい環境づくり	妊娠・出産に関する相談・地域のサポートの充実	男女の出会いの場の提供	子どもの安全を確保する対策の充実	学校などの環境の充実	小児救急などの安心して子どもが医療機関を利用できる体制	結婚に関する相談体制	その他
全体		349	65.0	61.0	58.5	58.2	53.0	52.1	51.0	49.3	48.4	46.7	46.4	41.0	40.1	34.7	34.4	31.5	31.2	12.9	4.3
性別	男性	179	60.9	58.1	54.7	50.8	44.7	48.6	53.1	58.7	43.0	38.0	46.4	27.9	31.8	46.4	28.5	29.6	24.6	15.6	3.4
	女性	167	68.9	63.5	61.7	65.3	61.1	55.1	48.5	38.9	53.9	55.1	45.5	54.5	47.9	22.2	40.1	32.9	37.7	9.6	5.4
	その他	3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	66.7	66.7	66.7	100.0	100.0	66.7	100.0	33.3	66.7	66.7	66.7	33.3	-
年齢別	18~20歳	28	67.9	60.7	71.4	71.4	67.9	67.9	57.1	39.3	46.4	42.9	64.3	42.9	50.0	57.1	50.0	46.4	42.9	17.9	3.6
	21~25歳	152	61.2	61.2	52.0	50.0	55.3	45.4	48.7	47.4	46.7	42.1	46.7	36.8	39.5	37.5	30.9	27.6	30.9	16.4	3.3
	26~29歳	169	68.0	60.9	62.1	63.3	48.5	55.6	52.1	52.7	50.3	51.5	43.2	44.4	39.1	28.4	34.9	32.5	29.6	8.9	5.3
未既婚別	未婚	251	62.2	61.0	51.8	53.4	52.2	47.0	49.0	46.6	48.2	44.6	49.0	38.2	37.8	41.0	30.3	31.5	27.5	15.1	3.6
	既婚・離死別	98	72.4	61.2	75.5	70.4	55.1	65.3	56.1	56.1	49.0	52.0	39.8	48.0	45.9	18.4	44.9	31.6	40.8	7.1	6.1
同居有無別	同居あり	236	66.5	62.7	63.6	62.3	53.8	56.4	53.0	50.8	48.7	47.9	49.6	44.1	41.5	33.5	37.3	32.2	33.9	12.7	2.5
	同居なし	113	61.9	57.5	47.8	49.6	51.3	43.4	46.9	46.0	47.8	44.2	39.8	34.5	37.2	37.2	28.3	30.1	25.7	13.3	8.0
就業状況別	学生・生徒	16	68.8	68.8	75.0	75.0	81.3	68.8	31.3	18.8	56.3	37.5	68.8	43.8	43.8	25.0	43.8	43.8	43.8	12.5	-
	有職者	320	64.7	60.6	56.9	56.6	50.6	50.6	52.2	51.3	48.4	46.3	45.3	40.9	38.8	35.9	33.1	30.0	30.0	12.2	4.1
	専業主婦・主夫・内職他	10	60.0	50.0	70.0	80.0	70.0	70.0	40.0	40.0	20.0	60.0	40.0	30.0	70.0	20.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0
	無職	3	100.0	100.0	100.0	66.7	100.0	66.7	66.7	66.7	33.3	100.0	100.0	66.7	66.7	66.7	-	100.0	100.0	66.7	66.7

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

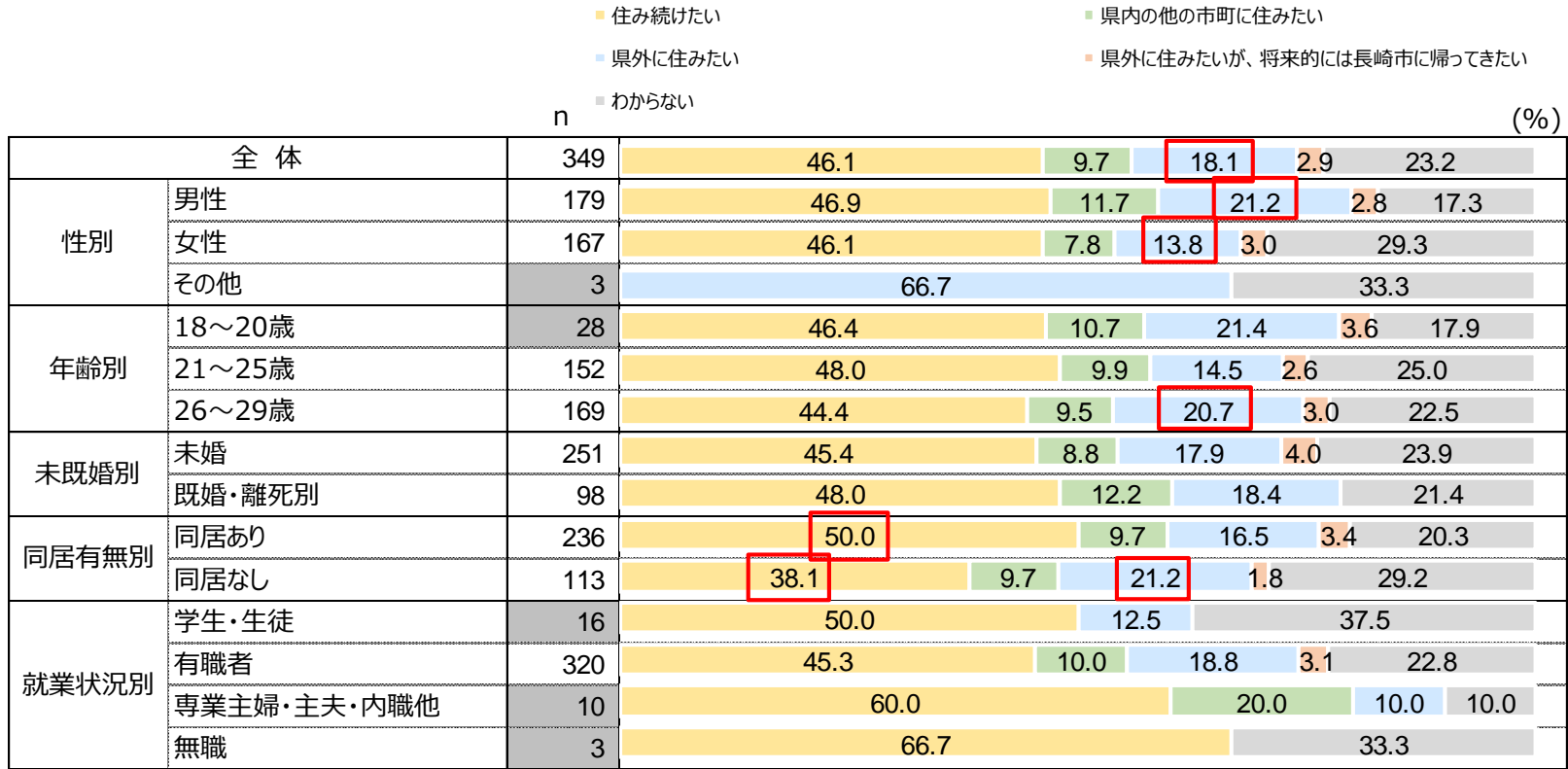
※nが30未満の時は参考値

※全体順で降順ソート

# 長崎に住み続けたいか

全体では「住み続けたい」は4割半ば、「県外に住みたい」は2割弱となっている。  
 属性的に見ると、「県外に住みたい」が男性、26～29歳、同居なしが2割強となっており、女性が1割半ばに対して男女差が見られる。また「住み続けたい」は同居有無別では同居ありが5割に対し、同居なしが4割弱と10ポイント以上の差が見られる。

問16. これからも長崎市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを選んでください。(1つ選択)



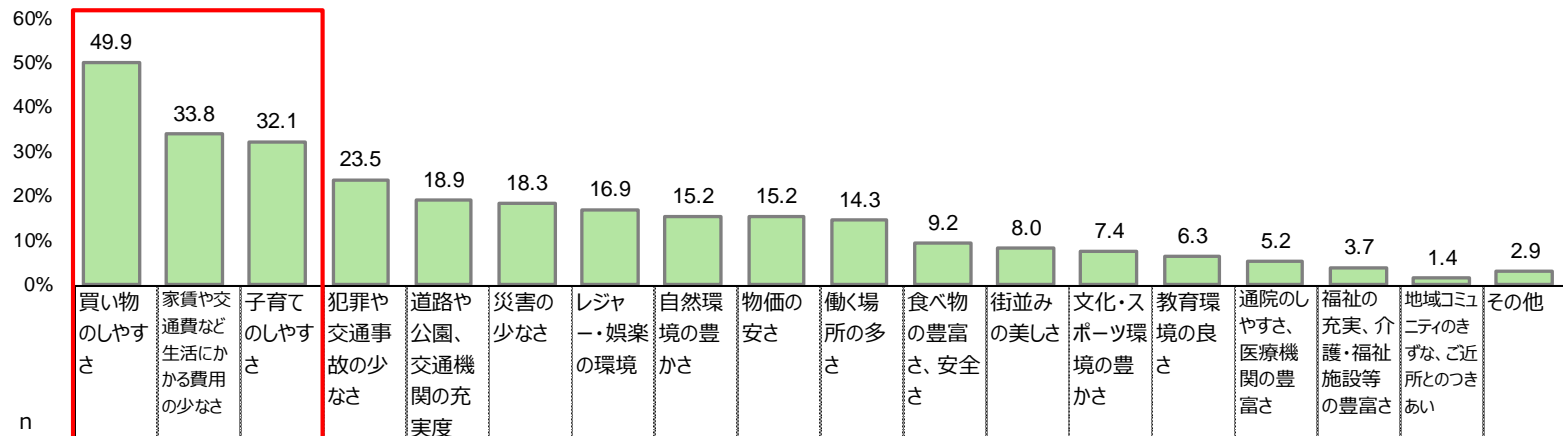
※nが30未満の時は参考値



# 住む場所を選ぶ上で重要視する点

全体では「買物のしやすさ」が5割で最も高く、次いで「家賃や交通費など生活にかかる費用の少なさ」が3割半ば、「子育てのしやすさ」が3割強となっている。属性別に見ると「子育てのしやすさ」は年代が高くなるにつれてスコアが高くなっており、未婚2割強に対し既婚6割強、同居なし1割半ばに対し同居あり4割と差が大きくなっている。「レジャー・娯楽の環境」は男性2割強に対し、女性1割強と男女差が大きくなっている。

問17. 将来、住む場所を選ぶ上で、特に大事にしたいことは何ですか。(3つまで選択可)



		n	買物のしやすさ	家賃や交通費など生活にかかる費用の少なさ	子育てのしやすさ	犯罪や交通事故の少なさ	道路や公園、交通機関の充実度	災害の少なさ	レジャー・娯楽の環境	自然環境の豊かさ	物価の安さ	働く場所の多さ	食べ物の豊富さ、安全性	街並みの美しさ	文化・スポーツ環境の豊かさ	教育環境の良さ	通院のしやすさ、医療機関の豊富さ	福祉の充実、介護・福祉施設等の豊富さ	地域コミュニティのきずな、近所とのつきあい	その他
全体		349	49.9	33.8	32.1	23.5	18.9	18.3	16.9	15.2	15.2	14.3	9.2	8.0	7.4	6.3	5.2	3.7	1.4	2.9
性別	男性	179	46.9	34.1	30.7	19.6	15.1	14.0	22.3	17.9	12.8	16.8	10.1	11.2	10.6	5.0	3.9	3.4	1.1	2.2
	女性	167	53.9	34.1	34.1	27.5	22.8	23.4	10.8	12.6	18.0	12.0	8.4	4.8	3.6	7.2	6.6	4.2	1.8	2.4
	その他	3	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	33.3	-	-	-
年齢別	18~20歳	28	46.4	28.6	17.9	17.9	17.9	14.3	21.4	7.1	28.6	10.7	14.3	3.6	3.6	3.6	7.1	10.7	7.1	10.7
	21~25歳	152	52.0	29.6	25.0	23.7	17.8	18.4	14.5	17.1	17.1	18.4	11.2	11.2	9.9	4.6	5.3	2.0	0.7	3.3
	26~29歳	169	48.5	38.5	40.8	24.3	20.1	18.9	18.3	14.8	11.2	11.2	6.5	5.9	5.9	8.3	4.7	4.1	1.2	1.2
未既婚別	未婚	251	49.4	35.9	20.7	21.5	20.3	19.9	17.5	15.9	16.3	16.7	9.6	9.6	10.0	6.0	4.0	4.0	1.2	3.2
	既婚・離死別	98	51.0	28.6	61.2	28.6	15.3	14.3	15.3	13.3	12.2	8.2	8.2	4.1	1.0	7.1	8.2	3.1	2.0	2.0
同居有無別	同居あり	236	50.0	29.7	39.8	24.6	20.3	18.2	16.9	13.6	14.4	15.3	6.8	6.8	5.1	6.8	5.9	3.4	1.7	2.1
	同居なし	113	49.6	42.5	15.9	21.2	15.9	18.6	16.8	18.6	16.8	12.4	14.2	10.6	12.4	5.3	3.5	4.4	0.9	4.4
就業状況別	学生・生徒	16	43.8	31.3	12.5	25.0	37.5	25.0	6.3	-	18.8	12.5	18.8	6.3	6.3	12.5	6.3	6.3	12.5	6.3
	有職者	320	50.6	34.1	32.2	23.1	17.5	18.1	16.9	15.9	14.7	15.0	8.8	8.4	7.8	5.9	5.3	3.1	0.9	2.8
	専業主婦・主夫・内職他	10	30.0	30.0	60.0	40.0	30.0	10.0	30.0	20.0	30.0	-	10.0	-	-	-	-	10.0	-	-
	無職	3	66.7	33.3	33.3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-

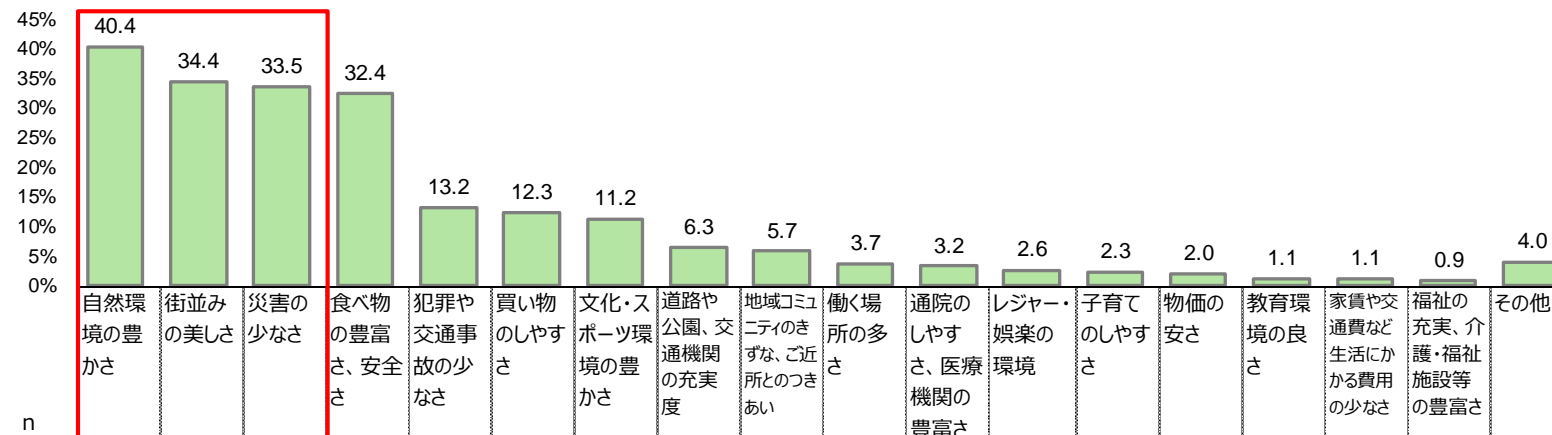
※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

※nが30未満の時は参考値

※全体順で降順ソート

全体では「自然環境の豊かさ」が4割と最も高く、次いで「街並みの美しさ」「災害の少なさ」が3割半ば、「食べ物の豊富さ、安全さ」が3割強となっている。属性別に見ると、「災害の少なさ」は同居有無別では同居なしが2割半ばに対し同居ありが4割弱、「食べ物の豊富さ、安全さ」は未既婚別では未婚が3割弱に対し既婚・離死別は4割強と差が大きくなっている。

問18. あなたは長崎市の良さはどんなところだと思いますか。(3つまで選択可)



		n	自然環境の豊かさ	街並みの美しさ	災害の少なさ	食べ物の豊富さ、安全さ	犯罪や交通事故の少なさ	買い物のしやすさ	文化・スポーツ環境の豊かさ	道路や公園、交通機関の充実度	地域コミュニティのきずな、ご近所とのつきあい	働く場所の多さ	通院のしやすさ、医療機関の豊富さ	レジャー・娯楽環境	子育てのしやすさ	物価の安さ	教育環境の良さ	家賃や交通費など生活にかかる費用の少なさ	福祉の充実、介護・福祉施設等の豊富さ	その他
全体		349	40.4	34.4	33.5	32.4	13.2	12.3	11.2	6.3	5.7	3.7	3.2	2.6	2.3	2.0	1.1	1.1	0.9	4.0
性別	男性	179	41.9	35.2	35.2	32.4	14.5	10.1	12.3	7.3	4.5	3.4	3.4	2.8	2.8	1.1	1.1	0.6	1.1	5.0
	女性	167	38.9	33.5	31.7	32.9	12.0	15.0	10.2	5.4	7.2	4.2	3.0	2.4	1.8	3.0	1.2	1.8	0.6	2.4
	その他	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	18～20歳	28	60.7	21.4	46.4	25.0	17.9	7.1	21.4	10.7	21.4	-	-	-	-	-	3.6	3.6	-	3.6
	21～25歳	152	40.1	32.9	32.2	30.3	13.2	12.5	11.2	9.2	3.9	4.6	4.6	2.0	1.3	3.3	1.3	0.7	0.7	3.3
	26～29歳	169	37.3	37.9	32.5	35.5	12.4	13.0	9.5	3.0	4.7	3.6	2.4	3.6	3.6	1.2	0.6	1.2	1.2	4.7
未既婚別	未婚	251	41.8	34.7	33.1	29.1	13.5	10.8	13.9	7.6	5.6	4.0	3.6	1.6	1.6	2.4	1.2	1.6	0.4	4.0
	既婚・離死別	98	36.7	33.7	34.7	40.8	12.2	16.3	4.1	3.1	6.1	3.1	2.0	5.1	4.1	1.0	1.0	-	2.0	4.1
同居有無別	同居あり	236	39.8	32.6	37.7	33.9	14.0	12.7	10.6	4.7	6.8	3.0	3.0	3.0	3.4	1.3	1.3	1.3	1.3	3.8
	同居なし	113	41.6	38.1	24.8	29.2	11.5	11.5	12.4	9.7	3.5	5.3	3.5	1.8	-	3.5	0.9	0.9	-	4.4
就業状況別	学生・生徒	16	56.3	25.0	62.5	25.0	18.8	-	12.5	6.3	31.3	-	-	-	-	-	6.3	6.3	-	-
	有職者	320	39.4	35.0	32.2	32.5	13.1	12.5	10.6	6.6	4.7	4.1	3.4	2.8	2.5	2.2	0.9	0.9	0.9	4.1
	専業主婦・主夫・内職他	10	50.0	20.0	40.0	50.0	10.0	20.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0
	無職	3	33.3	66.7	-	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※n≥30で、全体よりも10pt以上高い... / 5pt以上高い... / 5pt以上低い... / 10pt以上低い...

※nが30未満の時は参考値

※全体順で降順ソート

問19. 青少年や若者に関する長崎市の取組みで、特に力を入れてほしいことがあれば自由に書いてください。(自由記述)

## ■ 制度に関すること

- ・通学定期券の金銭的補助 (男性18～20歳)
- ・大学、専門学校に行きたいと思ってもお金が無いといけない。下に弟妹がいると簡単には行きたいと親には言えない。どんな家庭でも補助してくれる制度がほしい (女性18～20歳)
- ・若者への資金的な支援 (男性21～25歳)
- ・非課税世帯ばかりお金配るのやめて欲しい。みんな平等にして欲しい。20代から40代はととても損してる気がしてならない。(女性21～25歳)
- ・奨学金制度で働きながら返金しているが、自分の生活でいっぱいいっぱい将来が不安です。改善して欲しいです。(女性21～25歳)
- ・若い世代の所得を上げるための補助金制度 (男性26～29歳)

## ■ 商業施設に関すること

- ・お金をかけなくても遊べる場所、子供向けの場所も大事だけど高校生から20歳半ばまでの人が遊べる楽しめる場所、神の島の余っているあの広大な土地を使ってROUND1や、アウトレットなど大型施設を作って欲しい (男性18～20歳)
- ・もっと、遊べる場所を作って欲しい。例に出すなら、ラウンドワンのような複合遊戯施設等がほしい (男性21～25歳)
- ・娯楽施設や若者向けの施設が少ない。若者離れが加速するのも頷ける。また、子育てしている周囲の人は子どもを連れて行く場所がないと嘆いており、長崎市で子どもを育てるには不十分だと思う。永住したいと感じる部分が少なく、不満を抱えた状態。新しい施設ができる度に期待するが、期待外れになる事が多々ある。(女性26～29歳)
- ・大型ショッピングモールやアミューズメント施設を誘致して欲しい (女性26～29歳)

## ■ 家賃に関すること

- ・家賃を安くしてほしい (男性21～25歳)
- ・家賃が県内の他市町に比べて高いことから市内に就職しても他市町に住む人が多いので、家賃補助を手厚くすることが若者の定着の第一歩になると思います。(男性26～29歳)
- ・家賃が高いうえに、家を購入しようと思っても土地が高すぎる。収入が多くない若い世代には厳しい。(女性26～29歳)
- ・自分は今市外に住み、長崎市に通勤しているが、長崎市は家賃や駐車場代が高いため、そこが居住しにくい原因となっている。補助等があればありがたい。(女性26～29歳)

## ■ 賃金に関すること

- ・今の若者の両親は、超氷河期世代でそもそも職も難しく、賃金も上がらず、その中で生活してきた、行政から見放されてきた世代、それを見て育ち、今更その子どもになる若者や子どもだけに支援しようとするのは虫が良すぎる感じもするし、冷めた目で見えてしまう。(男性21～25歳)
- ・若者の賃金の引き上げ (女性21～25歳)
- ・大きな企業を誘致するなどして、賃金水準を上げてほしい。(男性26～29歳)
- ・仕事の充実にも力を入れて欲しいです。賃金が低すぎるので若者は長崎から出ていくと思います。(女性26～29歳)

## ■ 結婚・子育て支援に関すること

- ・結婚して子供を産もうと思えるような補助制度を強化して欲しい。なかなか経済面で結婚まで踏み込めない人が多いと思うので。(男性21～25歳)
- ・結婚や子供ができたら経済的な支援をしてほしい。(男性21～25歳)
- ・児童扶養手当の収入の上限が低すぎる。(女性21～25歳)
- ・将来、結婚や子育てをしたいと思えるような制度や環境作りにも力を入れて欲しい。今のところ賃金や物価、子育て環境を考えると安心感はなく、子供が欲しいとは思えない。(女性21～25歳)
- ・3人以上子供を産んだ人になんらかのインセンティブがないと2人でも十分という若者が多いと思います。晩婚化も少子化の一因になっているかと思う (いざ子供を考えられるようになった時には3人以上は厳しいなど)ので早く結婚するように促すなにかがあるとよいと思います。(男性26～29歳)
- ・結婚や子どもを持つことを断念した人たちが前向きに考えられない状況を見てほしい。そこに理由があると思う。(女性26～29歳)
- ・日曜日や祝日でも子供を預かってくれる保育所を増やしてほしい。(女性26～29歳)
- ・年代別に応じたライフプラン支援(結婚・出産・子育てのサポート)不妊の悩みの支援 (男性26～29歳)

## ③自由記述分類

- 1つの自由記述で3つの回答と解釈ができる場合は、3回答としてカウントしております。

例)

- ・ 少子高齢化対策のために、こどもがいる家庭への経済的支援やこどもが遊べる公園を増やしたりする。

<分類>

- ・ 少子高齢化対策
- ・ 経済的支援
- ・ 公園を増やす

- 自由記述の回答欄に「特にない。」や「わかりません。」などの文言がある場合にはカウントをしております。

# 「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うもの（小学生）

自由記述回答数（2,176件）

Q20. 県が目指す「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「こどもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。（自由記述）

遊び場・公園	476件	321	アスレチック・レジャー施設・公園を増やす
		40	無料で利用できる施設の設置
		36	自然や動物に触れあえる場を作る
		32	天気に関係なく遊べる屋内施設
		31	自由にスポーツ、スケボ、ボール遊びができる
		10	遊具を増やす
		4	大きい子供も楽しめる遊び場の充実
		2	公園や施設を利用した子供たちに満足度を聞いて改善していく
安全対策・治安	311件	234	治安の良さ。事故・犯罪を減らす。優しいまちづくり。
		24	交通・公共マナーを守る
		22	災害に強いまちづくり
		15	まちや公共トイレを清潔に明るく保つ
		9	通学路の整備
		5	公園や通学路等に警備員や監視カメラを配置する
		2	地域ぐるみでのセーフティーネットワークの充実
教育	306件	142	子どものやりたいことを自由にできる環境
		62	いろいろな体験ができる（職業体験含む）
		21	子どもが意欲的に学びたくなる教育環境の充実
		19	子供たちが地域や学年を越えて交流できる機会を増やす
		17	議会の見学や選挙など、子どもの頃から政治に興味を持たせるための環境づくり
		16	学校・教育施設を増やす。設備の充実。
		14	本が読める環境を整える
		9	勉強が難しくなってもサポートしてくれる
6	憧れの職業に就いている人から話を聞きたい		

# 「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うもの（小学生）

自由記述回答数（2,176件）

Q20. 県が目指す「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「こどもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。（自由記述）

こどもの意見尊重	234件	234	子どもの意見に耳を傾ける
イベント	137件	55	子どもが主体となりイベントや会社、お店を運営できる場
		52	子どもが主役のイベント・スポーツ大会の充実
		21	地域の大人と子どもが交流できるような場やイベントを作る
		9	子どもサミットを行う
こどもの居場所	107件	65	子供だけで（または子供だけが）利用できる安全な施設（買い物・遊び場）がほしい
		18	長期休みや放課後に行く場所がない子供が自由に利用できる施設
		10	子ども食堂の増加
		9	1人になれる場所がほしい
		5	フリースクールの充実・増加
住環境	104件	62	買い物ができる場所や飲食店を増やしてほしい
		42	大型商業施設を増やすなどもっと都会的にする
いじめ対策	82件	82	いじめや差別、暴力がない
学校	73件	32	学校の近くに勉強や読書が気軽にできる環境がほしい
		18	ルールを少し緩くしてほしい
		7	アンケート（学校・給食・悩み・設備に関すること等）を定期的にとる
		6	校区を広くする（子供だけで校区外に出てはいけないという決まりを無くしてほしい）
		4	教室に入れない時に立ち寄れる場所がほしい
		2	学校のトイレをきれいにしてほしい
		2	スポーツクラブを新しく作る
		2	学校の授業で、自分で自由に調べる時間があったら良い

# 「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うもの（小学生）

自由記述回答数（2,176件）

Q20. 県が目指す「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「こどもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。（自由記述）

経済的支援	69件	28	教育費に対する支援や子供にかかる費用の支援を増やす
		24	物価高騰対策
		9	子どもたちへの支援
		5	税金を少なくする
		3	割引クーポンやポイントの充実
相談	68件	68	子どもや大人までどんな人でも気軽に相談ができる場所
障害者支援	28件	14	病気や障害の有無を問わず生きやすく働きやすい環境
		10	バリアフリーやユニバーサルデザインを増やす
		4	一般の人と障害を持った人が交流できる楽しい施設
公共交通機関	16件	8	乗り物の運賃を下げしてほしい
		6	路線・本数の増加
		2	子どもだけでも気軽に利用しやすくしてほしい
医療	4件	2	こどもの病院の無償化
		2	急な病気や怪我にすぐ対応してくれる



# 「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うもの（小学生）

自由記述回答数（2,176件）

Q20. 県が目指す「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「こどもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。（自由記述）

その他	161件	27	SDGsを大切にする
		26	子供ができる取り組みや募金
		19	労働環境や給料など気にせず安心して働ける環境を整える
		16	平和の大切さを発信していく
		14	今のままでいい
		11	おもちゃ売り場、ゲームセンターを増やす
		11	学校にゲームを持っていったり、好きな時にゲームをしたい
		8	挨拶やありがとう、ごめんなさいを言える人になる
		8	少子化対策
		7	歴史や文化を繋いでいく
		5	国際交流の機会をもつ
		3	AIやロボットに頼りすぎない（子どもの将来の夢を狭めることになる）
		2	安全な食べ物を気軽に食べられる
		2	待機児童を減らす
		1	土地を有効活用することで土地にゆとりを持つ
1	のびのびと楽しくできたら多くの有名人が排出され、今よりもたくさんの有名どころができる。		



# 「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うもの（中学生）

自由記述回答数（1,337件）

Q20. 県が目指す「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「こどもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。（自由記述）

こどもの意見尊重	310件	248	子どもの意見に耳を傾ける
		61	こどもを尊重する
		1	このようなアンケートを取る
遊び場・公園	303件	204	アスレチック・レジャー施設・公園を増やす
		57	自由にスポーツ、スケボ、ボール遊びができる
		12	無料で利用できる施設の設置
		9	大きい子供も楽しめる遊び場の充実
		9	遊具を増やす
		7	自然や動物に触れあえる場を作る
		3	天気に関係なく遊べる屋内施設
		1	公園や施設を利用した子供たちに満足度を聞いて改善していく
		1	音楽活動ができる場所を増やす
		教育	175件
20	教育環境を整える		
22	子供たちが地域や学年を越えて交流できる機会を増やす		
22	いろいろな体験ができる（職業体験含む）		
14	子どもが意欲的に学びたくなる教育環境の充実		
12	議会の見学や選挙など、子どもの頃から政治に興味を持たせるための環境づくり		
9	憧れの職業に就いている人から話を聞きたい		
7	先生の採用の仕方・授業の制度を再考する		
6	学校・教育施設を増やす。設備の充実。		
3	図書館を整える		

# 「子どもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うもの（中学生）

自由記述回答数（1,337件）

Q20. 県が目指す「子どもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「子どもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。（自由記述）

安全対策・治安	104件	79	治安の良さ。事故・犯罪を減らす。優しいまちづくり。
		12	災害に強いまちづくり
		6	まちや公共トイレを清潔に明るく保つ
		3	公園や通学路等に警備員や監視カメラを配置する
		2	地域ぐるみでのセーフティネットワークの充実
		2	通学路の整備
学校	77件	32	ルールを少し緩くしてほしい
		22	学校の近くに勉強や読書が気軽にできる環境がほしい
		10	学校設備を整える
		7	アンケート（学校・給食・悩み・設備に関すること等）を定期的にとる
		3	学校の授業で、自分で自由に調べる時間があったら良い
		2	給食の無償化
		1	学校のトイレをきれいにしてほしい
住環境	59件	32	住環境を整える
		22	大型商業施設を増やすなどもっと都会的にする
		5	近所に買い物や飲食店を増やしてほしい
イベント	52件	24	イベント・スポーツ大会の充実
		14	地域の大人と子どもが交流できるような場やイベントを作る
		12	子どもが主体となりイベントや会社、お店を運営できる場
		1	海外の人も楽しめるお祭りイベントの開催
		1	子どもサミット・会議を行う

# 「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うもの（中学生）

自由記述回答数（1,337件）

Q20. 県が目指す「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「こどもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。（自由記述）

こどもの居場所	51件	17	長期休みや放課後に行く場所がない子供が自由に利用できる施設
		17	子供だけで利用できる安全な施設（買い物・遊び場）がほしい
		15	1人になれる場所がほしい
		2	子ども食堂の増加
経済的支援	46件	15	子育て支援
		13	物価高騰対策
		9	子どもたちへの支援
		7	税金を少なくする
		2	最低賃金の引き上げ
相談	32件	32	気軽に相談ができる場所
いじめ対策	26件	26	いじめや差別、暴力がない
公共交通機関	14件	10	路線・本数の増加
		4	乗り物の運賃を下げしてほしい
障害者支援	5件	3	病気や障害の有無を問わず生きやすく働きやすい環境
		2	バリアフリーやユニバーサルデザインを増やす
医療	4件	2	こどもの病院の無償化
		1	産婦人科増やす
		1	児童精神科の充実

# 「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うもの（中学生）

自由記述回答数（1,337件）

Q20. 県が目指す「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「こどもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。（自由記述）

その他	79件	13	労働環境や給料など気にせず安心して働ける環境を整える
		12	子供ができる取り組みや募金
		9	平和の大切さを発信していく
		7	ごみを無くす
		5	今のままでいい
		4	少子化対策
		4	観光資源の有効活用
		4	国際交流の機会をもつ
		3	おもちゃ売り場、ゲームセンターを増やす
		3	挨拶やありがとう、ごめんなさいを言える人になる
		2	歴史や文化を繋いでいく
		2	コミュニケーション力を伸ばす
		2	Wi-Fiを強化する
		2	保育園・幼稚園を増やす
		1	要望を気軽に書けるシステム
		1	SDGsを大切にする
		1	雇用拡大
		1	長崎の魅力を発信できる機会があればいい
		1	iPadにしてほしい
		1	ひとりひとりが役割を持つ
1	休日は家族や友達と過ごしたい		

# 「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うもの（高校生）

自由記述回答数（182件）

Q20. 県が目指す「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「こどもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。（自由記述）

遊び場・公園	37件	27	アスレチック・レジャー施設・公園を増やす
		4	自由にスポーツ、スケボ、ボール遊びができる
		3	無料で利用できる施設の設置
		1	気軽に友達と遊びに行ける場所を増やす
		1	大きい子供も楽しめる遊び場の充実
		1	昼夜関係なく体を動かせる施設
教育	36件	9	子どものやりたいことを自由にできる環境
		8	各所に自習室を増やしてほしい
		6	いろいろな体験ができる（職業体験含む）
		4	議会の見学や選挙など、子どもの頃から政治に興味を持たせるための環境づくり
		3	子どもが意欲的に学びたくなる教育環境の充実
		2	子どもが参加できる課外活動プログラムを豊富にする
		1	子供たちが地域や学年を越えて交流できる機会を増やす
		1	憧れの職業に就いている人から話を聞きたい
		1	子ども主導で平和学習を行う
		1	個性を活かす教育をする。教育の質を上げる。勉強だけしていれば成績が上がるという大部分の考えを改めて、他にも原因があることを知る。

# 「子どもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うもの（高校生）

自由記述回答数（182件）

Q20. 県が目指す「子どもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「子どもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。（自由記述）

学校	21件	8	ルールを少し緩くしてほしい
		2	学校の近くに勉強や読書が気軽にできる環境がほしい
		2	アンケートを定期的にとって学校の代表者(生徒)が定期的集まって話し合いを行う
		2	子どものやりたいことを自由にできる環境
		1	夜間まで勉強できる環境づくり
		1	生徒主体で授業を行う機会を設ける
		1	学校の授業で、自分で自由に調べる時間があったら良い
		1	お金に関することなどを学習する
		1	実際行われる選挙と同じ内容を学内で実施してみる
		1	生理休暇が欲しい。普段、熱や風邪はひかないのに、生理が重くそれが理由で学校を休んでしまいます。
		1	探求の時間で長崎県の課題について考える
子どもの意見尊重	28件	17	子どもの意見に耳を傾ける
		7	子どもの意見が上の人に届くこと
		3	子どもの意見を収集するだけでなく実現してほしい
		1	長崎に対する要望を気軽に書き込めるシステム
経済的支援	15件	8	教育費に対する支援や子供にかかる費用の支援を増やす
		4	子どもたちへの支援
		3	学割の充実
イベント	12件	4	子どもが主体となりイベントや会社、お店を運営できる場
		6	子どもが主役のイベント・スポーツ大会の充実
		1	地域の大人と子どもが交流できるような場やイベントを作る
		1	子ども議会・サミットを行う

# 「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うもの（高校生）

自由記述回答数（182件）

Q20. 県が目指す「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「こどもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。（自由記述）

こどもの居場所	7件	3	1人になれる場所がほしい
		1	子ども食堂の増加
		1	子供だけで（または子供だけが）利用できる安全な施設（買い物・遊び場）がほしい
		1	空き地を利用して子ども食堂、図書館、フリースペースを作る
		1	フリースクールの充実・増加
いじめ対策	5件	5	いじめや差別、暴力がない
相談	4件	3	子どもや大人までどんな人でも気軽に相談ができる場所
		1	安心できる逃げ場がほしい
障害者支援	1件	1	一般の人と障害を持った人が交流できる楽しい施設
公共交通機関	1件	1	無料乗車デーを設ける

# 「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うもの（高校生）

自由記述回答数（182件）

Q20. 県が目指す「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「こどもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。（自由記述）

その他	15件	3	働きやすい制度改革。安心して働ける環境づくり。
		1	自治会や青年会をもっとアクティブにする
		1	県民全体の生活に関わる決定を行う際には18歳未満を含む県民にも投票権を与える
		1	歴史や文化を繋いでいく
		1	今の長崎を子供という立場から見た時に大人たちも長崎にいるから楽しいように見えない
		1	労働環境や給料など気にせず安心して働ける環境を整える
		1	ITの導入はメリットもあるが、身体的自己の形成に悪影響を及ぼす可能性があるから、頼りすぎるとよくないと思う
		1	今の子供が県外に出たくないように思わせるように頑張ってもらいたい。
		1	長崎市と県の腐った議員、議会を変えること
		1	「こどもが主役」と言いながら最終的な判断は結局どんな意見も自分の都合の良いように捻じ曲げて解釈する大人の皆様がするので、「こどもが主役」の社会は実現できるとはあまり思えません。
		1	商店街を無くさない
		1	たくさんの方が集まる自然いっぱいの街にしたいので、ライブ会場等の方が集まりやすいところをもっと増やして長崎のいいところを伝える
		1	子供でも考えやすいように簡単な言葉を使う。



# 「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うもの（特別支援学校）

Q20. 県が目指す「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「こどもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。（自由記述）

## （小学校）

自由記述回答数（9件）

安全対策・治安	3件	2	安全にする
		1	事故を少なくする
その他	6件	1	ゲームセンターを増やす
		1	地球温暖化対策
		1	地域の人が優しくする
		1	地域のイベントを増やす
		1	自然を増やす
		1	いじめをなくす

## （中学校）

自由記述回答数（4件）

安全対策・治安	1件	1	事故を少なくする
その他	3件	1	保育園を増やす
		1	自然を豊かにする
		1	子供の行動を尊重する

## （高校）

自由記述回答数（2件）

教育	1件	1	職場体験・見学
その他	1件	1	自然を豊かにする

# 「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うもの（その他）

自由記述回答数（1件）

Q20. 県が目指す「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あったらいいと思うものや、「こどもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。（自由記述）

遊び場・公園	1件	1 歩いて行ける距離のところに、小さい子用の公園しかないので、ボール遊びができる無料の大きい公園があったらいいなおもいます。大きいプールや、広いバスケットコートがあったらいいなおもいます。
--------	----	--

# 長崎市の取り組みで特に力をいれてほしいこと（18～20歳）

自由記述回答数（11件）

問19. 青少年や若者に関する長崎市の取組みで、特に力を入れてほしいことがあれば自由に書いてください。（自由記述）

施設	5件	2	レジャー施設、娯楽施設、買い物ができる場所を増やす
		2	大人でも遊べる場所
		1	無料で遊べる場所
経済的支援	2件	1	教育費の支援
		1	通学・通勤定期券の金銭的補助
公共交通機関	1件	1	公共交通機関の増加・維持
その他	3件	1	県民性の質の向上
		1	テレワーク企業の推進
		1	学生の意見を尊重する（意見が実際に実現するシステムを作る）

# 長崎市の取り組みで特に力をいれてほしいこと（21～25歳）

自由記述回答数（65件）

問19. 青少年や若者に関する長崎市の取組みで、特に力を入れてほしいことがあれば自由に書いてください。（自由記述）

経済的支援	29件	10	結婚・子育て支援
		8	家賃補助
		5	物価高騰対策
		3	減税
		2	駐車場代の補助
		1	学習支援
施設	12件	10	レジャー施設、娯楽施設、買い物ができる場所を増やす
		1	大人でも遊べる場所
		1	スポーツ施設の建設
教育	1件	1	教師の質を上げる
その他	23件	9	賃金の向上
		5	雇用の増加
		2	差別・争いを無くす
		2	若者が声を上げやすい環境づくり
		1	働きやすい環境づくり
		1	転入者がつながりを感じられる取り組み、環境づくり
		1	相談できる場所
		1	コアな分野の求人募集を公に行う（ハローワークとは別でネットワークの形成）
1	こどもに愛情ももって接する人を増やす。		

# 長崎市の取り組みで特に力をいれてほしいこと（26～29歳）

自由記述回答数（92件）

問19. 青少年や若者に関する長崎市の取組みで、特に力を入れてほしいことがあれば自由に書いてください。（自由記述）

経済的支援	51件	25	結婚・子育て支援
		13	家賃補助
		5	駐車場代の補助
		3	物価高騰対策
		3	減税
		2	就業支援
施設	12件	5	レジャー施設、娯楽施設、買い物ができる場所を増やす
		3	保育施設の充実
		2	子供が遊べる場所増やす
		1	学習施設の設置
		1	音楽ができる場所を増やす
医療	1件	1	医療・福祉の充実
公共交通機関	1件	1	公共交通機関の本数増加、運賃の減額
その他	27件	9	雇用の増加
		8	賃金の向上
		1	文化的なイベント・活動を増やす
		1	相談できる場所
		1	空き家対策
		1	企業誘致
		1	アルバイト環境の充実
		1	海水浴場を増やす
		1	清掃活動
		1	性について学べる場所の設置
		1	慣らし保育の日数を増やす
		1	ネットリテラシーの向上